

平成24年度

高校生の消費生活と 生活設計に関する アンケート調査報告書



公益財団法人 消費者教育支援センター
公益財団法人 生命保険文化センター

はじめに

平成 25 年度より学年進行で施行される新学習指導要領の内容を効果的に実施するための基礎資料とすることを目的として、全国の高校生約 3,200 人を対象とした消費生活と生活設計に関する実態調査を行った。高校生の普段の生活行動から、消費者としての側面、生活設計に対する考え方などについて明らかにしたアンケート調査である。

本調査は公益財団法人消費者教育支援センターと公益財団法人生命保険文化センターが共同で実施し、調査にあたっては、無作為抽出された高校から 81 校に協力いただいた。ご多忙の中ご協力いただいた先生方にお礼を申し上げたい。

今後の消費者教育の指導、教材開発等において、本調査結果を有効に活用していただければ幸いである。

平成 25 年 2 月

公益財団法人消費者教育支援センター
理事長 高部和子

公益財団法人生命保険文化センター
代表理事 村井博美

目 次

【調査概要】	1
【調査結果の概要】	5
1. アンケート調査の概要	5
2. ヒアリング調査の概要	10
【調査結果】	
I 日常生活について	
1. 興味があること	14
2. 授業以外の時間の過ごし方	16
II お小遣い、アルバイト等のお金について	
1. お小遣いについて	
1－1. お小遣いの有無	18
1－2. 1ヵ月にもらっている金額	18
1－3. お小遣いをもらっていない場合の対処法	19
2. アルバイトについて	
2－1. アルバイト経験	20
2－2. 1ヵ月の収入金額	21
3. 貯金について	21
4. 使用できる金額・使い道・管理について	
4－1. 使用できる金額	22
4－2. お金の使い道	23
4－3. お金の管理（お小遣い帳の記録）	27
5. 買い物について	
5－1. お菓子や飲み物を買う際に重視する点	28
5－2. 買い物の傾向	30
III 携帯電話（スマートフォンを含む）・パソコン利用について	
1. 携帯電話について	
1－1. 携帯電話の所持	35
1－2. スマートフォンの所持	36
1－3. 携帯電話の月額利用料金	37

1－4. 携帯電話の利用目的	38
2. インターネットでの購入について	
2－1. インターネットでの購入の経験	40
2－2. インターネットで購入したもの	41
2－3. インターネットで購入時の支払い方法	43
IV 将来について	
1. 将来の夢・職業・進路について	
1－1. 将来の夢	45
1－2. 将来就きたい職業	46
1－3. 卒業後の進路	50
2. 結婚・子どもについて	
2－1. 結婚	51
2－2. 子ども	52
3. 将来の生活について	
3－1. 将来の働き方	53
3－2. 将来が思い描ける年齢	54
3－3. 将来不安なこと	56
4. 保護者との会話について	59
V 高等学校での学習状況について	
1. 「お金や生活設計（ライフプラン）」の学習について	
1－1. 「お金や生活設計（ライフプラン）」の学習経験	62
1－2. 学習項目	63
1－3. 将来役立つと感じた学習項目	65
【調査票・単純集計結果】	68

調 査 概 要

1. 調査目的

全国の高校生の消費生活と生活設計に対する実態を明らかにし、平成 25 年度から開始される新学習指導要領を踏まえた学習指導、教材開発等の一助とすることを目的とする。

2. 調査項目

調査項目のうち、主なものは次の通り。

(1) 高校生自身のこと

- ①現在、興味があること
- ②学校の授業以外の時間の過ごし方

(2) お金や買い物に関すること

- ①お小遣いについて
- ②アルバイトについて
- ③目標をもってお金を貯めているか
- ④1 カ月に自由に使える金額とその使途
- ⑤お小遣い帳の記帳の有無
- ⑥お菓子や飲み物を買う時に重視すること
- ⑦買い物に関する考え方や傾向

(3) 携帯電話・パソコンの利用

- ①携帯電話の所有率、所有の目的
- ②携帯電話の利用料金、
- ③インターネットでの買い物、支払い方法

(4) 生活設計（将来）について

- ①将来の夢とプラン
- ②職業選択について
- ③卒業後の進路
- ④結婚と子ども
- ⑤思い描くことができる将来
- ⑥将来の不安
- ⑦保護者との会話

(5) 学習方法・教材について

- ①これまでの学習経験とその内容

3. 調査設計

- | | |
|-----------|---|
| (1) 実施主体 | 公益財団法人消費者教育支援センター
公益財団法人生命保険文化センター |
| (2) 調査地域 | 全国 |
| (3) 調査対象 | 高等学校 1 年生及び 2 年生 |
| (4) 抽出方法 | 二段無作為抽出法
「全国学校総覧 2012 年版」掲載の国公私立の高等学校（分校、定時制等も含む）から等間隔に無作為抽出した 671 校に対し、郵送で各校約 40 人に対し調査を依頼。そのうち、81 校から承諾があり、担当教諭に対して調査票を一括送付した。 |
| (5) 調査方法 | 質問票によるアンケート調査（郵送調査法） |
| (6) 調査時期 | 平成 24 年 7 月 |
| (7) サンプル数 | 3,213 |

なお本調査に先立ち、平成 24 年 3 月に高等学校 6 校（321 人）に対して予備調査を実施し、調査票の検討を行った。また調査対象校のうち 9 校に対してヒアリング調査を行った。

4. 回収サンプルの属性 (n=3,213)

(1) 地域分布

地域	割合 (%)	学校数	生徒数
全国	100.0	81	3,213
北海道	2.8	2	90
東北	7.2	6	232
関東	18.3	15	587
北陸	2.5	2	79
中部	21.6	19	693
関西	15.6	13	501
中国	11.5	7	368
四国	2.5	2	80
九州	18.1	15	583

* 地域は、以下のように分類。

北海道	……	北海道
東北	……	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
関東	……	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
北陸	……	新潟、富山、石川、福井
中部	……	山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重
関西	……	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	……	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	……	徳島、香川、愛媛、高知
九州	……	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

(2) 学年

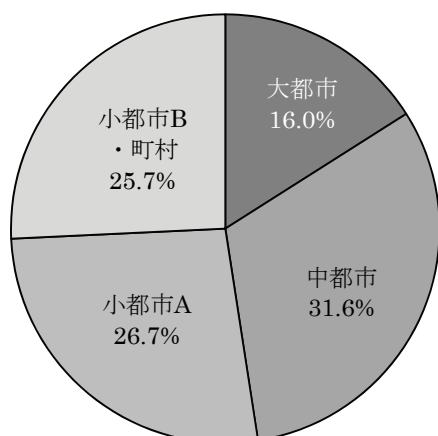
1年生, 54.6%	2年生, 45.4%
------------	------------

(3) 性別

無回答・不明, 0.4%

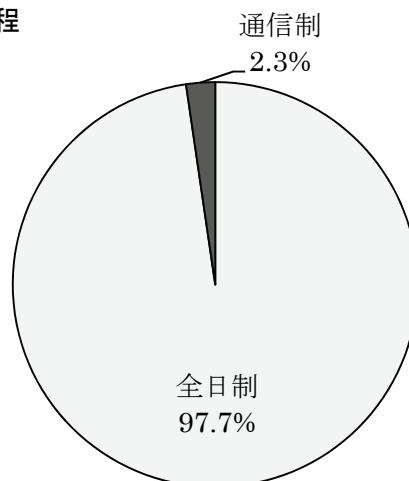
男子, 49.7%	女子, 49.9%
-----------	-----------

(4) 学校所在地

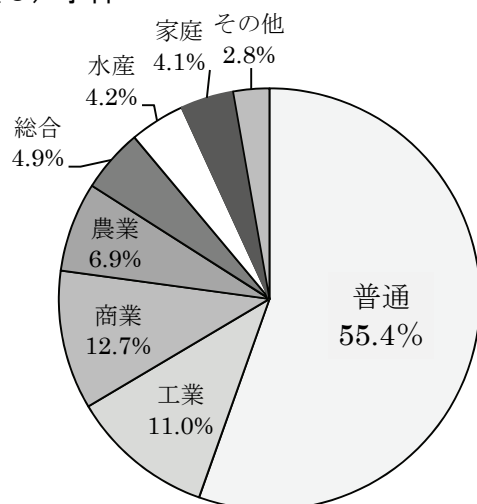


大都市 ……政令指定都市及び東京都区部
 中都市 ……大都市を除く人口15万以上の市
 小都市A ……人口5万以上15万未満の市
 小都市B、町村 ……人口5万未満の市

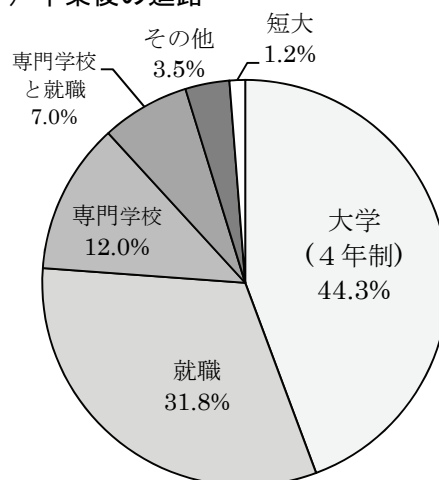
(5) 課程



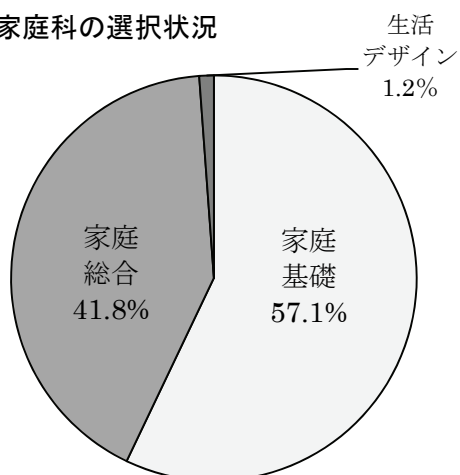
(6) 学科



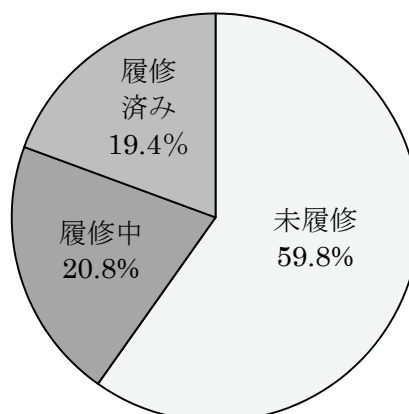
(7) 卒業後の進路



(8) 家庭科の選択状況



(9) 家庭科における「消費生活」領域の学習状況



調査結果の概要

1. アンケート調査の概要

I. 日常生活について

1. 興味があること

- ・1年生は「部活動」が4割強と最も多い。2年生は部活動の割合が約3割まで減り、「ファッション」「マンガ」が上位に。「勉強」に興味がある高校生は、わずか1割程度。
- ・男子は特に「部活動」「ゲーム」「マンガ」、女子は「ファッション」「友達付き合い」「好きな芸能人」が多い。

2. 授業以外の時間の過ごし方

- ・学年別、性別共に、「携帯電話・メール・SNS」「テレビ・ビデオ」「部活動」が過半数の割合で上位項目を占めた。

II. お小遣い、アルバイト等のお金について

1. お小遣いについて

- ・「定期的にもらっている」のは約5割。約4人に1人が「もらっていない」と回答。
- ・1ヵ月にもらっている金額は平均値で4,585円、中央値で4,107円であった。

2. アルバイトについて

- ・アルバイトの経験は全体で1割強。2年生だけみると、2割強が経験。「してみたいが、したことはない」は過半数を超えた。

3. 貯金について

- ・約6割の高校生が貯金をしているが、目標をもってお金を貯めているのは2割程度。
- ・貯金の目的は、「買いたいものを買うため」という回答が最も多い。中には「進学」など将来のためにという回答もあった。

4. 使用できる金額・使い道・管理について

4-1 使用できる金額

- ・1ヵ月に自由に使用できる金額は、平均で5,545円、中央値で3,624円であった。学年別では2年生、性別では女子が高い傾向にある。

4-2 お金の使い道

- ・「おやつなどの飲食費」が最も多く、次いで「友達との外食・軽食代」「マンガや雑誌」が上位を占めた。学年別でみると、1年生は「プリクラ」、2年生は「洋服や靴」などが多い傾向にあった。
- ・性別では女子は「プリクラ」が1位で、男子と圧倒的な差があった。

4-3 お金の管理（お小遣い帳の記録）

- ・お小遣い帳を記録してお金の管理をしているのは全体の約1割、「つけたことがない」のは全体の約6割であった。女子は「以前つけていたが、今はつけていない」が比較的多く、約半数がお小遣い帳の記録を経験していた。

5. 買い物について

5-1 お菓子や飲み物を買う際に重視する点

- ・全体の1位は「味（おいしさ）」、2位「価格」、3位「外見・見た目」であった。女子は「カロリー」が3位であった。

5-2 買い物の傾向

- ・「衝動買いをする」のは全体の約5割。
- ・「買ったものはできるだけ長く使用する」のは全体の約8割。学年別では2年生、性別では男子にその傾向が強かった。
- ・「品質より見た目で買う」のは全体の約5割。性別では女子にその傾向が強かった。
- ・「お金が足りない場合は貯めて買う」のは全体の約7割。性別では男子にその傾向が強かった。
- ・「テレビCMに流されやすい」のは全体の3割。性別では女子にその傾向が強かった。
- ・「買い物のために情報収集をする」のは全体の約5割。学年別では2年生、性別では男子にその傾向が強かった。
- ・「偽ブランドであっても似ていれば買う」のは全体の約2割。
- ・「商品に問題があった場合、企業などに連絡する」のは全体の約3割。学年別では2年生、性別では男子にその傾向が強かった。
- ・「フェアトレード商品を積極的に選ぶ」のは全体の約2割。性別では男子にその傾向が強かった。
- ・「レジ袋をもらう」のは全体の約6割。

Ⅲ. 携帯電話・インターネットについて

1. 携帯電話について

- ・携帯電話の所持率は全体で 96.7%。高校生から所持する割合が最も高いが、小学生から所持している割合も 2 割程度。
- ・スマートフォン所持率は学年の差が大きく、2 年生の約 3 割に対し、1 年生は約 6 割。
- ・月額利用料金は、4 人に 1 人が「5,000～7,499 円」、次いで「7,500～9,999 円」が約 2 割。「分からない」と回答したものも約 2 割いた。
- ・利用目的は、ほとんどが「メールをするため」と回答した。次いで「通話をするため」が 8 割、「情報検索のため」が 5 割となった。

2. インターネットでの購入経験について

- ・「よく買う」「ときどき買う」を合わせると、3 人に 1 人が経験していた。
- ・購入したものは、男子は「DVD や CD」「ゲームソフト」「本」、女子は「洋服や靴」が多く、性別により購入内容に大きな違いがあった。
- ・支払い方法は、「代引き（商品が届いた際に代金を払う）」が最も多かった。

Ⅳ. 将来について

1. 将来の夢・職業・進路について

1-1 将来の夢

- ・将来の夢があるのは全体の約 5 割。「夢があるプランがある」のは 2 割程度。性別では女子にその傾向が強かった。
- ・将来の夢についての自由記述では、具体的な職業名と将来の理想像を記入するケースがあった。職業名については「教師」が最も多く、次いで「保育士」「看護師」が多くみられた。将来の理想像については、「人の役に立つような仕事」「安定した職業」などの記述がみられた。

1-2 将来就きたい職業

- ・将来就きたい職業を決めているのは 6 割強。性別では、男子に比べ女子の方が就きたい職業を決めている傾向が強かった。
- ・男子は「技術者（エンジニア等）」が最も多く、次いで「公務員（警察官等を除く）」「製造関係」「整備士」が多い（「その他」を除く）。
- ・女子は「保育士・幼稚園教諭」が最も多く、「看護師」「食・調理関係（栄養士・調理師等）」が多い結果となった。
- ・「その他」では男子では建築関係、自衛官、農業が、女子では薬剤師、ウェディングプランナー、歯科衛生士等がみられた。

1-3 卒業後の進路

- ・全体の約4割が「大学」への進学と回答しており、「就職」は約2割であった。
- ・学年別では、1年で半数近くが大学と回答しているが、2年になると4割弱に減り、就職が増える傾向にあった。
- ・性別では大学進学に差はないが、男子に就職が多く、女子に専門学校や短大が多くなっていた。

2. 結婚・子どもについて

2-1 結婚

- ・「結婚したい」のは全体の約7割。「結婚したくない」も5%程度あった。
- ・結婚希望年齢は「25歳」。

2-2 子ども

- ・「将来子どもを持ちたい」のは全体の約7割。「持ちたくない」も5%程度あった。
- ・将来持ちたい子どもの希望人数は「2人」。

3. 将来の生活について

3-1 将来の働き方

- ・将来の働き方について、全体では「結婚、出産、育児に関係なく一生働く」が約6割で最も多く、次いで「結婚、出産、育児で一旦仕事を辞め、再就職する」が3割であった。「専業主婦（主夫）」や「就職しない」など、定職に就かないと回答したのは1割前後。
- ・男子は「一生働く」が約8割だったのに対し、女子は約3割。女子は「一旦仕事を辞め、再就職する」が約5割となった。

3-2 将来が思い描ける年齢

- ・将来が思い描ける年齢は「20歳」が2割強と最も多く、次いで「高校卒業後」が約2割、「全く想像できない」は16%であった。
- ・思い描ける年齢に何をしているかについては、「高校卒業後」では「勉強している」が約6割。
- ・「結婚している」では30代が最も高く、「子どもがいる」では40代であった。「趣味やボランティア活動をしている」では60代～それ以上が多かった。

3-3 将来不安なこと

- ・「就職」、「高校卒業後の進路」が過半数を超えた。また、「自分や身近な人の死」、「結婚」「地震などの自然災害」についても2割弱の回答があった。その他では、「お金」や「政治」があった。

4. 保護者との会話について

- ・「学校の出来事について話す」のは、全体の約7割。性別では女子に「話す」傾向が強かった。
- ・「高校卒業後の進路について話す」のは全体の6割強。
- ・「将来の夢について話す」のは全体の約半数。
- ・「悩み事（進路以外）について話す」のは全体の約3割。女子は4割弱だが、男子は2割弱。
- ・「お小遣の使い方について話す」のは全体の約3割。
- ・「今の家計の状況について話す」のは全体の約3割。学年別では2年、性別では女子に話す傾向が強かった。

V. 高等学校での学習状況について

1. 「お金や生活設計（ライフプラン）」の学習について

- ・「学んだことがある」のは全体の約2割。「学んだことがない」は約2割、「よくわからない」は約4割。
- ・内容は「悪質商法の被害と対処法」が最も多く過半数を超えた。次いで「クレジットカードの知識や利用上の注意点」、「職業選択と収入」が上位を占めた。
- ・学年別では、2年生の「生活設計と必要なお金（ライフプラン）」が顕著に多い傾向にあった。「民間の生命保険と損害保険」は1割に満たなかった。
- ・性別では、男子に「職業選択と収入」、「基本的な金融経済の仕組み」、「消費者金融や多重債務問題」、「金利の計算方法」、女子に「介護保険、年金などの老後の経済生活」が他より高い傾向がみられた。

2. ヒアリング調査の概要

<調査の概要>

調査時期：2012年12月

調査対象：アンケート調査協力校9校の家庭科教諭

学校所在地：宮城、福島、神奈川、静岡、愛知、大阪、京都、福岡、熊本

調査内容：高校生の様子、家庭科の実施状況等

<主な調査内容>

高校生の様子

○最近の高校生の特徴

- ・コミュニケーションが苦手。調理実習でも、1年の最初の頃は教員が役割分担しないと話し合えず作業が進まないことが多い。そのため、商品に問題があっても企業やお店に言うことは考えつかないのではないかと。人が触ったものは食べられない、という人も多い。
- ・ここ10年ぐらい生徒の精神年齢が低くなっていて、幼稚になっている感じがする。高校生でも、小学生のように鬼ごっこをして遊んでいる。
- ・部活が忙しく、テレビをあまり見ていない。(ビデオに撮ってコマーシャルははぶいてみる。)その為、コマーシャルにはあまり影響されない。それよりは、好きな芸能人が使っているものをまねしたいという生徒の方が多い。

○お金に対する意識

- ・東京、大阪の大学へ進学を考えている生徒が大半で、「貯金」に対する意識が高い。これから自分自身の学費に多額のお金がかかるという意識が高いからではないか。
- ・バイトなどをしてお金をためている生徒の多くは、家計のためや自動車教習所の資金のためという理由をよく聞く。
- ・周囲に商店や娯楽施設がなく、お金を使う場所がないのが現状。お小遣いもほとんどもらっていない(欲しい時に親に買ってもらう)
- ・ブランド品には興味があり、特に男子の多くが有名ブランドの財布を持っている。ニセものを買うなんてプライドが許さないという生徒が多く、高くても本物を買う。

○携帯電話・コミュニケーション

- ・最近、フェイスブックやラインが流行っている。(特にライン)
- ・他人の非難に敏感で、教員が何回注意しても静かにならない生徒が、急に静かになったので理由を尋ねたところ、ラインに書かれていた。

- ・男子の方が傷つきやすく、彼女と別れて学校に来られなくなったり、ストーカー行為のようなことをしてしまう場合がある。(フェイスブックなどで彼女の行動チェック等)
- ・メールでは話せるが、直接会話できない生徒が増えている。

家庭科の実施状況

○授業の様子

- ・消費生活では、悪質商法やクレジットカードを中心に教えている。
- ・自分にどのくらいのお金がかかっているのかを計算させた時は、金額の多さに驚く生徒が多かった。
- ・ライフプランの授業は特に真面目に聞けることが多い。年金や保険金についてもよく考える生徒が多い。しかし、事例等がないと自分の生活設計は書けない。
- ・高校生は想像力が足りず今しか見えていないので、誰もが年をとること、生まれてから死ぬまでの人生の流れについて強調するようにしている。

○教材について

- ・統計の数字を具体的に見せると説得力があってよい。正規と非正規の生涯年収の差など見せると生徒がリアルに驚いている。国際比較の視点も欲しい。
- ・生活設計はライフデザインの部分だけでなく、お金について一緒に書き込めるようなものがあると良い。
- ・人の一生の流れが分かるような資料が欲しい。(写真などを使ってビジュアルに)
- ・教材にはゲーム感覚を取り入れて欲しい。素材の良い物をできれば使って欲しい。

○外部講師について

- ・卒業生が年に数回、学校に講演に来ている。自分の学生時代から今の職業に就いた理由などについて講演を行う。
- ・外部講師を利用するように新学習指導要領でも進めているが、現実的には難しい。呼ぶからには全クラスに来てもらわなければならないが、時間割の調整が出来ない。
- ・外部講師は呼んでみたいが、管理職に「自分で教えることはできないのか」と聞かれる。

○課題

- ・スーパーサイエンスハイスクールに指定されているため、生徒が企業や大学へ訪問する機会が多く、家庭科の時間や総合学習の時間がなくなることが多い。
- ・教材に関して、金融庁や消費者団体、教育委員会などからさまざまな資料が送られてきて、大変参考になるが、多すぎてどれが適当かの取捨選択ができない。
- ・家庭基礎では時間が限られており、消費生活に時間をかけて教えることには限界がある。

「高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート」

調査結果

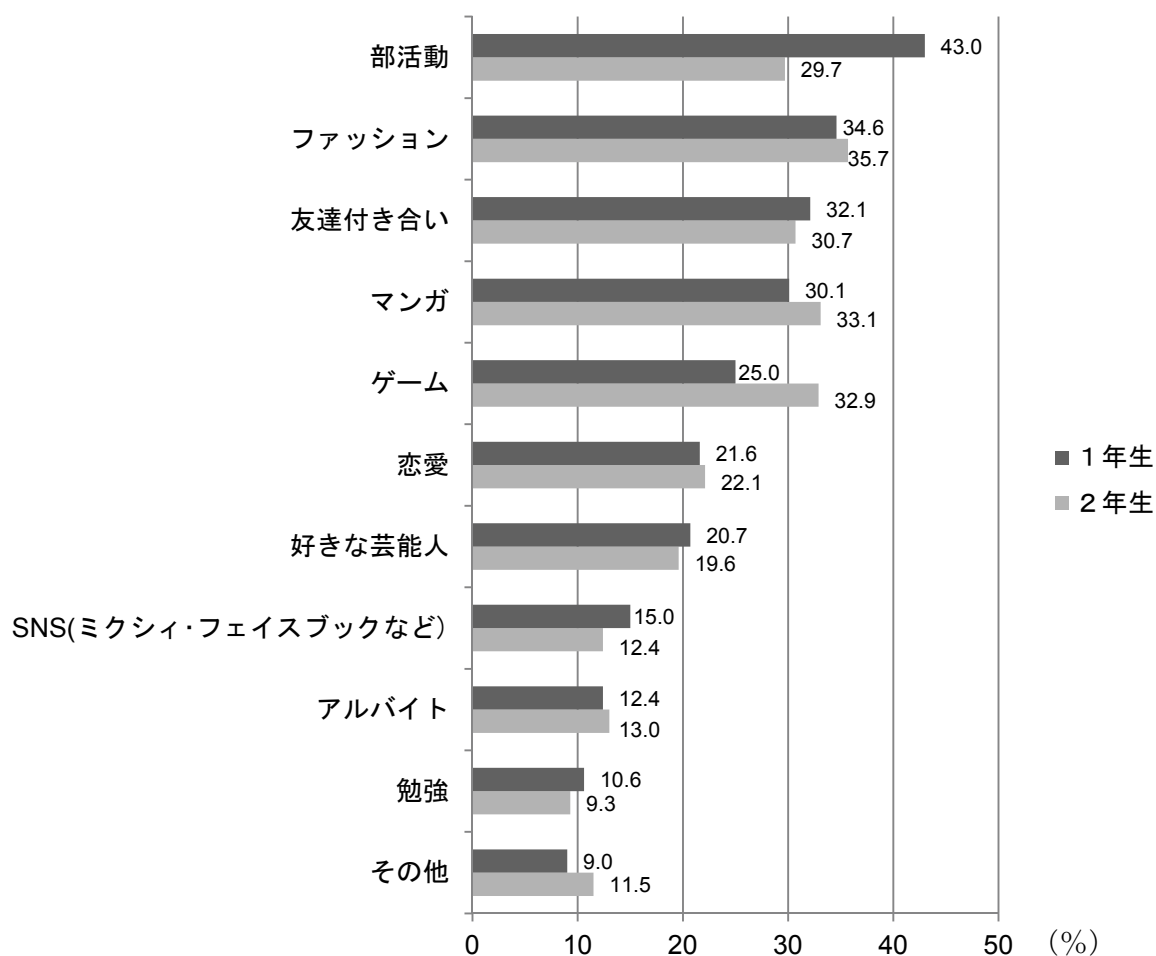
I 日常生活について

1. 興味があること

1年生にとって興味があることは、「部活動」が4割強と最も多く、次いで「ファッション」と「友達付き合い」が続いた。一方、2年生は「部活動」約3割に減少し、「ファッション」、「マンガ」「ゲーム」「友達付き合い」と興味の幅が広がる結果となった。なお、「勉強」に興味がある高校生は、わずか1割にとどまっている。

【図表 I-1-1】興味があること（複数回答3つまで）＜学年別＞

	1 位	2 位	3 位
1 年生	部活動 (43.0%)	ファッション (34.6%)	友達付き合い (32.1%)
2 年生	ファッション (35.7%)	マンガ (33.1%)	ゲーム (32.9%)

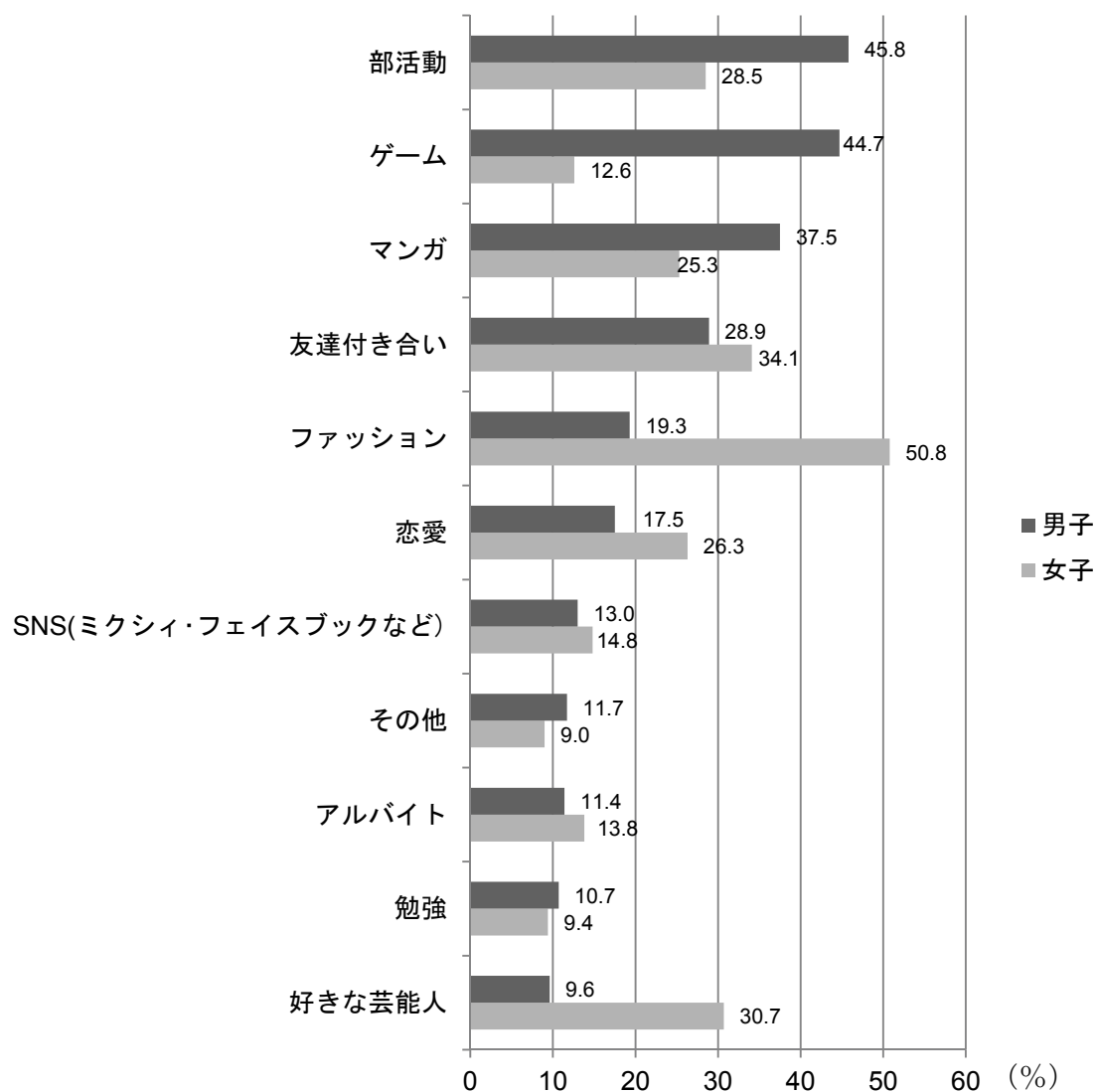


性別でみると、男子は特に「部活動」と「ゲーム」に興味があった。さらに「マンガ」も女子と比較して多く、4割弱が興味あると回答した。

女子は男子5位の「ファッション」が過半数を超えて1位となった。次いで男子4位の「友達付き合い」が3割強で2位、男子最下位の「好きな芸能人」が3位と、性別によって異なる結果となった。

【図表 I-1-2】興味があること（複数回答3つまで）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子	部活動 (45.8%)	ゲーム (44.7%)	マンガ (37.5%)
女子	ファッション (50.8%)	友達付き合い (34.1%)	好きな芸能人 (30.7%)

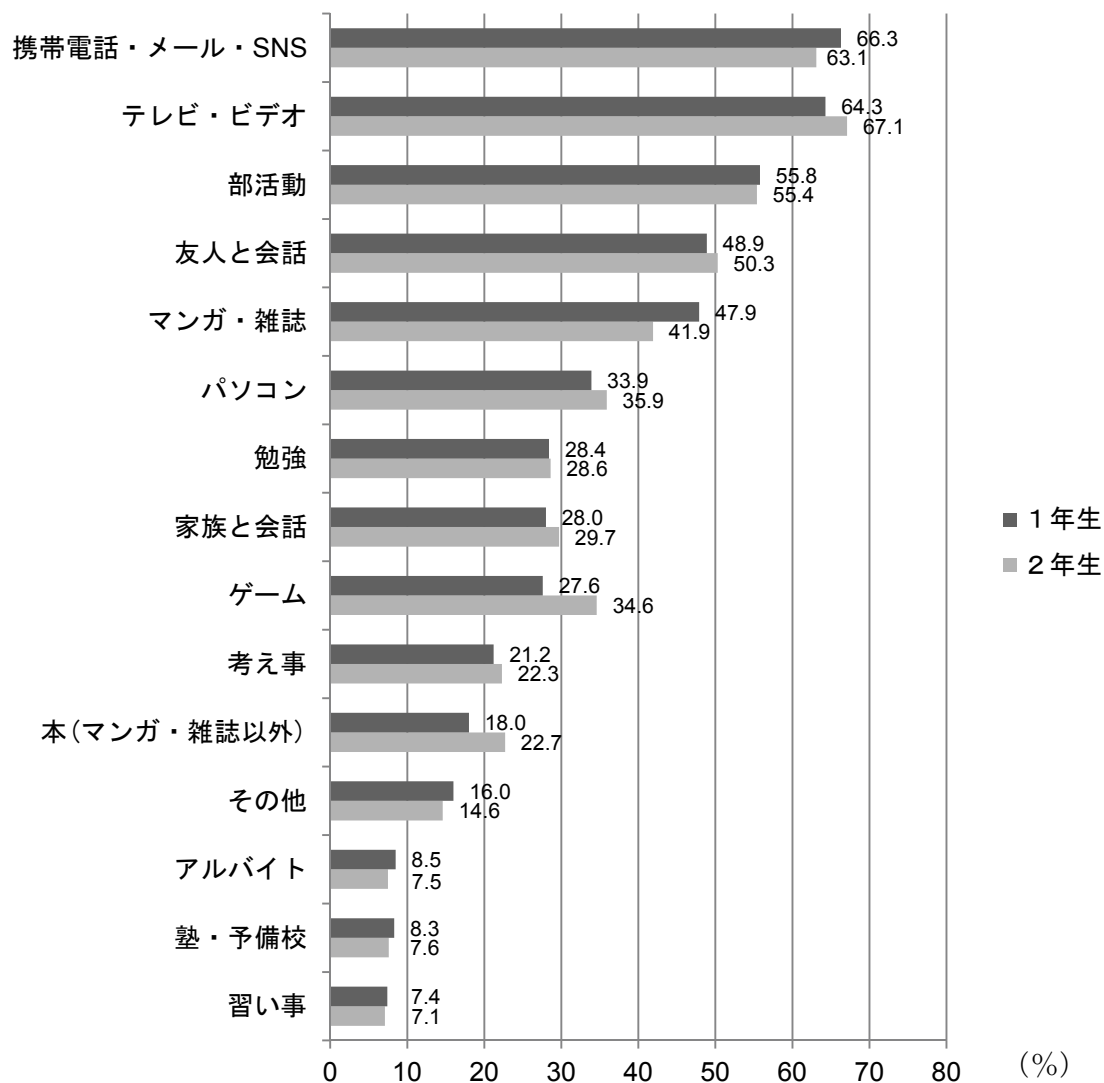


2. 授業以外の時間の過ごし方

1年生は「携帯電話・メール・SNS」が6割強と最も多く、次いで「テレビ・ビデオ」と「部活動」が続いた。一方、2年生になると「テレビ・ビデオ」が最も多くなるが、「携帯電話・メール・SNS」「部活動」が続き、学年別で大きな差はみられなかった。

【図 I-2-1】授業以外の時間の過ごし方（複数回答）＜学年別＞

	1 位	2 位	3 位
1 年生	携帯電話・メール・SNS (66.3%)	テレビ・ビデオ (64.3%)	部活動 (55.8%)
2 年生	テレビ・ビデオ (67.1%)	携帯電話・メール・SNS (63.1%)	部活動 (55.4%)

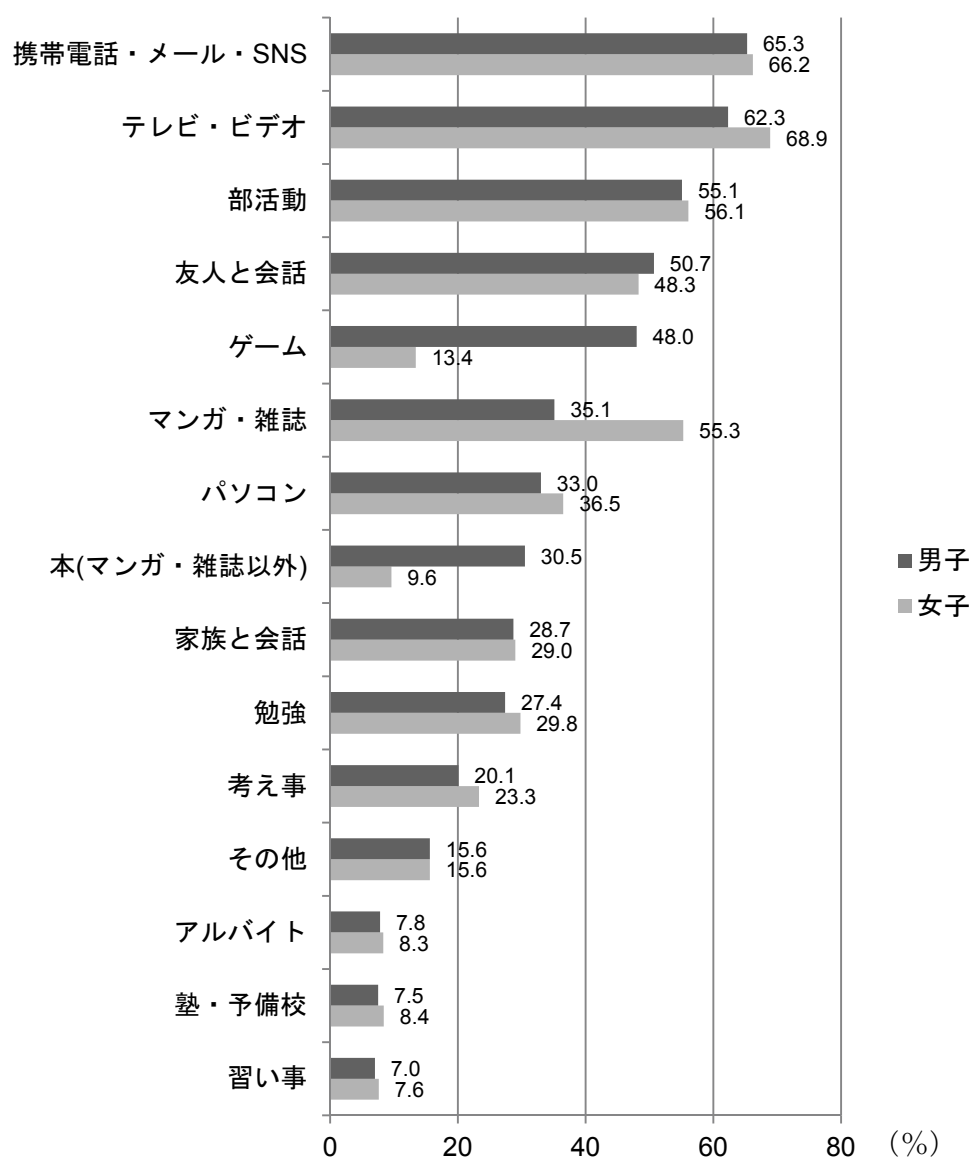


性別でも「携帯電話・メール・SNS」「テレビ・ビデオ」「部活動」が過半数の割合で上位を占めた。

男女で大きく差がみられた項目は、男子では「ゲーム」、「本（マンガ・雑誌以外）」が、女子では「マンガ・雑誌」が大きい。

【図 I -2-2】授業以外の時間の過ごし方（複数回答）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子	携帯電話・メール・SNS (65.3%)	テレビ・ビデオ (62.3%)	部活動 (55.1%)
女子	テレビ・ビデオ (68.9%)	携帯電話・メール・SNS (66.2%)	部活動 (56.1%)



Ⅱ お小遣い、アルバイト等のお金について

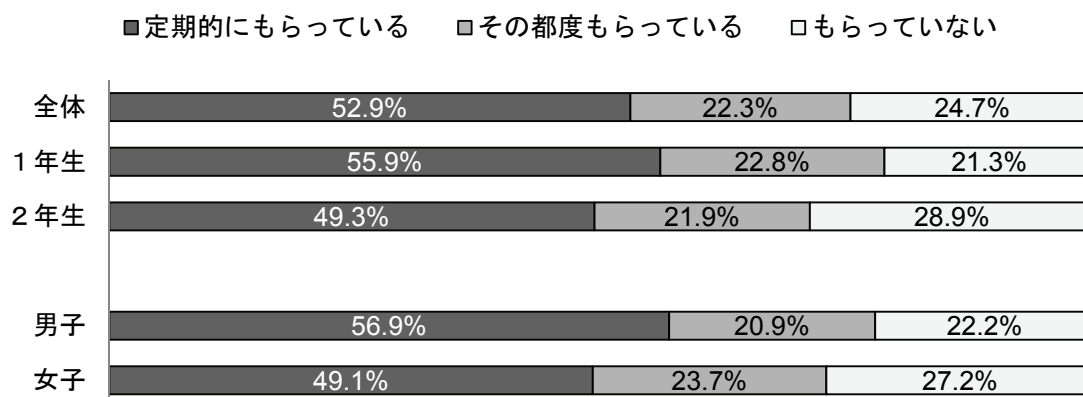
1. お小遣いについて

1-1 お小遣いの有無

全体では、約半数がお小遣いを「定期的にもらっている」と回答した。また「その都度もらっている」も含めると、7割強がお小遣いをもらっているという結果であった。一方、4人に1人は「もらっていない」。

学年別でみると2年生に比べて1年生が、性別でみると女子に比べて男子がお小遣いをもらっている割合が高い。

【図表Ⅱ-1-1】お小遣いの有無＜全体・学年別・性別＞



1-2 1ヵ月にもらっている金額

1ヵ月にもらっている金額は平均で4,585円、中央値で4,107円であった。中央値で見ると、男女では大差ないが、学年では1年生3,831円、2年生4,574円と約700円上昇している。

【図表Ⅱ-1-2】1ヵ月にもらっている金額＜学年別・性別＞

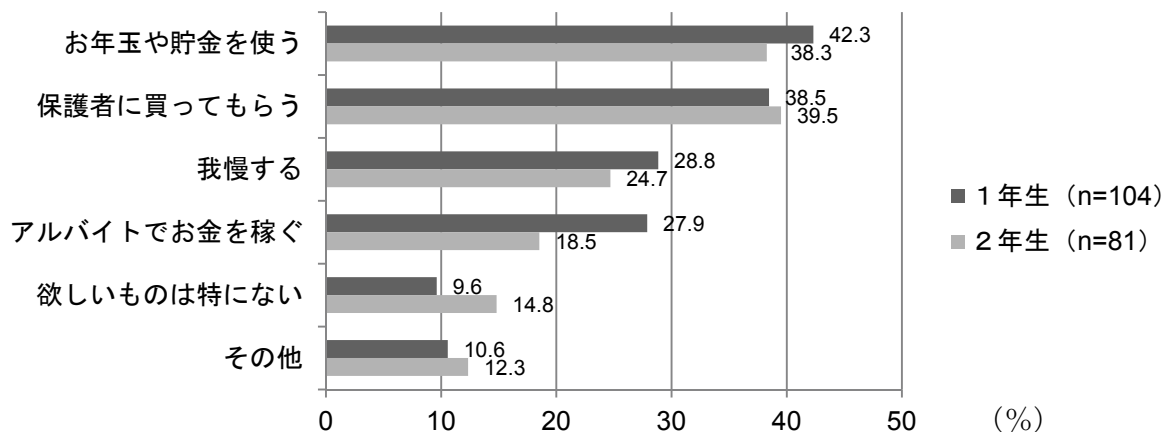
		平均値	中央値
学年別	1年生	4,453	3,831
	2年生	4,762	4,574
性別	男子	4,804	4,140
	女子	4,363	4,189
合計		4,585	4,107

(単位：円)

1-3 お小遣いをもらっていない場合の対処法

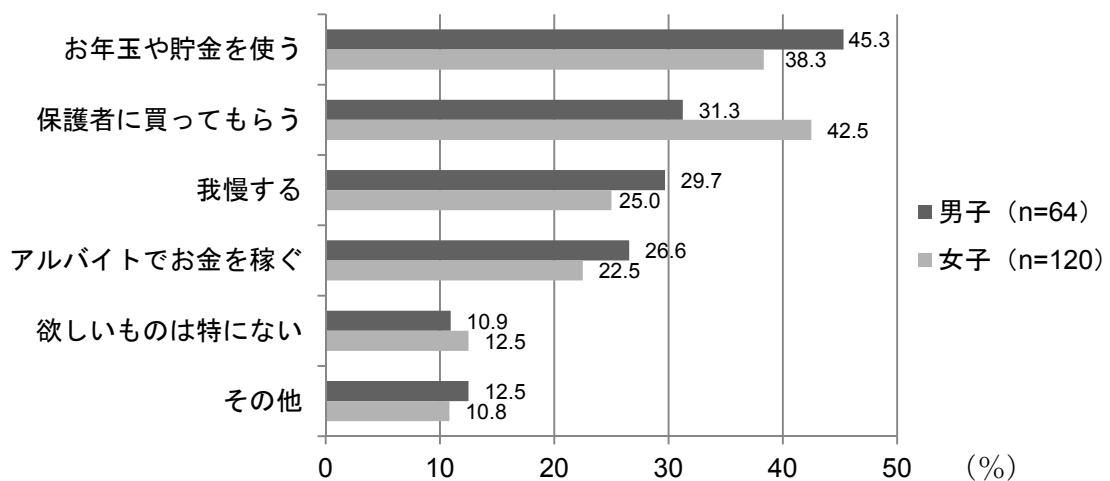
お小遣いをもらっていない場合の対処法は、「お年玉や貯金を使う」、「保護者を買ってもらう」という結果であった。「我慢する」という回答もあった。
その他では「交換条件付きで買ってもらう」という回答があった。

【図表Ⅱ-1-3】お小遣いをもらっていない場合の対処法（複数回答）＜学年別＞



性別でみると、男子は「お年玉や貯金を使う」が約5割で最も多く、次いで「保護者を買ってもらう」が3割強となった。一方、女子は「保護者を買ってもらう」が約4割で最も多く、次いで「お年玉や貯金を使う」が4割弱で男子と1位・2位が逆転した。
3位は、男女共に「我慢する」であった。

【図表Ⅱ-1-4】お小遣いをもらっていない場合の対処法（複数回答）＜性別＞



2. アルバイトについて

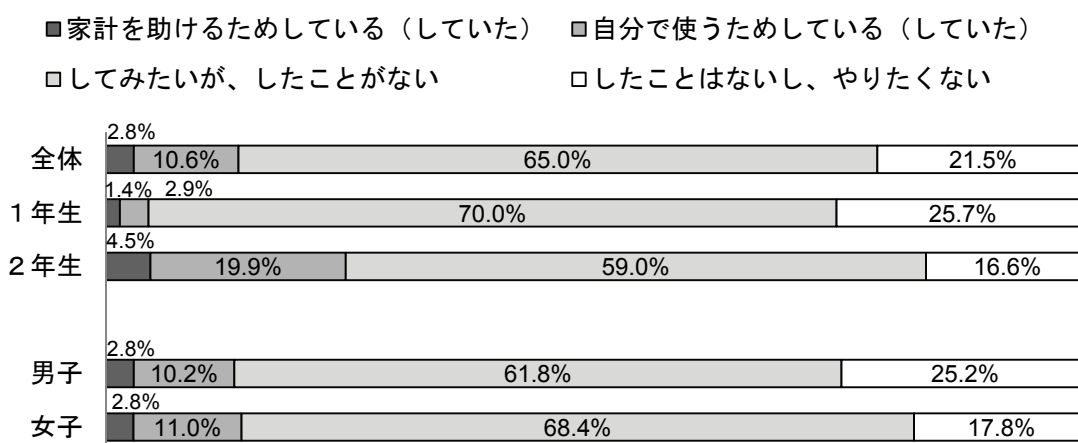
2-1 アルバイト経験

アルバイトの経験は「家計を助けるためにしている（していた）」「自分で使うためにしている（していた）」を合わせて全体で 1 割強であり、「してみたいが、したことはない」が 6 割を超えた。

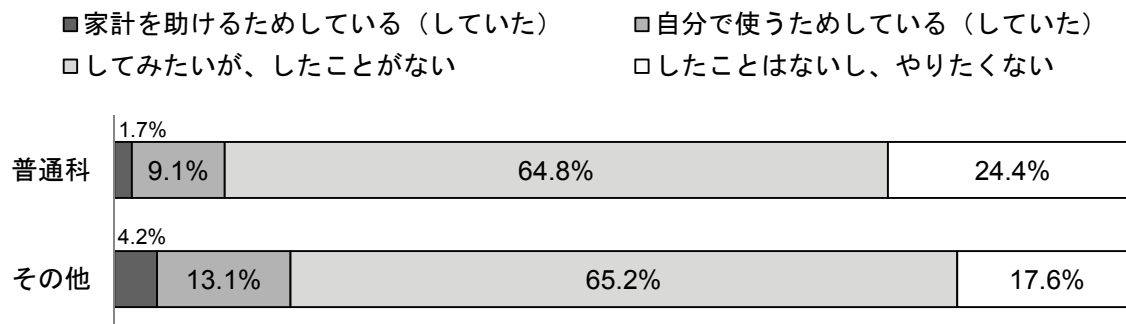
学年別では 1 年生より 2 年生の方が多く、経験者は 4 人に 1 人であった。性別では経験者の割合はほぼ同じであるが、女子の方が「してみたいが、したことない」が多くなっている。【図表Ⅱ-2-1】

また、普通科とその他の職業科の違いでみると、経験者は普通科以外の学科にアルバイト経験が多い傾向がみられた。【図表Ⅱ-2-2】

【図表Ⅱ-2-1】アルバイトの経験＜全体・学年別・性別＞



【図表Ⅱ-2-1】アルバイトの経験＜学科別＞



（注）その他…農業、工業、商業、水産、家庭、総合、その他

2-2 1ヵ月の収入金額

1ヵ月の収入金額は、平均で 36,485 円、中央値で 31,967 であった。中央値でみると、学年別では 1 年生 28,125 円、2 年生 34,577 円と 2 年生の方が約 6,000 円高い。
性別では、男子 33,500 円、女子 32,778 円と男子の方が約 700 円高い。

【図表Ⅱ-2-3】1ヵ月の収入金額＜学年別・性別＞

		平均値	中央値
学年別	1 年生	29,811	28,125
	2 年生	37,747	34,577
性別	男子	37,999	33,500
	女子	34,932	32,778
合計		36,485	31,967

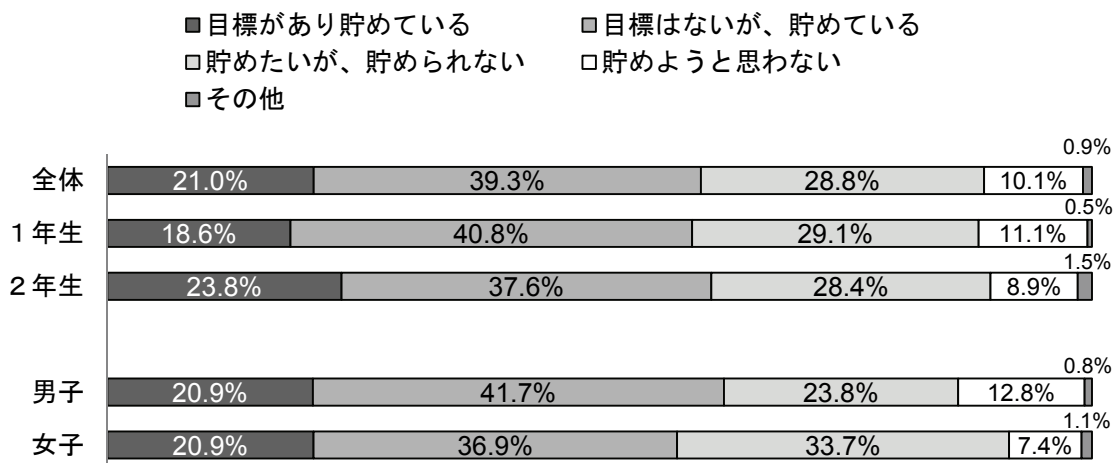
(単位：円)

3. 貯金について

全体では「目標があり貯めている」「目標はないが、貯めている」を合わせると、約 6 割の高校生が貯金をしている。しかし、目標をもってお金を貯めている高校生は約 2 割程度にとどまっている。

性別でみると、女子に比べ男子が貯金をしている割合が高く、女子は「貯めたいが、貯められない」が 3 割以上を占めている。

【図表Ⅱ-3-1】貯金の有無＜全体・学年別・性別＞



貯金の目的についての自由記述では、買いたいものを買うためという回答が最も多く、進学など将来のためという回答もあった。

【図表Ⅱ-3-2】貯金の目的（自由記述）

＜主な回答＞	
・ 買いたいものがあるため （楽器・ゲーム・服・本・チケット・コンサート等）	125 人
・ 進学のため （大学・専門学校・学費等）	57 人
・ 遊び・旅行のため （遊びに行く・旅行に行く・ディズニーランドに行く）	43 人
・ 将来のため （1人暮らし・夢のため・老後のため）	23 人
・ 貯金	10 人 等

4. 使用できる金額・使い道・管理について

4-1 使用できる金額

1ヵ月に自由に使用できる金額は平均で5,545円、中央値で3,624円であった。中央値でみると、学年では1年生3,294円、2年生4,575円と2年生が約1,300円高い。性別では男子3,198円、女子3,799円と女子が約600円高い。

【図表Ⅱ-4-1】1ヵ月に自由に使用できる金額＜学年別・性別＞

		平均値	中央値
学年別	1年生	4,575	3,294
	2年生	6,746	4,575
性別	男子	5,480	3,198
	女子	5,613	3,799
合計		5,545	3,624

（単位：円）

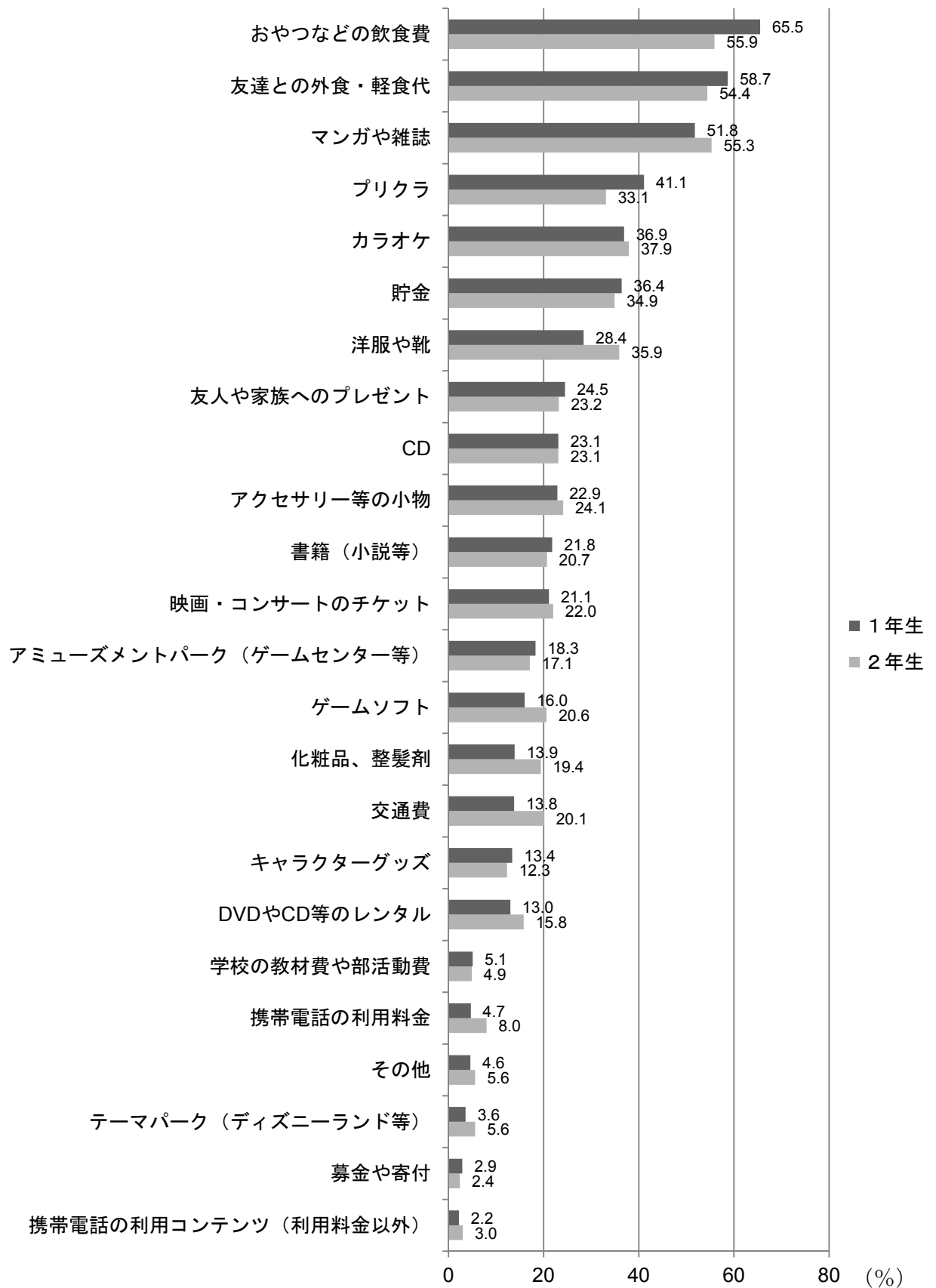
4-2 お金の使い道

学年別では「おやつなどの飲食費」が1年生、2年生ともに最も多く、次いで「友達との外食・軽食代」「マンガや雑誌」が上位に入った。お小遣いは主に飲食に使用すること多い。

また、学年別で差が見られる項目は、「プリクラ」が1年生、「洋服や靴」「化粧品、整髪料」「交通費」が2年生で多くなり、学年が上がると行動範囲が広がりおしゃれに興味を持つ傾向がみられた。

【図表Ⅱ-4-2】お金の使い道（複数回答）＜学年別＞

	1 位	2 位	3 位
1 年生	おやつなどの飲食費 (65.5%)	友達との外食・軽食代 (58.7%)	マンガや雑誌 (51.8%)
2 年生	おやつなどの飲食費 (55.9%)	マンガや雑誌 (55.3%)	友達との外食・軽食費 (54.4%)

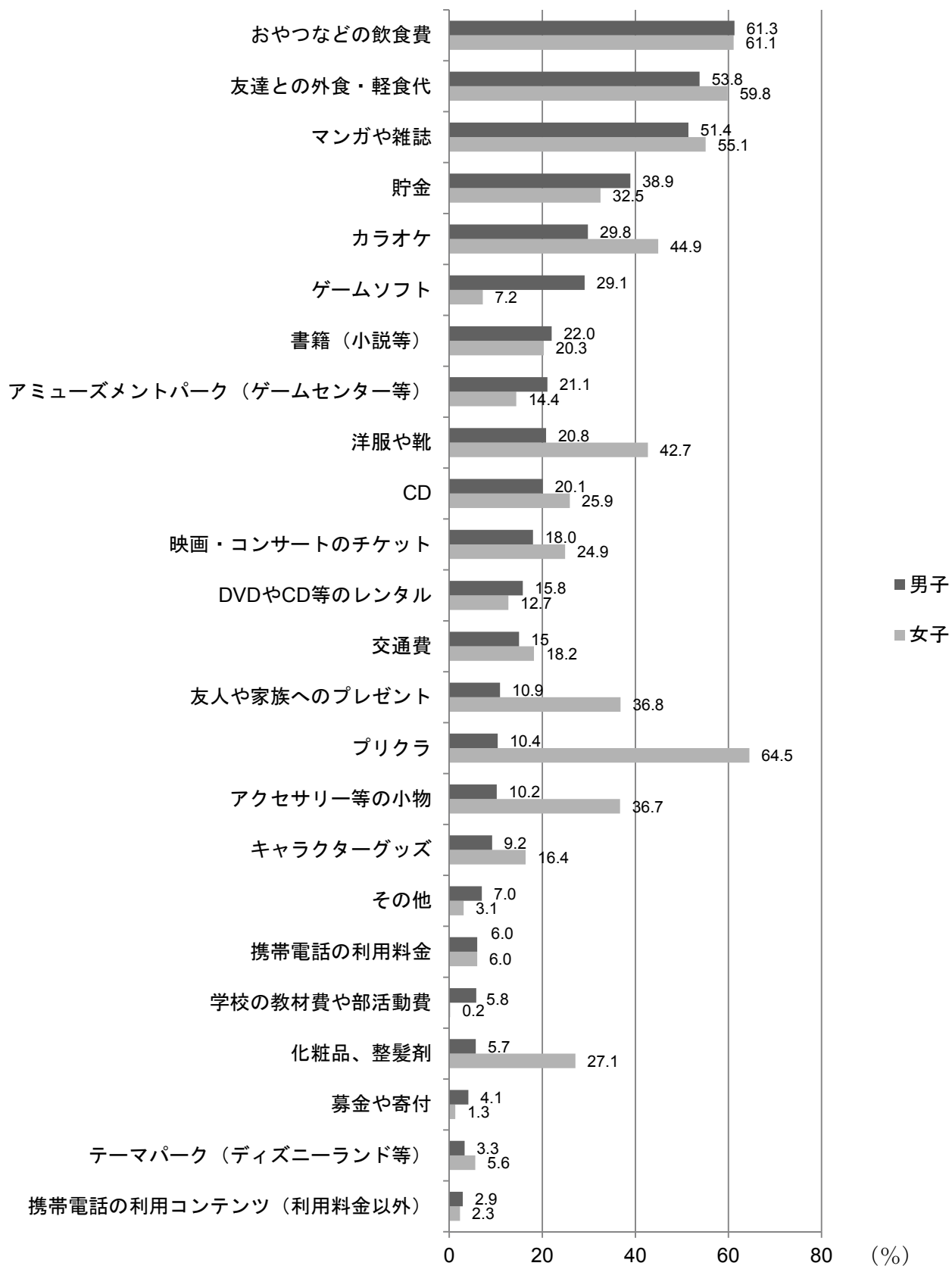


【図表Ⅱ-4-3】お金の使い道（複数回答）＜性別＞

学年別で1位の「おやつなどの飲食費」は、男女共に6割占めており、性別でも男子の1位の項目となった。男子は、次いで「友達との外食・軽食代」「マンガや雑誌」が約5割となった。

一方、女子は「プリクラ」が1位になり、男子と圧倒的な差となった。次いで男子同様に「おやつなどの飲食関係」「友達との外食・軽食費」が続いた。また「カラオケ」「洋服や靴」「友人や家族へのプレゼント」「アクセサリ等小物」「化粧品・整髪剤」なども男子と大きく差をつけている。

	1 位	2 位	3 位
男子	おやつなどの飲食費 (61.3%)	友達との外食・軽食代 (53.8%)	マンガや雑誌 (51.4%)
女子	プリクラ (64.5%)	おやつなどの飲食費 (61.1%)	友達との外食・軽食費 (59.8%)

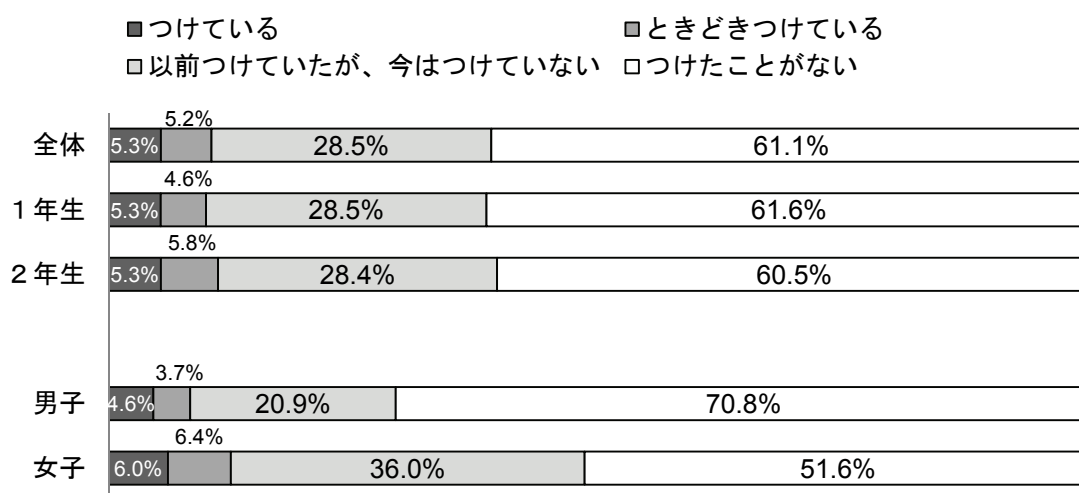


4－3 お金の管理（お小遣い帳の記録）

お小遣い帳を記録しているのは全体の約 1 割、「つけたことがない」のは全体の約 6 割となった。

性別では、男子の約 7 割がつけた経験がないと回答したのに対し、女子は「以前つけていたが、今はつけていない」が比較的多く、約半数がお小遣い帳の記録を経験していた。

【図表Ⅱ－4－4】お小遣い帳の記録＜全体・学年別・性別＞



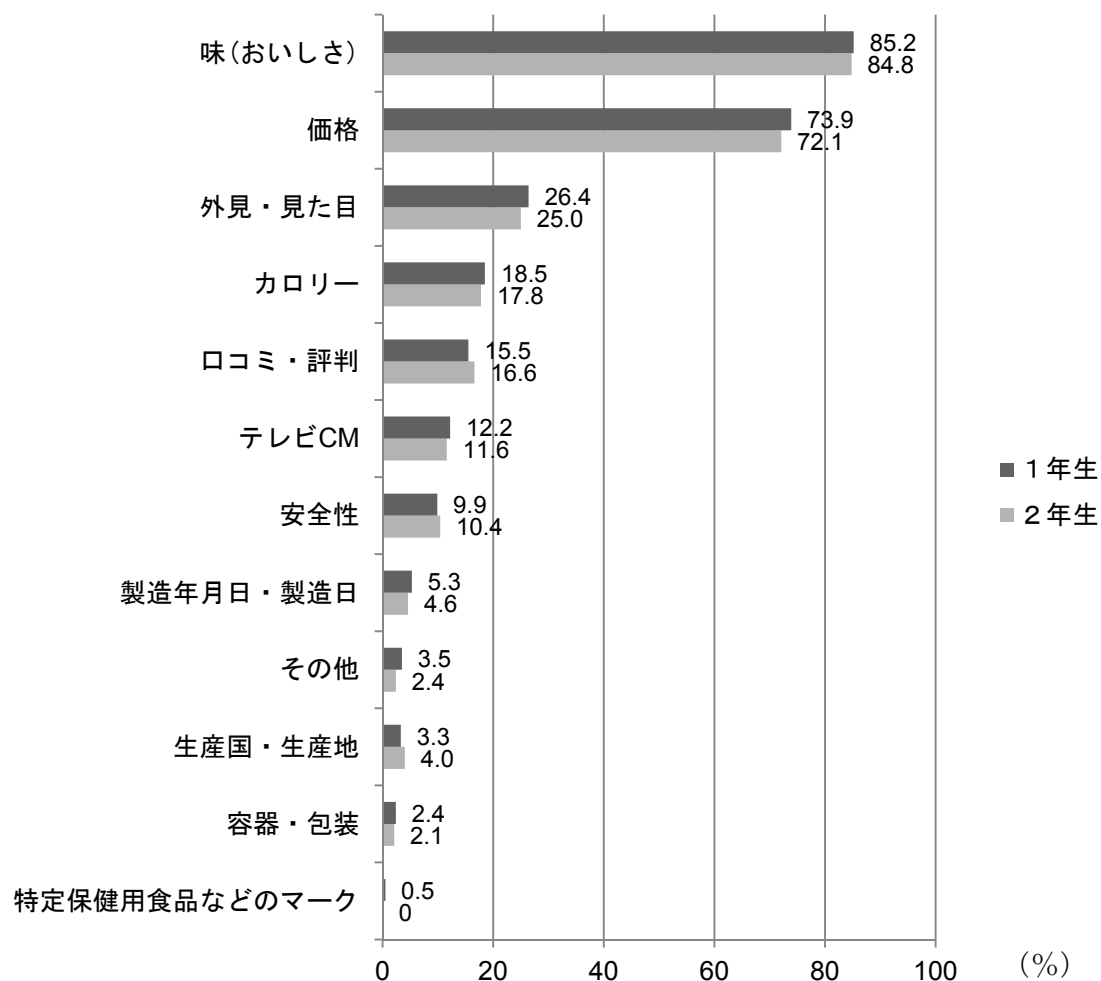
5. 買い物について

5-1 お菓子や飲み物を買う際に重視する点

1 位が「味（おいしさ）」で8割以上、2 位「価格」が7割強の回答となった。2 位と3 位のあいだは大きく開き、3 位「外見・見た目」は2割強となった。安全性、製造年月日・製造日、原産国・生産地、容器・包装、特定保健用食品マークへの関心は低い。

【図表Ⅱ-5-1】お菓子や飲み物を買う際に重視する点（複数回答3つまで）＜学年別＞

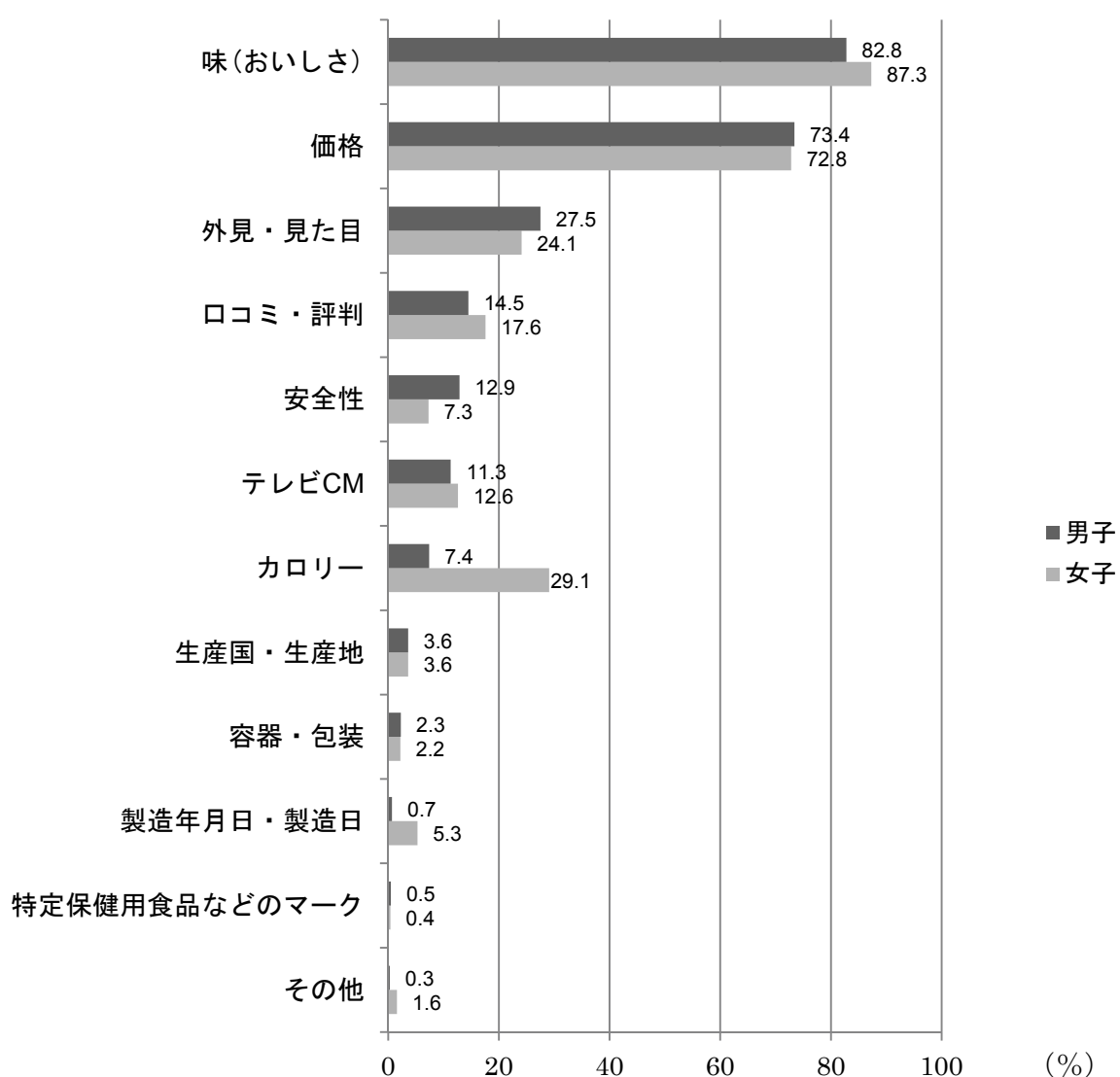
	1 位	2 位	3 位
1 年生	味（おいしさ）（85.2%）	価格（73.9%）	外見・見た目（26.4%）
2 年生	味（おいしさ）（84.8%）	価格（72.1%）	外見・見た目（25.0%）



性別でも「味（おいしさ）」「価格」が上位を占めた。3位については、男子は「外見・見た目」だが、女子は「カロリー」と回答した。

【図表Ⅱ-5-2】お菓子や飲み物を買う際に重視する点（複数回答3つまで）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子	味（おいしさ）（82.8%）	価格（73.4%）	外見・見た目（27.5%）
女子	味（おいしさ）（87.3%）	価格（72.8%）	カロリー（29.1%）



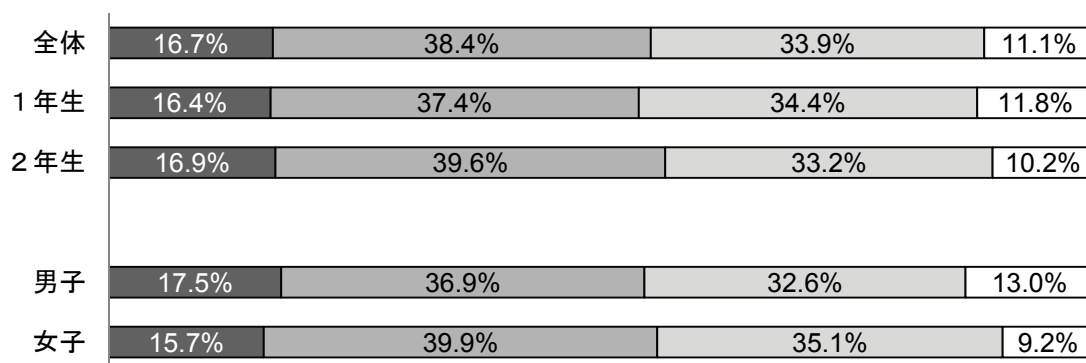
5-2 買い物の傾向

(1) 衝動買いをする

全体の約半数が「衝動買いをする」と回答した。学年別、性別による大きな差は見られない。

【図表Ⅱ-5-3】衝動買いをする＜全体・学年別・性別＞

■とてもあてはまる □ややあてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない

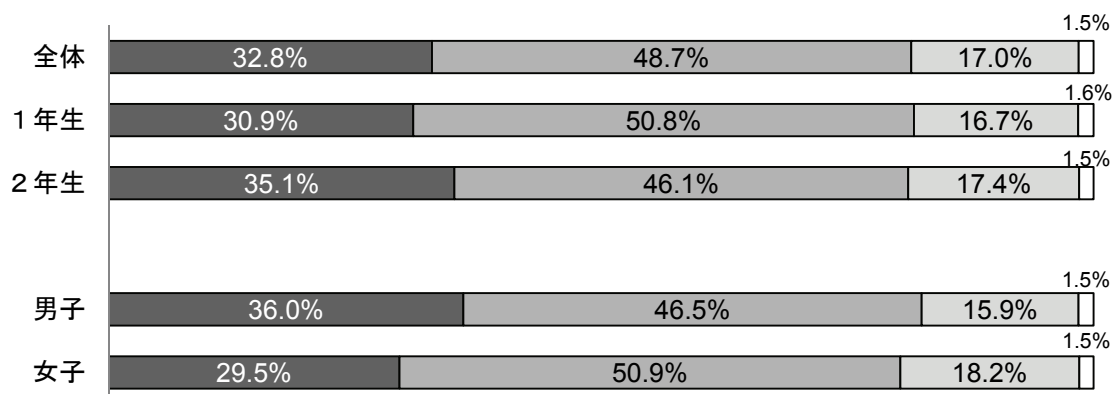


(2) 買ったものはできるだけ長く使用する

全体の約8割が買ったものはできるだけ長く使用すると回答した。学年では2年生の方が、性別では男子の方が「とてもあてはまる」割合が高くなっている。

【図表Ⅱ-5-4】買ったものはできるだけ長く使用する＜全体・学年別・性別＞

■とてもあてはまる □ややあてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない

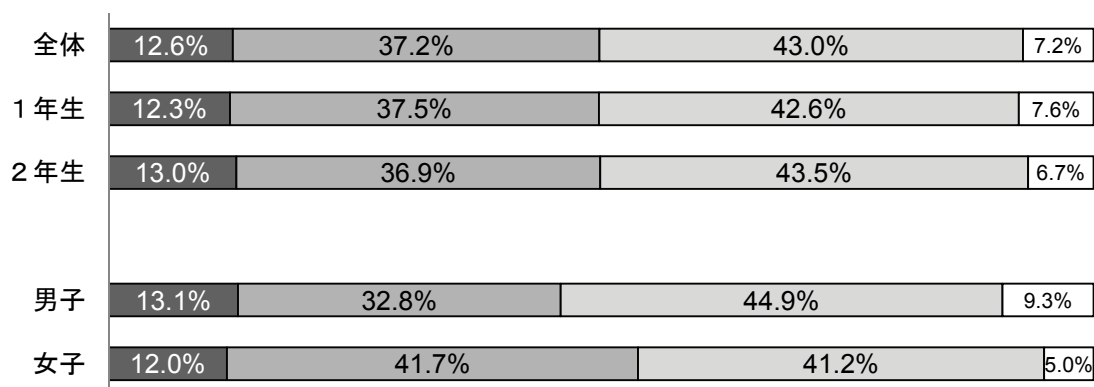


(3) 品質より見た目で買う

全体の約半数が品質より見た目で買うと回答した。性別では、女子の方が「品質よりも見た目で買う」傾向が強かった。

【図表Ⅱ-5-5】品質より見た目で買う＜全体・学年別・性別＞

■とてもあてはまる □ややあてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない

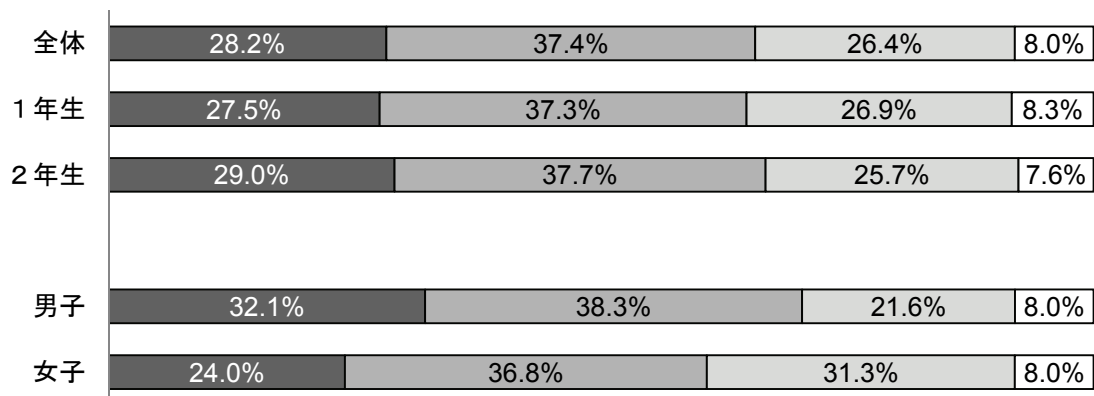


(4) お金が足りない場合は貯めて買う

全体の約7割は、お金が足りない場合は貯めて買うと回答した。性別では、特に男子の方が「お金を貯めて買う」傾向が強かった。

【図表Ⅱ-5-6】お金が足りない場合は貯めて買う＜全体・学年別・性別＞

■とてもあてはまる □ややあてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない



（５）テレビ CM に影響されやすい

全体の３割がテレビ CM に流されやすいと回答した。性別では、４割近い女子がテレビ CM に影響されやすい傾向にあった。

【図表Ⅱ-５-７】テレビ CM に影響されやすい＜全体・学年別・性別＞

■とてもあてはまる □ややあてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない

全体	9.1%	24.0%	41.8%	25.1%
１年生	9.2%	25.1%	42.0%	23.7%
２年生	9.0%	22.6%	41.5%	26.8%
男子	8.1%	20.4%	41.2%	30.2%
女子	10.0%	27.7%	42.3%	20.0%

（６）買い物のために情報収集をする

全体の約半数が買い物のために情報収集をすると回答した。学年別では２年生、性別では男子に買い物のために情報収集をする傾向がみられた。

【図表Ⅱ-５-８】買い物のために情報収集をする＜全体・学年別・性別＞

■とてもあてはまる □ややあてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない

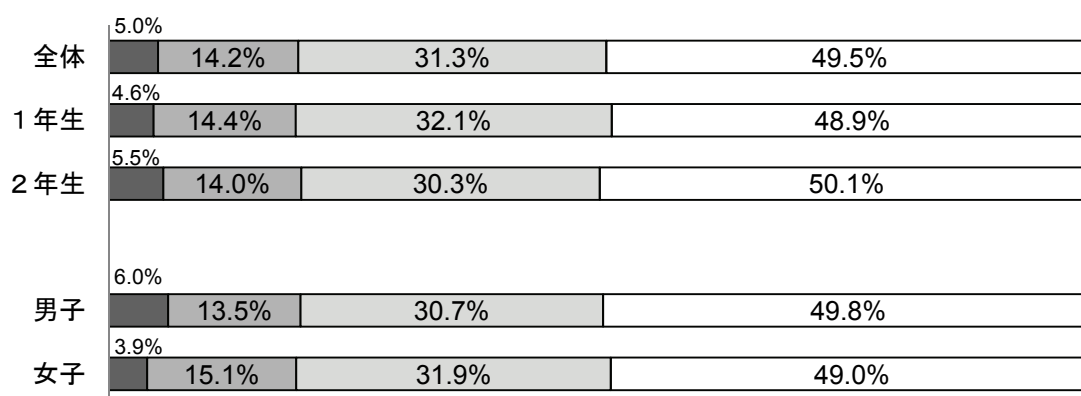
全体	17.6%	26.1%	35.1%	21.2%
１年生	15.4%	24.8%	36.6%	23.2%
２年生	20.2%	27.6%	33.4%	18.8%
男子	20.0%	26.2%	31.9%	21.9%
女子	14.9%	26.1%	38.4%	20.5%

（７）偽ブランドであっても似ていれば買う

全体的約２割が偽ブランドであっても似ていれば買うと回答した。学年別、性別で大きな差はなかった。

【図表Ⅱ-5-9】偽ブランドであっても似ていれば買う＜全体・学年別・性別＞

■とてもあてはまる □ややあてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない

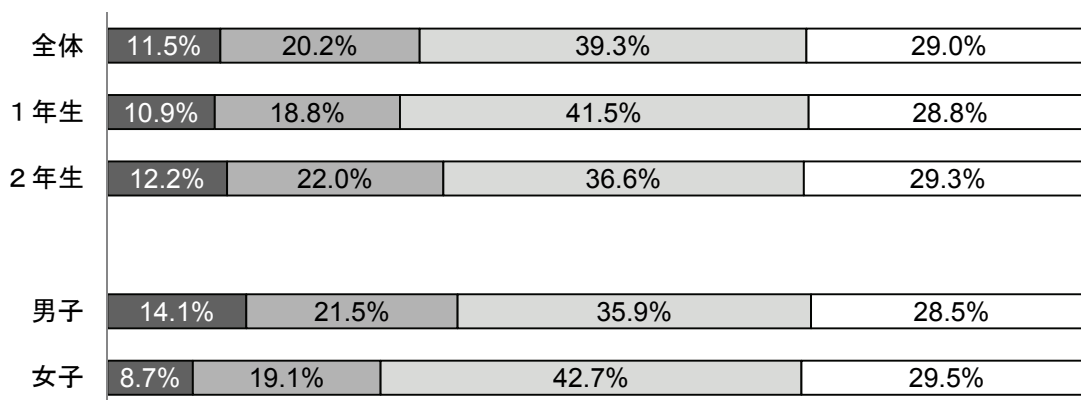


（８）商品に問題があった場合、企業などに連絡する

全体の約３割が商品に問題があった場合、企業などに連絡すると回答した。学年別では２年生、性別では男子の方が「連絡する」傾向が強かった。

【図表Ⅱ-5-10】商品に問題があった場合、企業などに連絡する＜全体・学年別・性別＞

■とてもあてはまる □ややあてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない

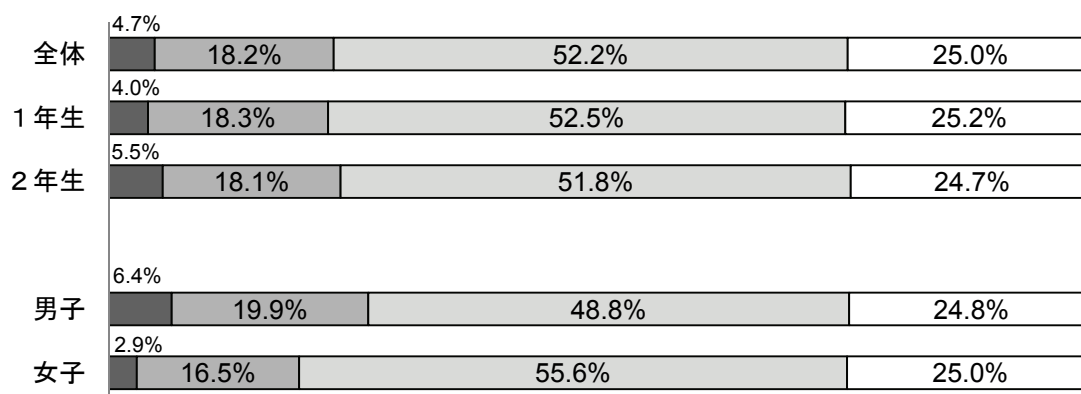


（９）フェアトレード商品を積極的に選ぶ

全体の約２割がフェアトレード商品を積極的に選ぶと回答した。性別では男子が選ぶ傾向にあった。

【図表Ⅱ-５-11】フェアトレード商品を積極的に選ぶ＜全体・学年別・性別＞

■とてもあてはまる □ややあてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない

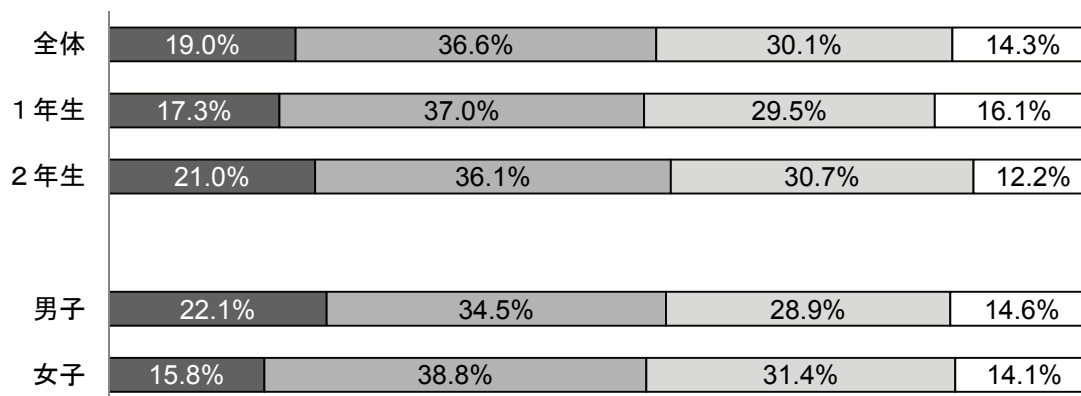


（１０）レジ袋をもらう

全体の約６割がレジ袋をもらうというと回答した。「とてもあてはまる」割合は、学年別では２年生、性別では男子が高い傾向にあった。

【図表Ⅱ-５-12】レジ袋をもらう＜全体・学年別・性別＞

■とてもあてはまる □ややあてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない



Ⅲ 携帯電話（スマートフォンを含む）・パソコン利用について

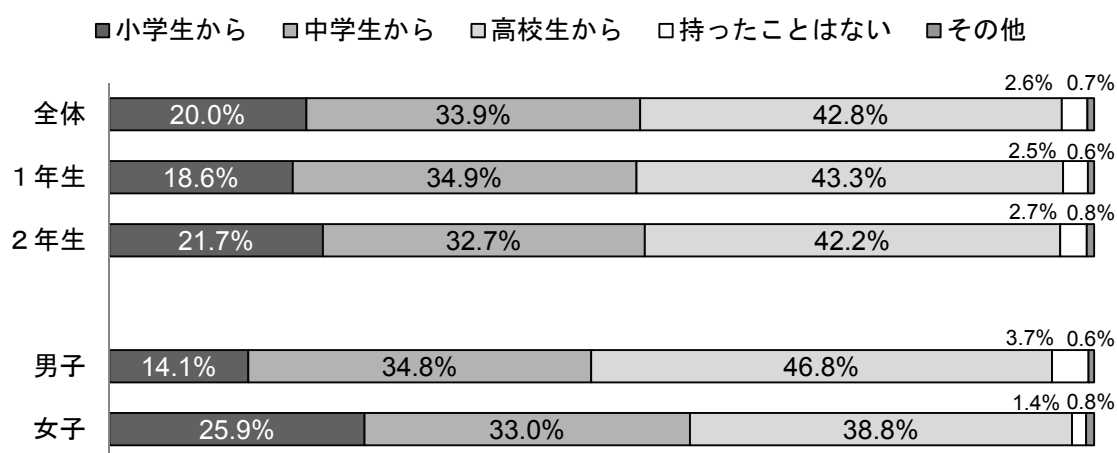
1. 携帯電話について

1-1 携帯電話の所持

全体で 96.7%の学生が携帯電話を所持していた。全体的に高校生から所持する割合が最も高く、小学生から所持していた割合も 2 割程度あった。

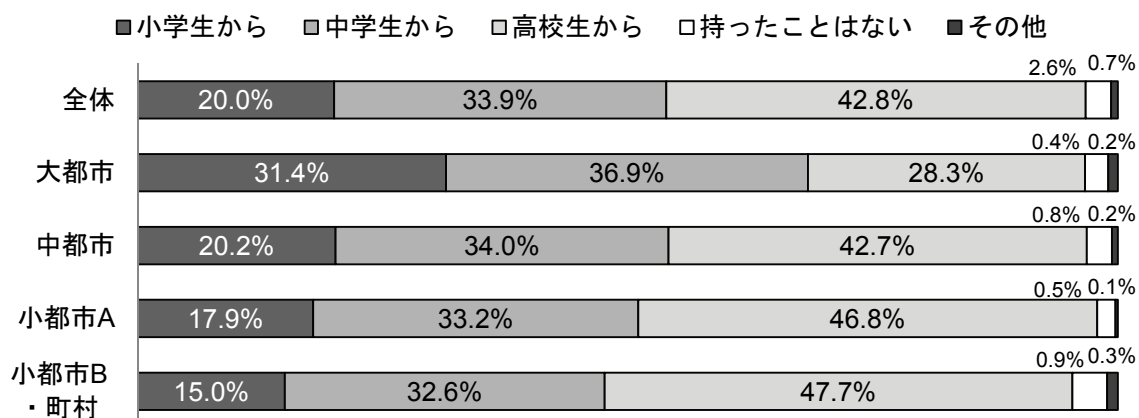
性別では、小学生からの所持率は女子が高く、高校生からの所持率は男子が高い。

【図表Ⅲ-1-1】携帯電話の所持＜全体・学年別・性別＞



都市別でみると、「高校生から」は都市規模が小さい方が多く、「小学生から」は大都市に多い傾向があった。大都市では、「小学生から」「中学生から」を合わせると 6 割強が高校に入学する前に携帯電話を所持していた。

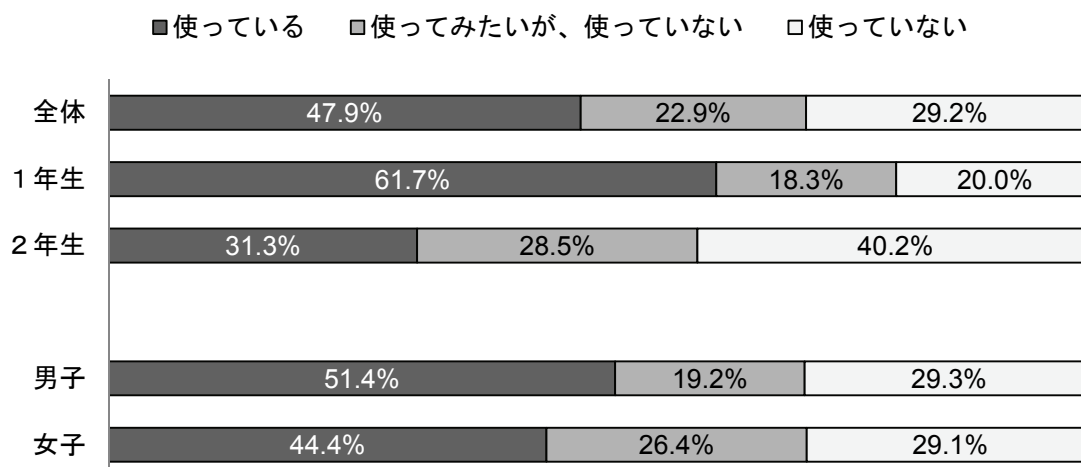
【図表Ⅲ-1-2】携帯電話の所持＜都市別＞



1-2 スマートフォンの所持

全体では高校生の半数弱がスマートフォンを使用しているが、学年差が大きく、2年生が約3割に対し、1年生は約6割となった。性別では、男子の方が高い傾向にあった。

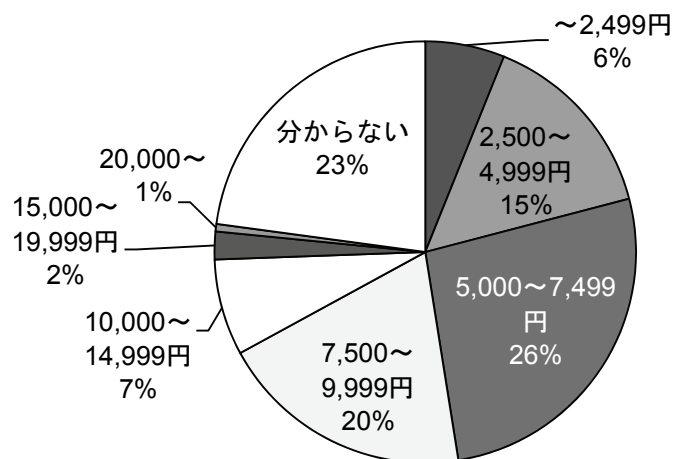
【図表Ⅲ-1-3】スマートフォンの所持＜全体・学年別・性別＞



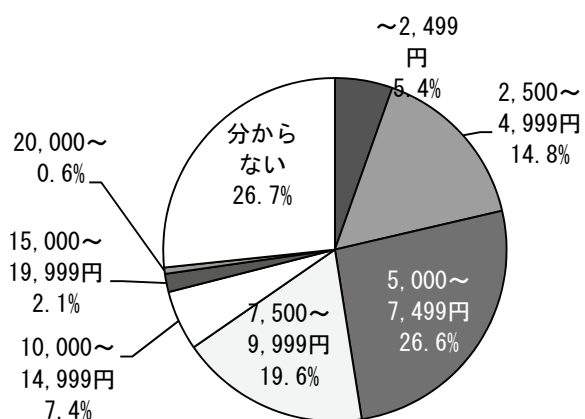
1-3 携帯電話の月額利用料金

全体の4人に1人が「5,000～7,499円」、「7,500～9,999円」が約2割であった。
1万円以上は約1割、「分からない」と回答したものも約2割いた。

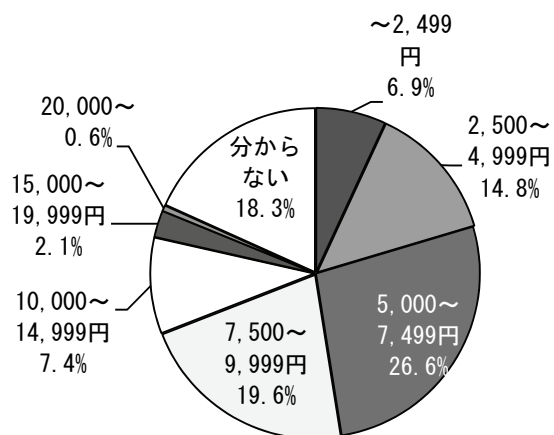
【図表Ⅲ-1-4】月額利用料金＜全体＞



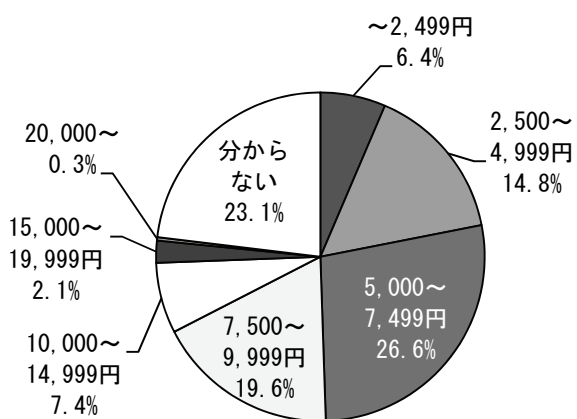
【図表Ⅲ-1-5】月額利用料金＜1年生＞



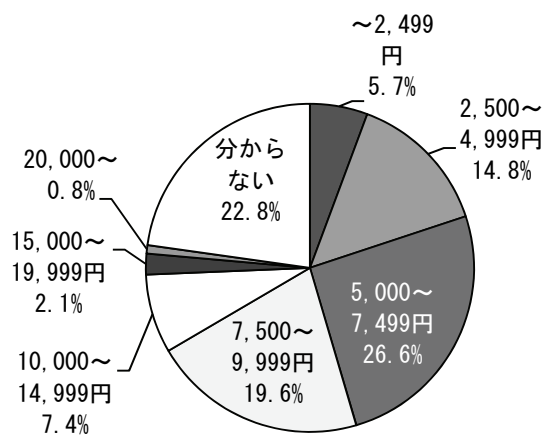
【図表Ⅲ-1-6】月額利用料金＜2年生＞



【図表Ⅲ-1-7】月額利用料金＜男子＞



【図表Ⅲ-1-8】月額利用料金＜女子＞

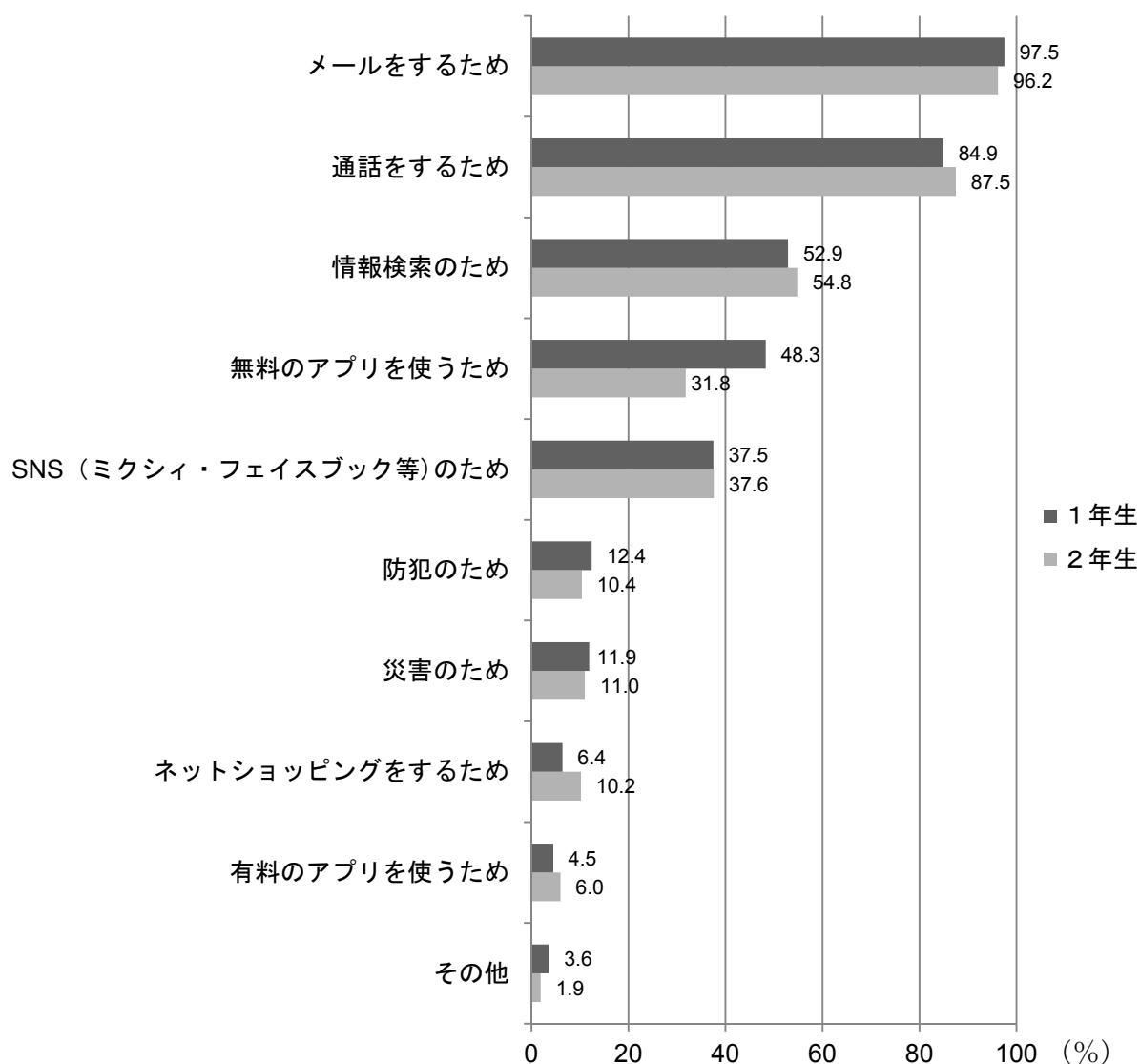


1-4 携帯電話の利用目的

ほとんどが「メールをするため」と回答した。次いで「通話をするため」が8割、「情報検索のため」が5割となった。1年生はスマートフォンの所持率が高いことから、「無料のアプリを使うため」が2年生に比べて多かった。

【図表Ⅲ-1-9】携帯電話の利用目的（複数回答）＜学年別＞

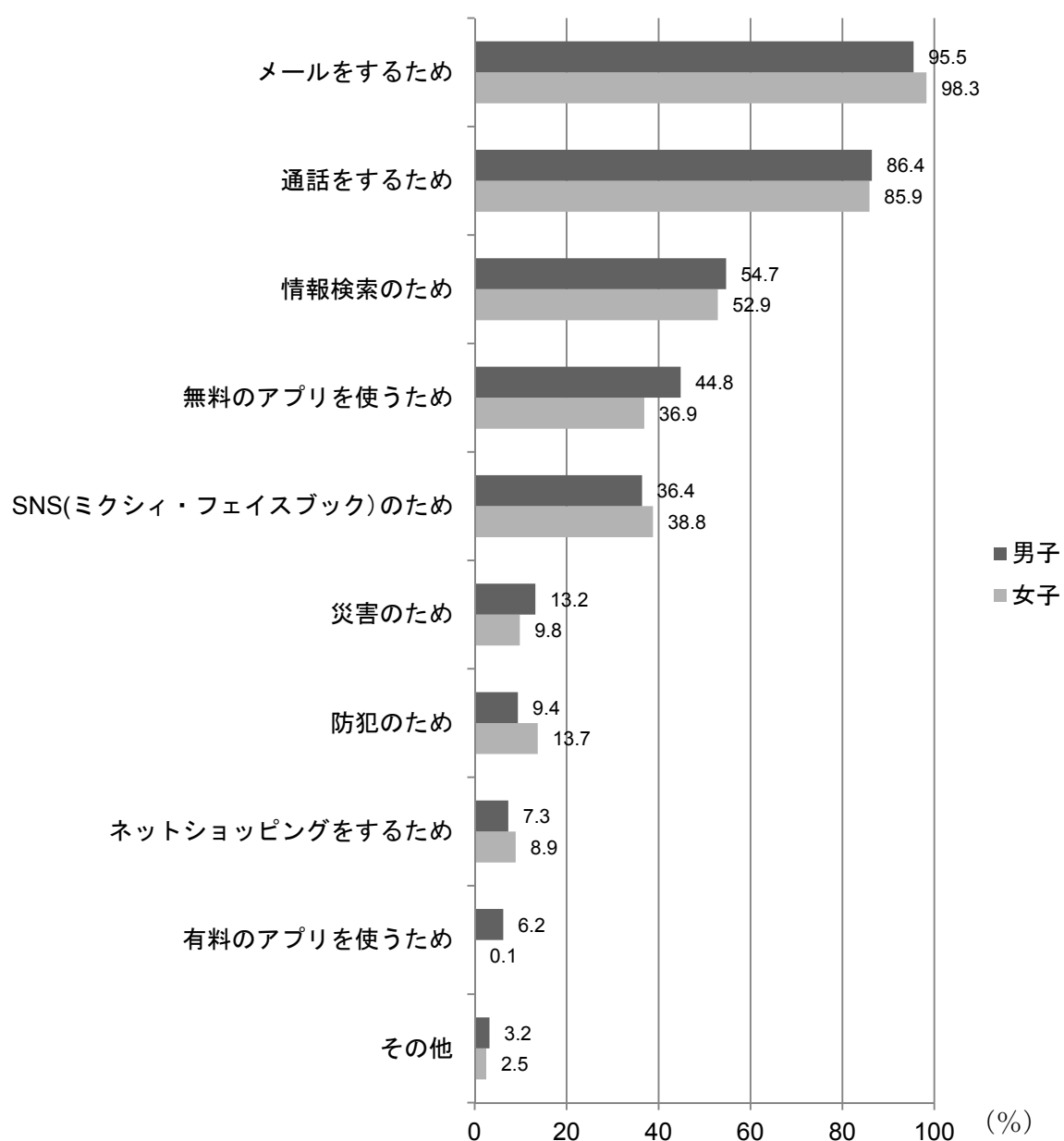
	1 位	2 位	3 位
1 年生	メールをするため (97.5%)	通話するため (84.9%)	情報検索のため (52.9%)
2 年生	メールをするため (96.2%)	通話するため (87.5%)	情報検索のため (54.8%)



性別では、「無料のアプリを使うため」「有料のアプリを使うため」が女子より男子の方が多かった。

【図表Ⅲ-1-10】携帯電話の利用目的（複数回答）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子	メールをするため (95.5%)	通話するため (86.4%)	情報検索のため (54.7%)
女子	メールをするため (98.3%)	通話するため (85.9%)	情報検索のため (52.9%)



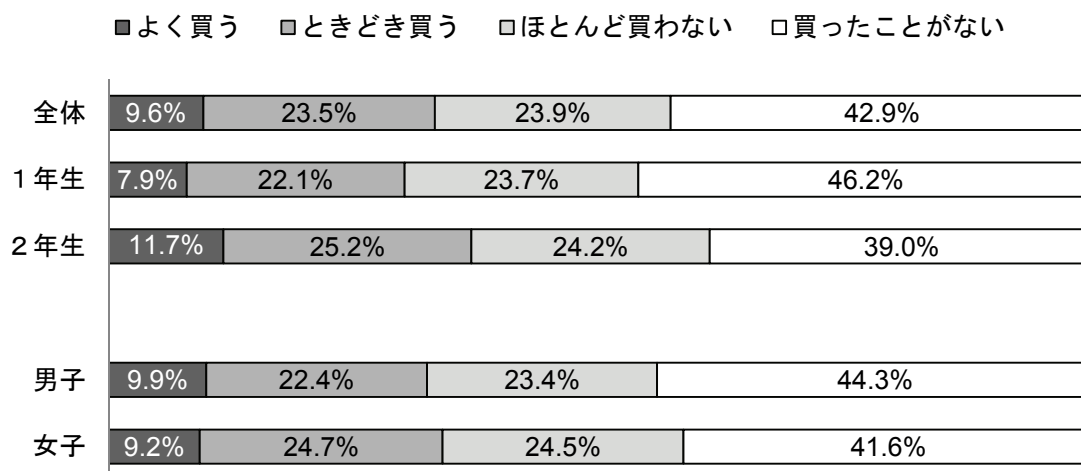
2. インターネットでの購入について

2-1 インターネットでの購入経験

インターネットでの購入経験に関して、全体で「よく買う」「ときどき買う」を合わせると 33.1%、3 人に 1 人という結果となった。

学年別では、1 年生に比べ 2 年生の方が購入経験が多かった。

【図表Ⅲ-2-1】インターネットでの購入経験＜全体・学年別・性別＞



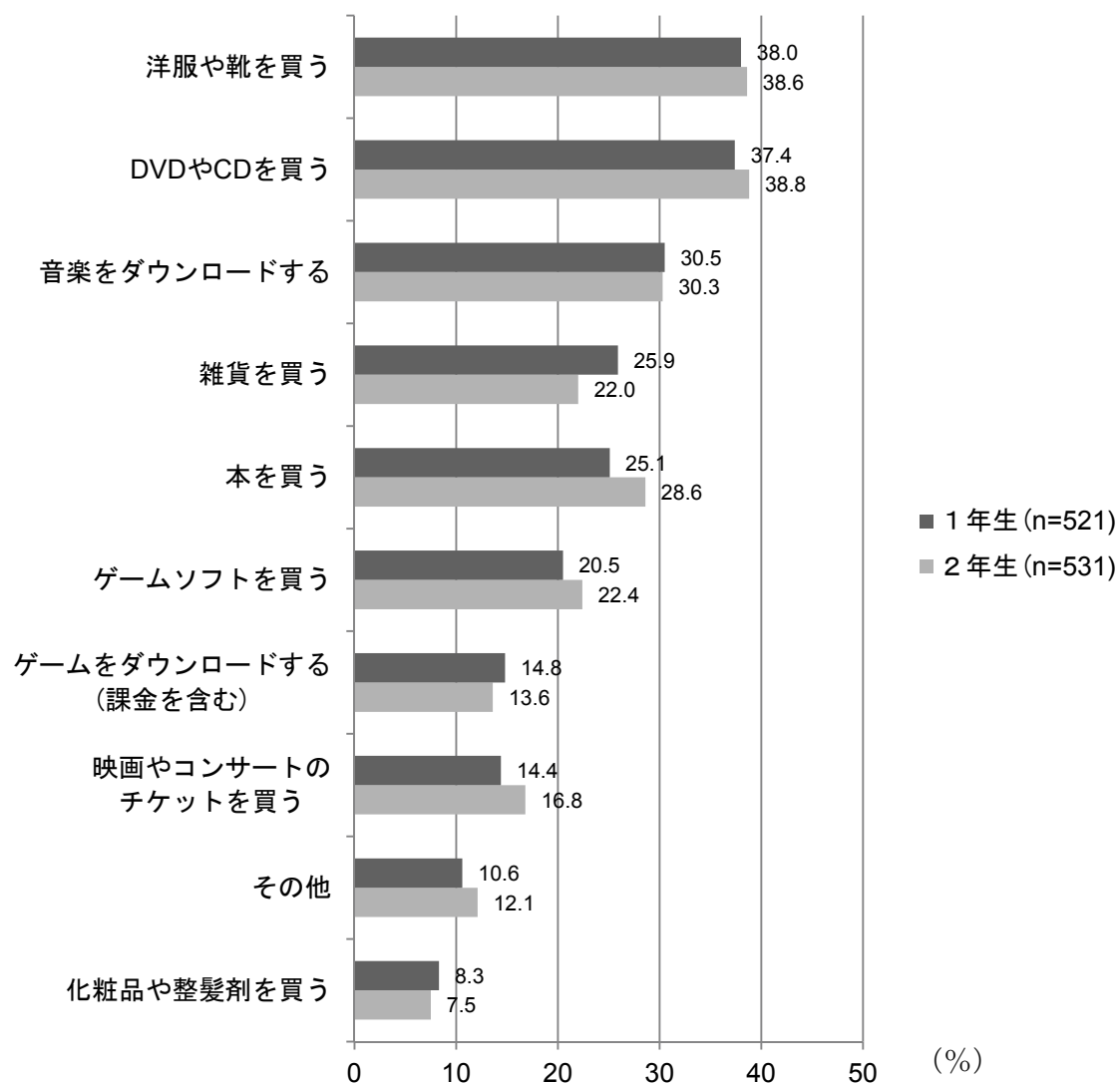
2-2 インターネットで購入したもの

インターネットで購入したものは、「洋服や靴」「DVD や CD」が上位に入った。また、「音楽をダウンロード」が3割という結果となった。

1年生では「雑貨」、2年生では「本」「ゲームソフト」も目立つ結果となった。

【図表Ⅲ-2-2】インターネットで購入したもの（複数回答）＜学年別＞

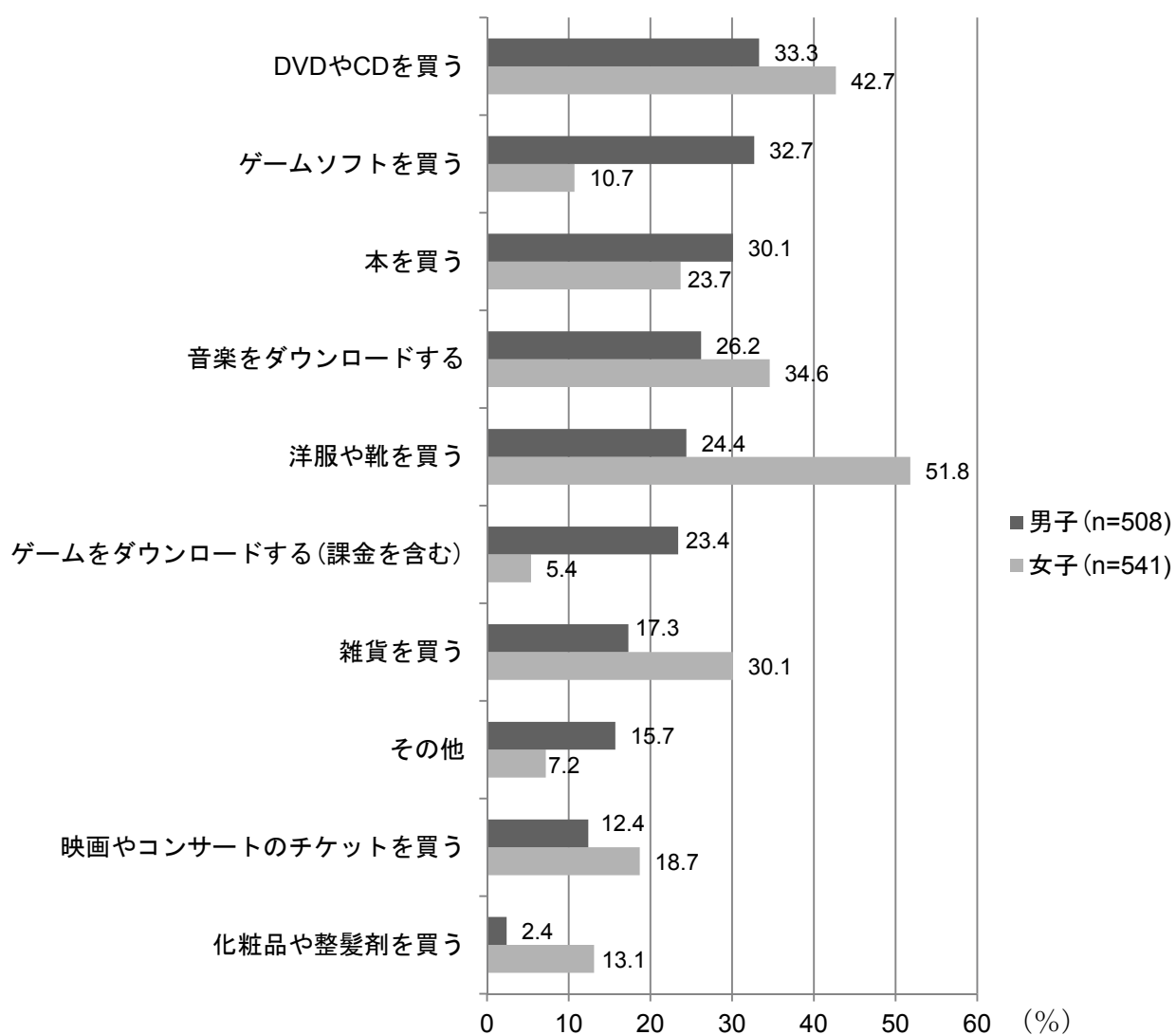
	1 位	2 位	3 位
1 年生	洋服や靴（38.0%）	DVD や CD（37.4%）	音楽をダウンロード（30.5%）
2 年生	DVD や CD（38.8%）	洋服や靴（38.6%）	音楽をダウンロード（30.3%）



性別では、男子は「DVD や CD」「ゲームソフト」「本」が上位に入った。一方女子は、「洋服や靴」が過半数で最も多く、次いで「DVD や CD」が約 4 割、「音楽をダウンロード」が約 3 割になった。性別により購入する内容に大きな違いがみられた。

【図表Ⅲ-2-3】インターネットで購入したもの（複数回答）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子	DVD や CD (33.3%)	ゲームソフト (32.7%)	本 (30.1%)
女子	洋服や靴 (51.8%)	DVD や CD (42.7%)	音楽をダウンロード (34.6%)

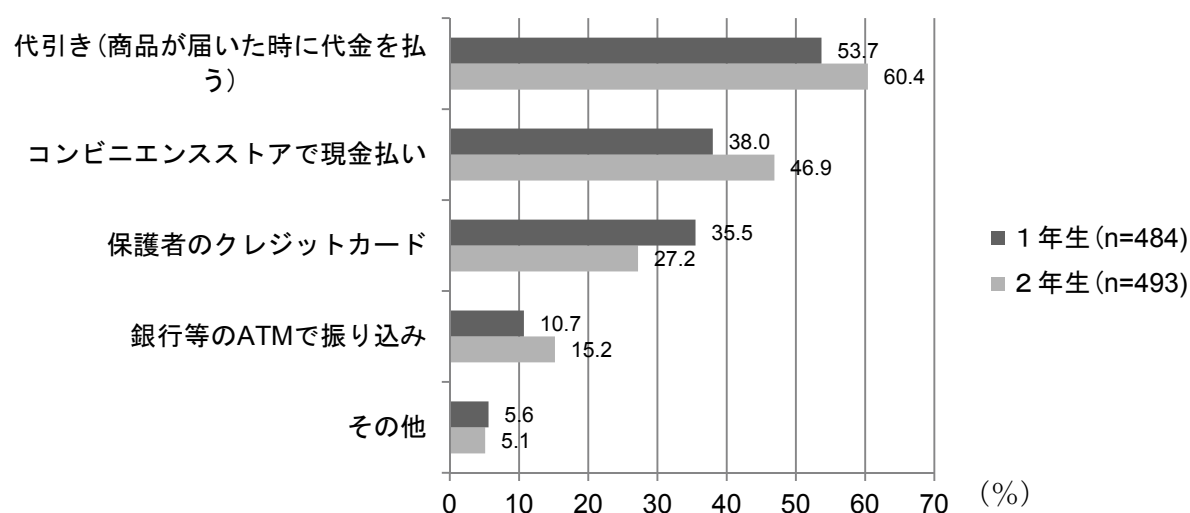


2-3 インターネットで購入時の支払い方法

「代引き（商品が届いた際に代金を払う）」が最も多く、次いで「コンビニエンスストアで現金払い」「保護者のクレジットカード」が続いた。

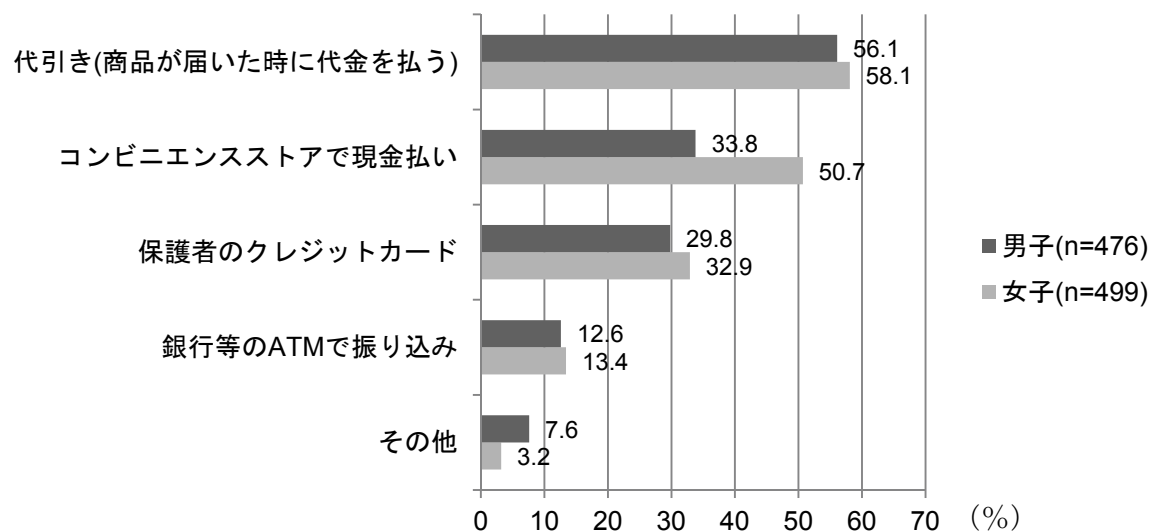
「保護者のクレジットカード」は1年生の方が多いという結果となった。

【図表Ⅲ-2-4】インターネットで購入時の支払い方法（複数回答）＜学年別＞



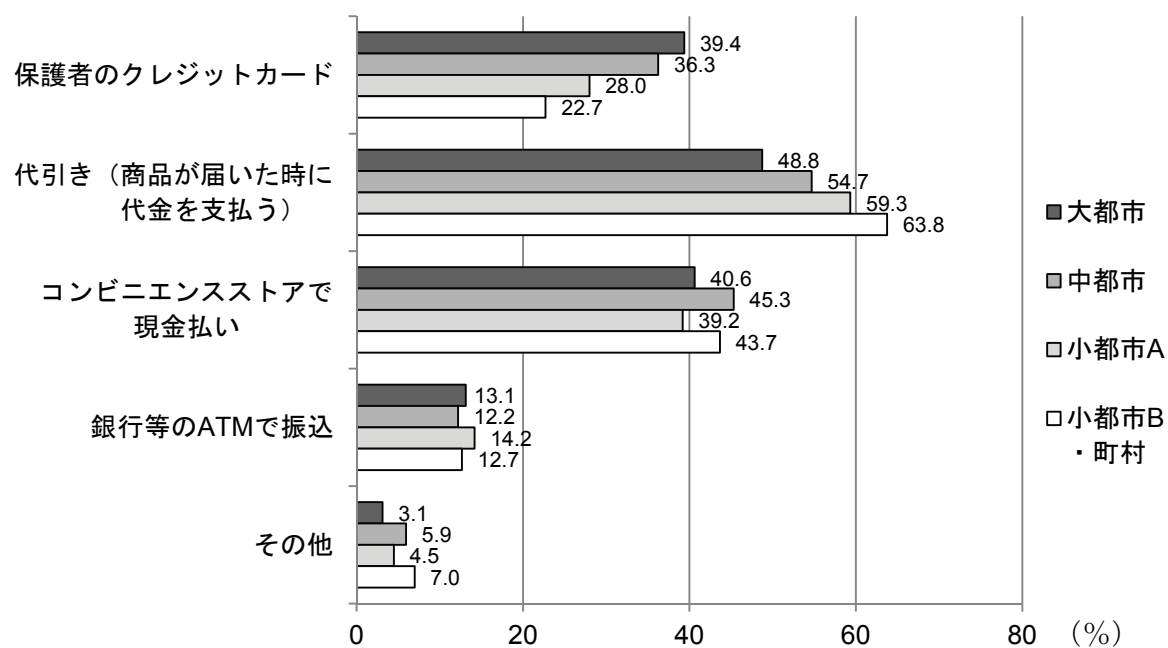
性別では、男女とも過半数が「代引き（商品が届いた時に代金を払う）」と回答し、また女子は「コンビニエンスストアで現金払い」も約5割あった。

【図表Ⅲ-2-5】インターネットで購入時の支払い方法（複数回答）＜性別＞



都市別でみると、全体的には「代引き（商品が届いた時に代金を支払う）」が最も多いが、都市規模が小さくなるほど、「代引き」での支払いが増え、大都市では「保護者のクレジットカード」の割合が高くなっている。

【図表Ⅲ-2-6】インターネットで購入時の支払い方法（複数回答）＜都市別＞



IV 将来について

1. 将来の夢・職業・進路について

1-1 将来の夢

将来の夢は、全体の約半数が「夢がある」と回答した。そのうち「夢がありプランがある」と回答したのは約2割であった。性別では、「夢がある」が男子の約4割に対して、女子は約6割という結果となった。

【図表Ⅳ-1-1】将来の夢があるかく全体・学年別・性別＞

■夢があり、プランがある □夢はあるが、プランはない □夢はない □よく分からない

全体	20.5%	30.1%	19.3%	30.1%
1年生	19.6%	31.6%	20.0%	28.9%
2年生	21.7%	28.4%	18.5%	31.4%
男子	17.7%	24.4%	25.4%	32.6%
女子	23.4%	35.9%	13.3%	27.5%

将来の夢についての自由記述では、具体的な職業名と将来の理想像を記入するケースがあった。職業名については「教師」が最も多く、次いで「保育士」「看護師」が多くみられた。将来の理想像については、「人の役に立つような仕事」「安定した職業」などの記述がみられた。

【図表Ⅳ-1-2】将来の夢（自由記述）

《職業》		《将来の理想像》	
・教師	136人	・人の役に立つような仕事に就きたい	10人
・保育士	70人	・安定した職業に就きたい	6人
・看護師（助産師を含む）	52人	・結婚	5人
・美容師	26人	・幸せで楽しい家族を作る	5人
・薬剤師	25人	・人を幸せに出来る仕事	5人
・公務員	19人	・人の役に立つ人間になりたい	3人等

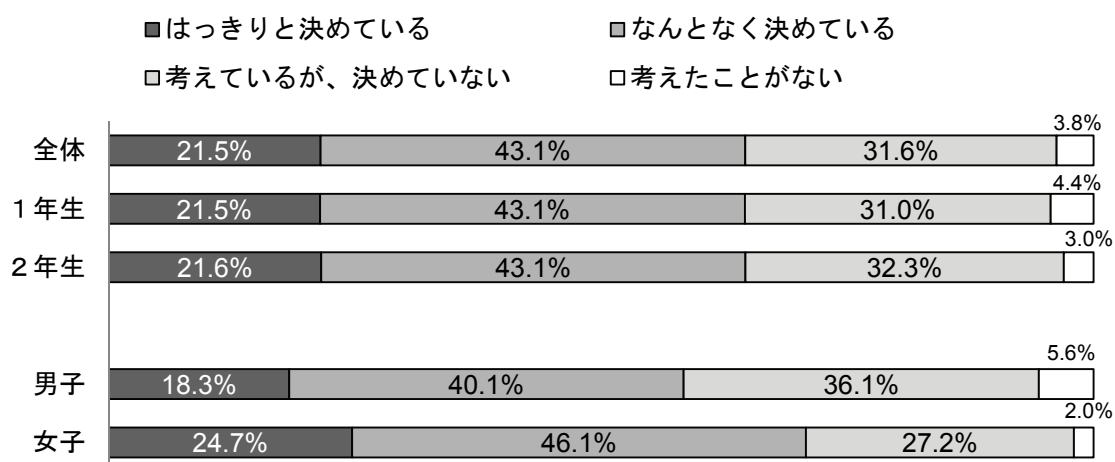
1-2 将来就きたい職業

将来就きたい職業に関しては、全体の3分の2が「はっきりと決めている」と回答し「なんとなく決めている」「決めていない」は約3割であった。

学年別では、1年生2年生で大きな差はみられなかった。

性別では、男子に比べ女子の方が就きたい職業を決めている傾向が高い結果となった。

【図表Ⅳ-1-3】将来就きたい職業＜全体・学年別・性別＞

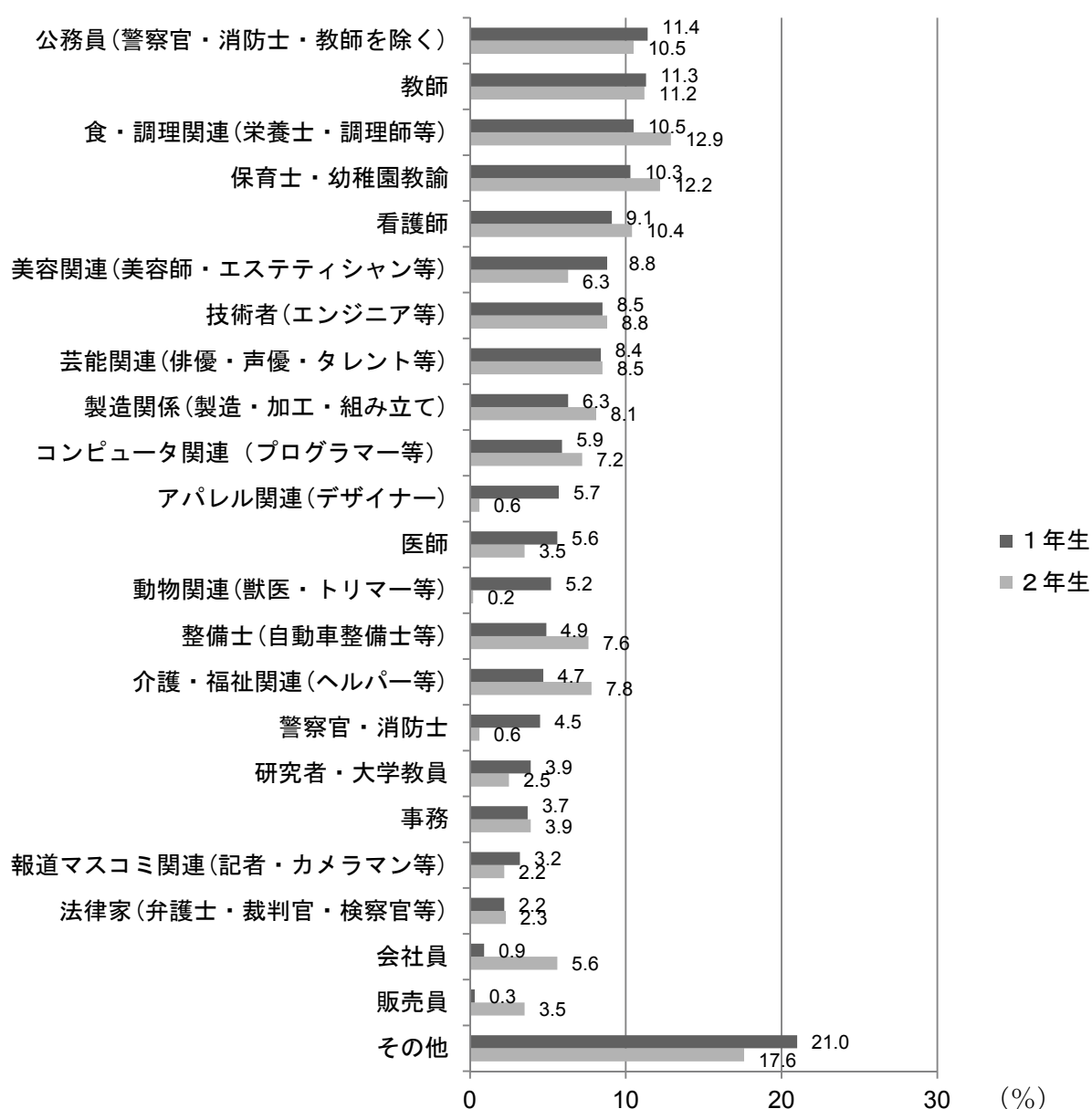


将来就きたい職業は、「公務員（警察官・消防士・教師を除く）」「教師」「食・料理関係（栄養士・調理師等）」「保育士・幼稚園教諭」が多い（「その他」を除く）。
「その他」では、薬剤師、音楽関係、スポーツ関係が目立った。

【図表Ⅳ-1-4】将来就きたい職業＜学年別＞

※その他を除く

	1 位	2 位	3 位
1 年生	公務員（警察官等除く）（11.4%）	教師（11.3%）	食・調理関係（10.5%）
2 年生	食・調理関係（12.9%）	保育士・幼稚園教諭（12.2%）	教師（11.2%）

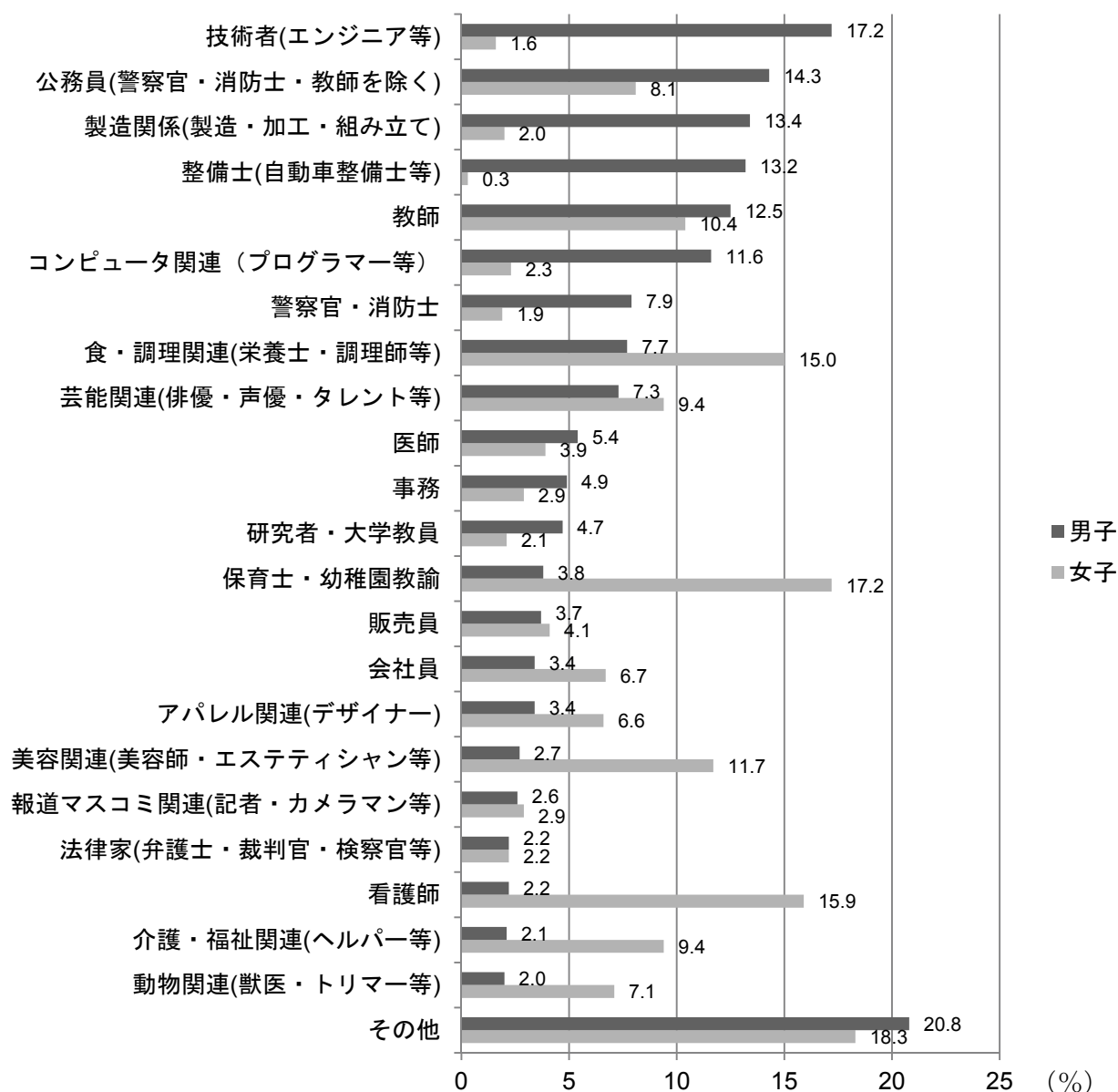


性別では、男子は「技術者（エンジニア等）」が最も多く、次いで「公務員（警察官等を除く）」「製造関係」「整備士」が多い（「その他」を除く）。女子は「保育士・幼稚園教諭」が最も多く、「看護師」「食・調理関係（栄養士・調理師等）」が多い結果となった。「その他」では男子で建築関係、自衛官、農業が、女子では薬剤師、ウェディングプランナー、歯科衛生士等があった。

【図表Ⅳ-1-5】将来就きたい職業＜性別＞

※その他を除く

	1 位	2 位	3 位
男子	技術者（17.2%）	公務員（警察官等除く）（14.3%）	製造関係（13.4%）
女子	保育士・幼稚園教諭（17.2%）	看護師（15.9%）	食・調理関係（15.0%）



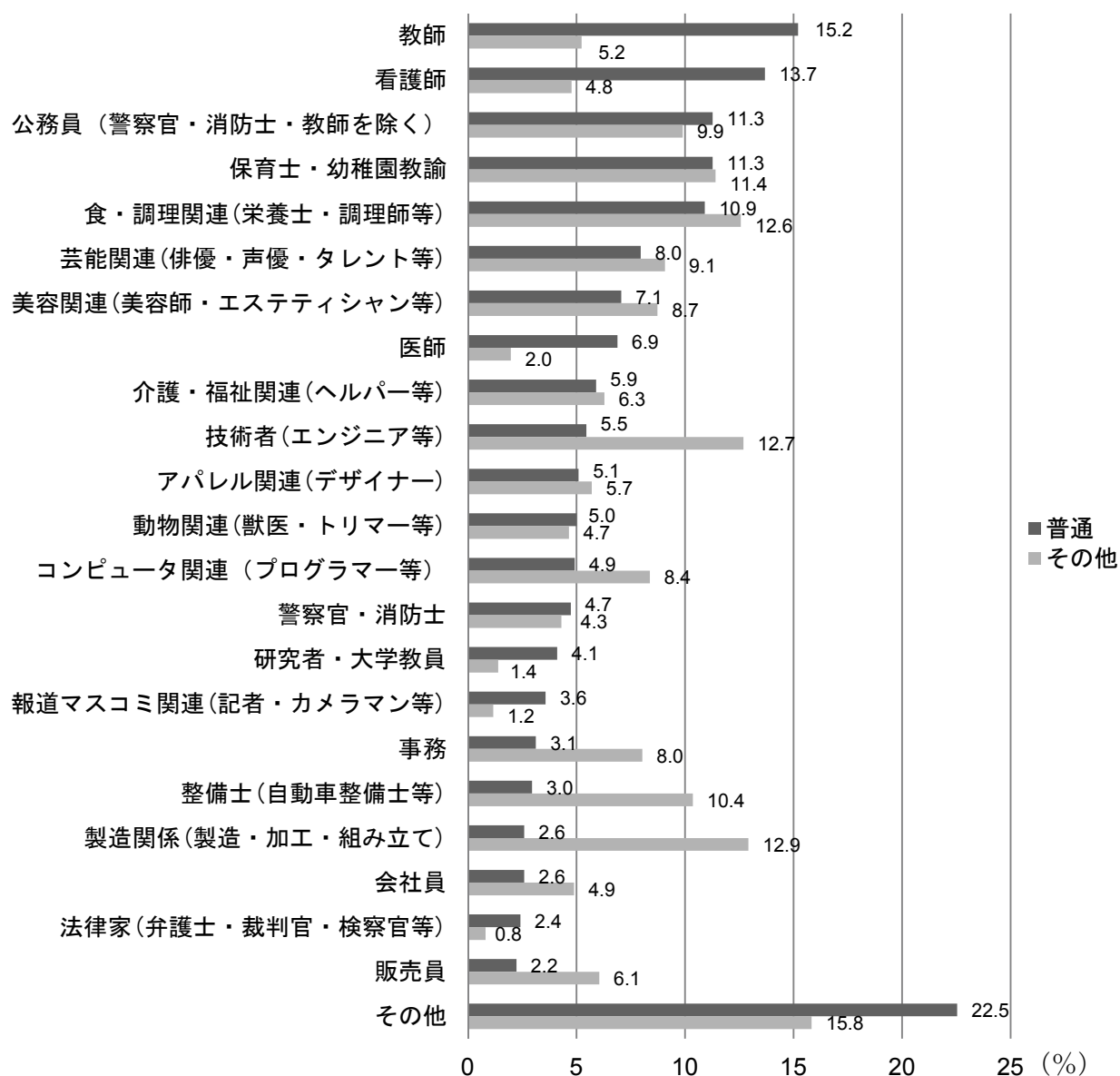
就きたい職業を学科別でみると、普通科では「教師」「看護師」「公務員（警察官・消防士・教師を除く）」「保育士・幼稚園教諭」が上位を占めた（「その他」を除く）。

一方、普通科以外の学科では「製造関係（製造・加工・組み立て）」「技術者（エンジニア等）」「食・調理関係（栄養士・調理師等）」が上位となった。

【図表Ⅳ-1-6】将来就きたい職業＜学科別＞

※その他を除く

学科	1 位	2 位	3 位
普通科	教師（15.2%）	看護師（13.7%）	公務員（警察官等除く）（11.3%） 保育士・幼稚園教諭（11.3%）
普通科以外	製造関係（12.9%）	技術者（12.7%）	食・調理関係（12.6%）

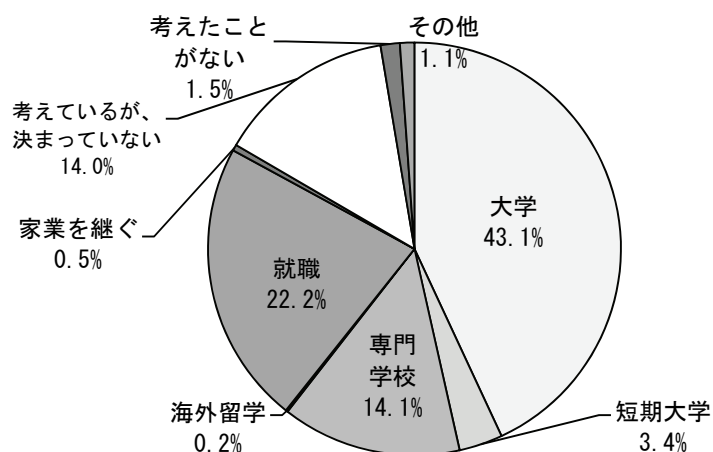


（注）その他…農業、工業、商業、水産、家庭、総合、その他

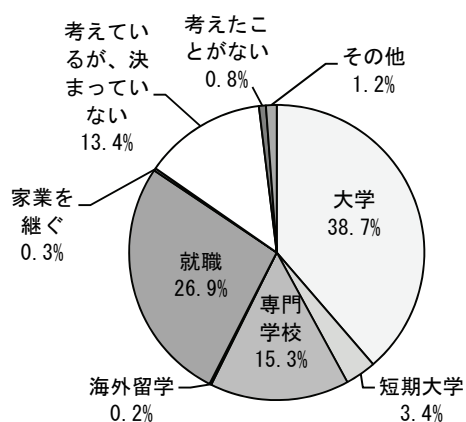
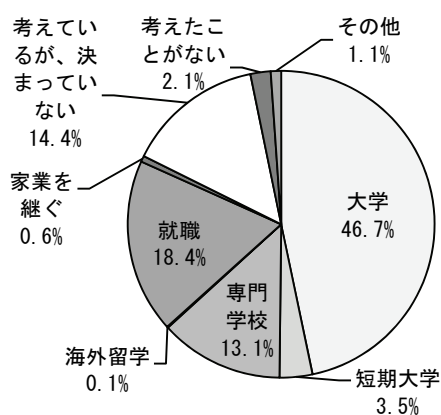
1-3 卒業後の進路

全体の約4割が「大学」への進学と回答しており、「就職」は約2割であった。学年別では、1年生で半数近くが大学と回答しているが、2年生になると4割弱に減り、就職が増える傾向にあった。性別では大学進学に差はないが、男子に就職が多く、女子に専門学校や短大が多くなっている。

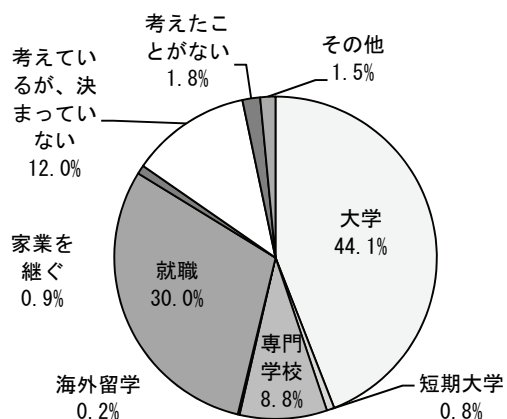
【図表Ⅳ-1-7】高校卒業後の進路＜全体＞



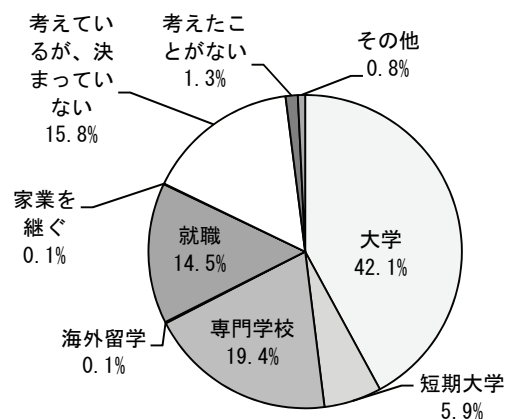
【図表Ⅳ-1-8】高校卒業後の進路＜1年生＞ 【図表Ⅳ-1-8】高校卒業後の進路＜2年生＞



【図表Ⅳ-1-9】高校卒業後の進路＜男子＞



【図表Ⅳ-1-10】高校卒業後の進路＜女子＞

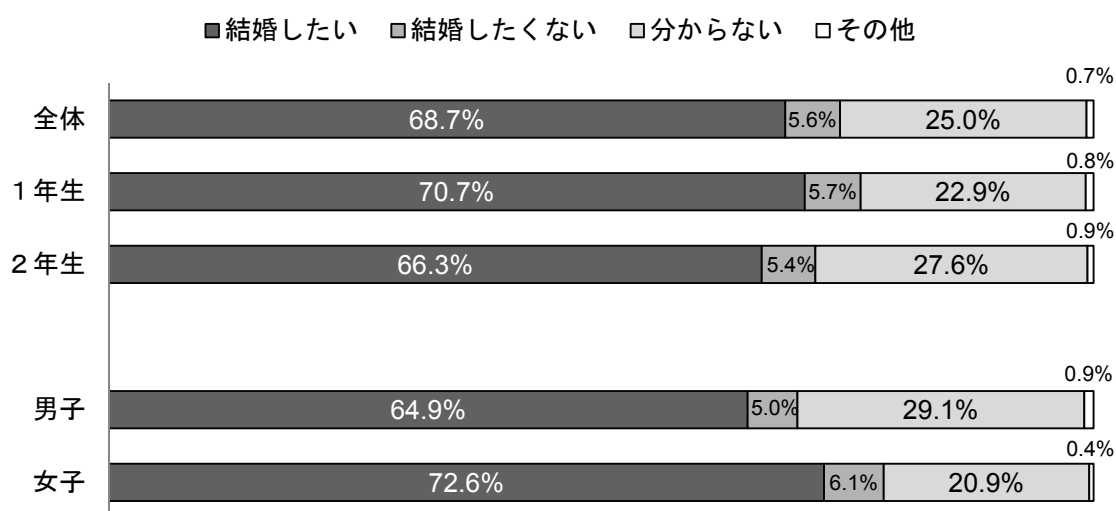


2. 結婚・子どもについて

2-1 結婚

全体の約7割が「結婚したい」と回答した。「結婚したくない」も5%程度あった。性別では、男子に比べ女子の結婚願望が高い結果となった。

【図表Ⅳ-2-1】結婚願望＜全体・学年別・性別＞



結婚希望年齢については、「25歳」前後が目立った。

学年別、性別で年齢に大差はみられなかったが、性別では男子の方が回答年齢にばらつきがみられた。

【図表Ⅳ-2-2】結婚希望年齢＜学年別・性別＞

		平均値	中央値
学年別	1年生	24.7	25
	2年生	24.9	25
性別	男子	25.3	25
	女子	24.4	25
合計		24.8	25

(単位：歳)

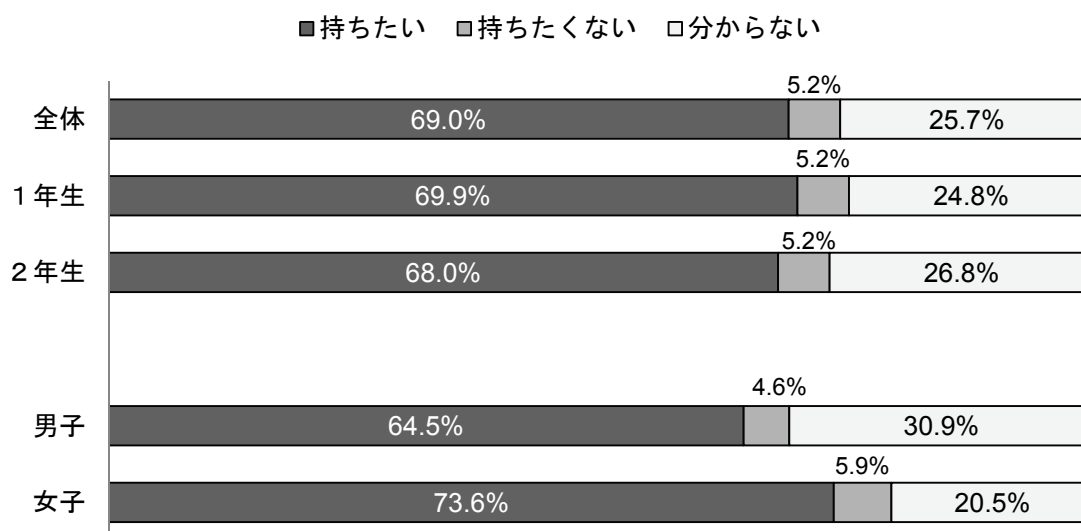
2-2 子ども

将来子どもを持つことについて、全体の約7割が「持ちたい」と答えた。「持ちたくない」も5%程度あった。

性別では、男子に比べ女子の方が「子どもを持ちたい」傾向にあり、結婚願望と比例する結果となった。【図表Ⅳ-2-3】

将来持ちたい子どもの希望人数では、「2人」という結果となった。【図表Ⅳ-2-4】

【図表Ⅳ-2-3】子どもを持ちたいか＜全体・学年別・性別＞



【図表Ⅳ-2-4】子どもの希望人数＜学年別・性別＞

		平均値	中央値
学年	1年生	2.7	2
	2年生	2.6	2
性別	男子	2.7	2
	女子	2.6	2
合計		2.7	2

(単位：人)

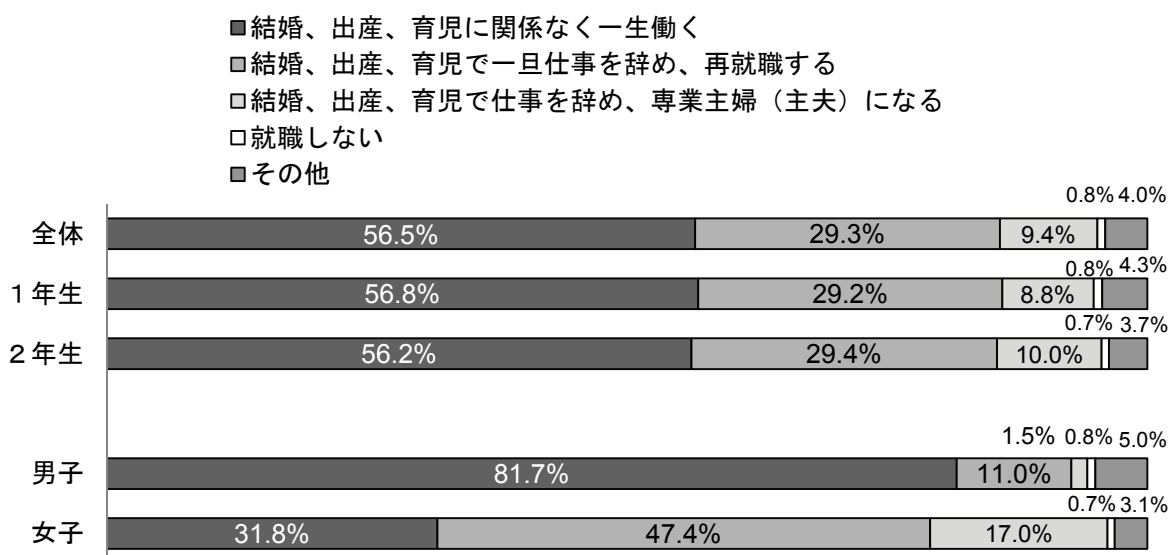
3. 将来の生活について

3-1 将来の働き方

将来の働き方について、全体では「結婚、出産、育児に関係なく一生働く」が約6割で最も多く、次いで「結婚、出産、育児で一旦仕事を辞め、再就職する」が3割であった。「専業主婦（主夫）」や「就職しない」など、定職に就かないと回答したのは1割程度であった。

性別でみると、男子の「結婚、出産、育児に関係なく一生働く」が約8割に対し、女子は約3割となった。女子は「結婚、出産、育児で一旦仕事辞め、再就職する」が約5割となり、伝統的な職業観を持っていた。

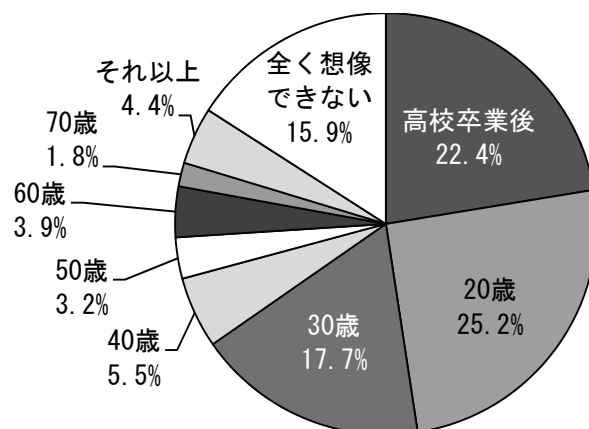
【図表Ⅳ-3-1】将来の働き方＜全体・学年別・性別＞



3-2 将来が思い描ける年齢

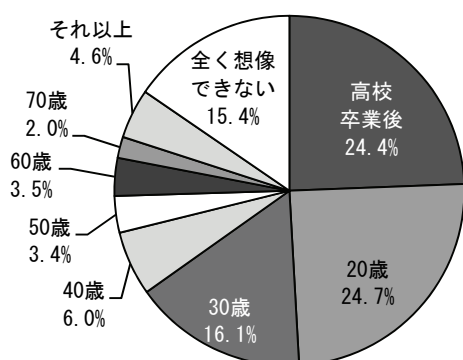
将来が思い描ける年齢については、「20歳」が2割強と最も多く、次いで「高校卒業後」が約2割、「全く想像できない」は約16%であった。「高校卒業後」と「20歳」を合わせた近い将来が約5割を占めており、10年後、20年後、それ以上先の将来を描くことが難しいという結果となった。

【図表Ⅳ-3-2】 将来が思い描ける年齢＜全体＞



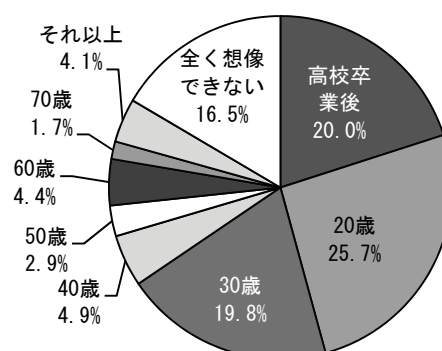
【図表Ⅳ-3-3】

将来が思い描ける年齢＜1年生＞



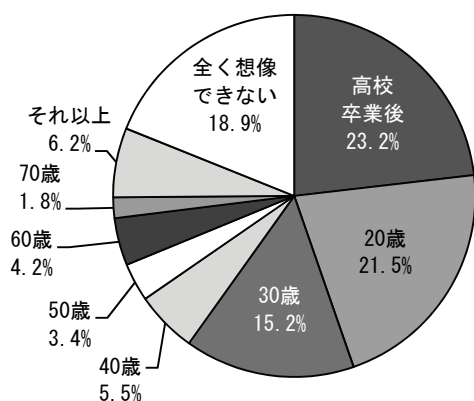
【図表Ⅳ-3-4】

将来が思い描ける年齢＜2年生＞



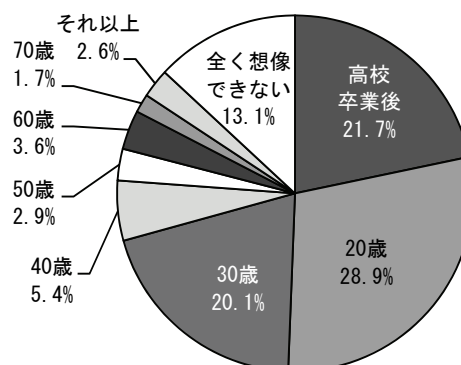
【図表Ⅳ-3-5】

将来が思い描ける年齢＜男子＞



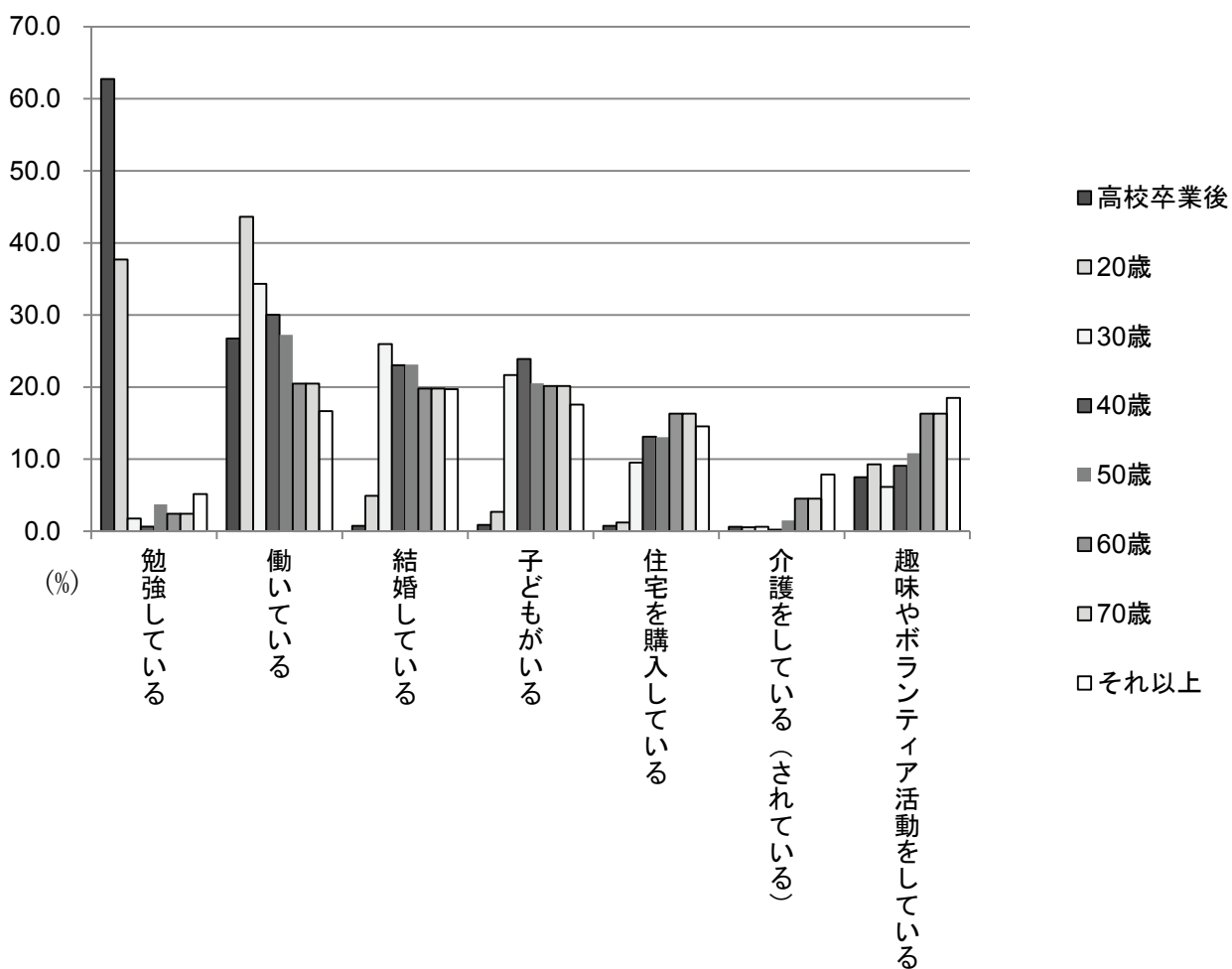
【図表Ⅳ-3-6】

将来が思い描ける年齢＜女子＞



思い描ける年齢に何をしているかについては、高校卒業後では「勉強している」が約6割最も多く、次いで20歳の「働いている」が約4割であった。「結婚している」では30代が最も高く、「子どもがいる」では40代であった。「趣味やボランティア活動をしている」では60代～それ以上が多かった。

【図表Ⅳ-3-7】思い描ける年齢に何をしているか

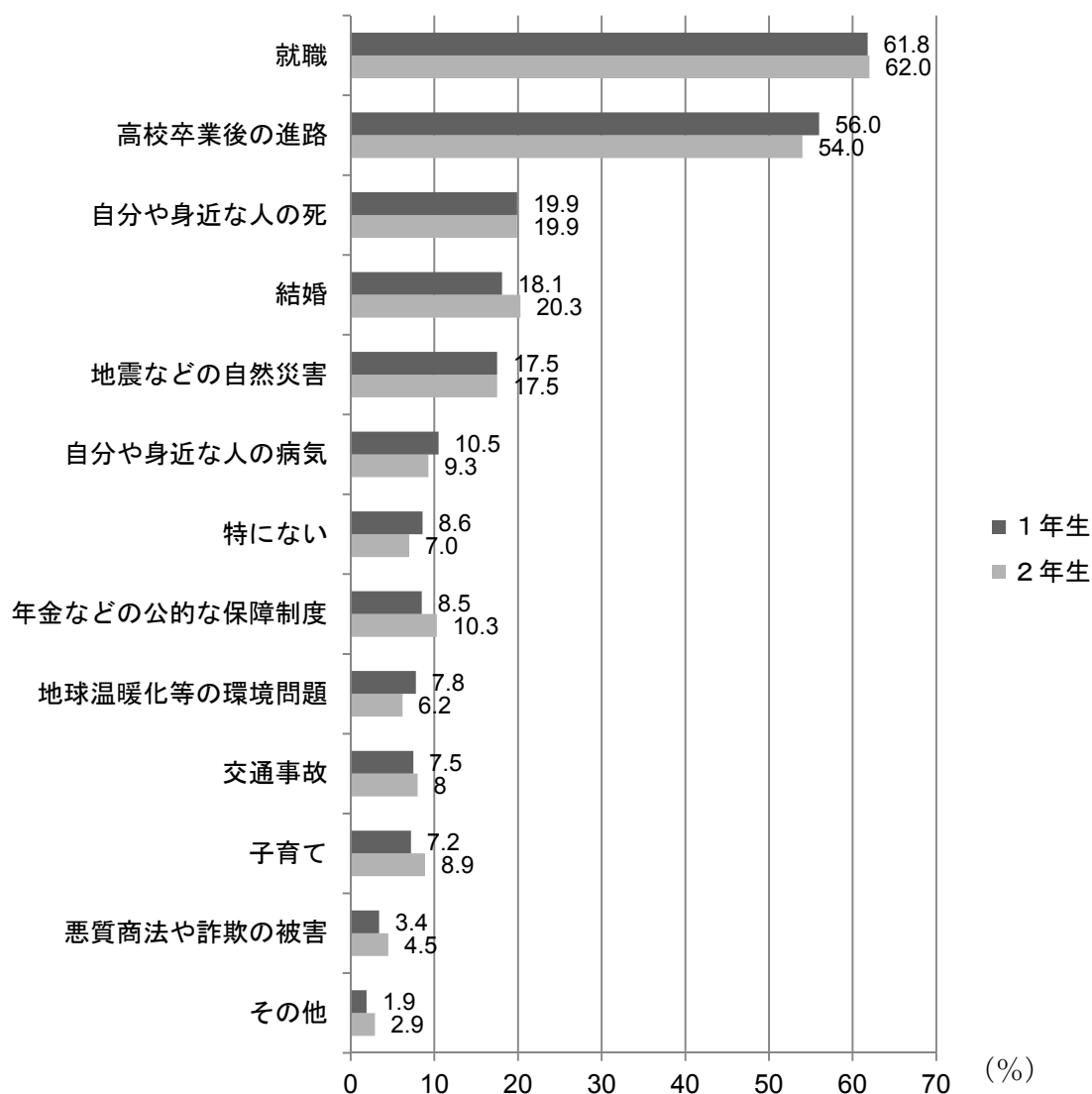


3-3 将来不安なこと

将来不安なことについては、「就職」、「高校卒業後の進路」が過半数を超えた。また、「自分や身近な人の死」、「結婚」、「地震などの自然災害」についても2割弱の回答があった。その他では、「お金」や「政治」についての項目が上がった。

【図表Ⅳ-3-8】将来不安なこと（複数回答3つまで）＜学年別＞

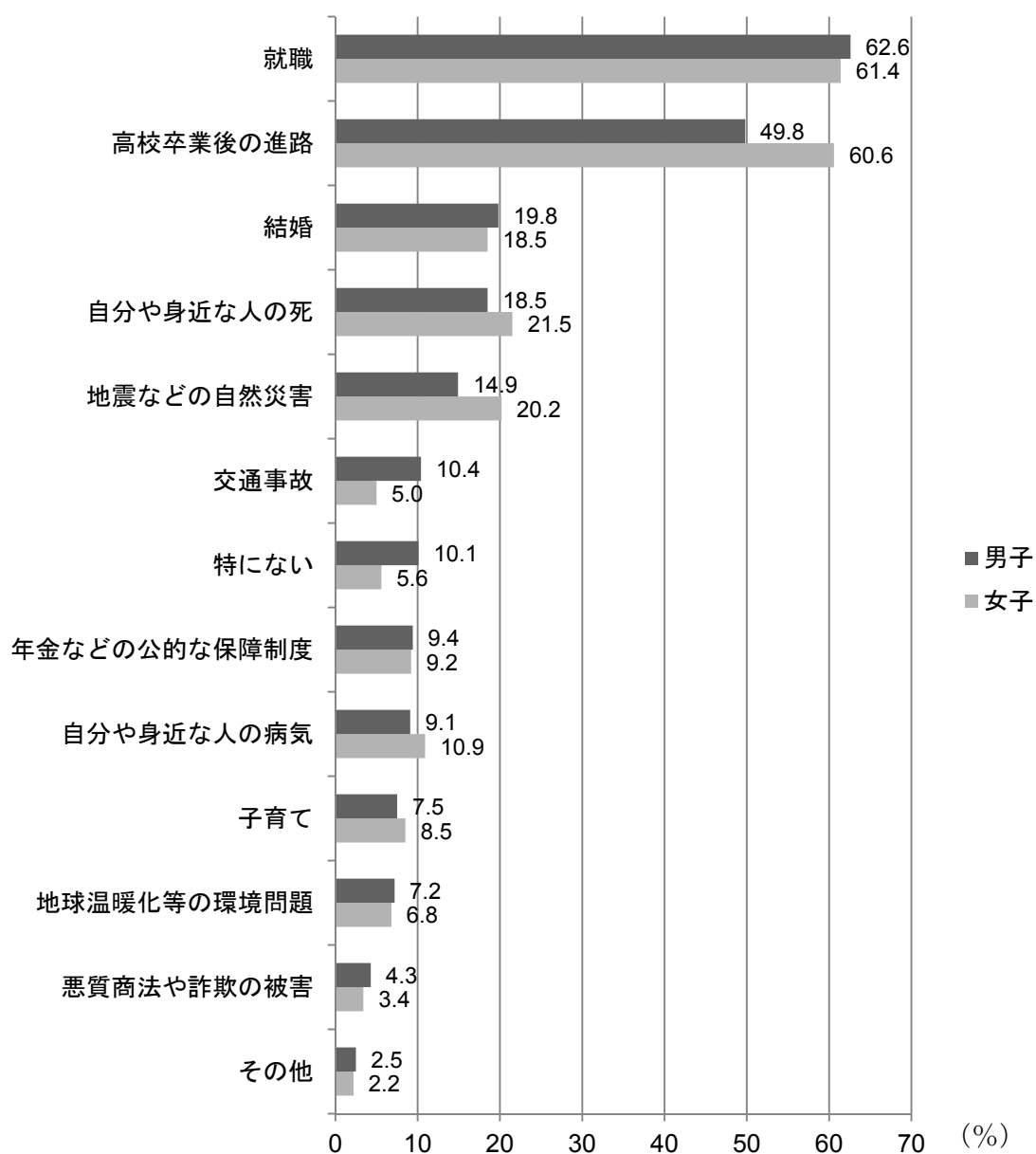
	1 位	2 位	3 位
1 年生	就職（61.8%）	高校卒業後の進路（56.0%）	自分や身近な人の死（19.9%）
2 年生	就職（62.0%）	高校卒業後の進路（54.0%）	結婚（20.3%）



性別では、男子は「交通事故」「特にない」が女子より多く、女子は「高校卒業後の進路」、「地震などの自然災害」が男子より多い結果となった。

【図表Ⅳ-3-9】将来不安なこと（複数回答3つまで）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子	就職（62.6%）	高校卒業後の進路（49.8%）	結婚（19.8%）
女子	就職（61.4%）	高校卒業後の進路（60.6%）	自分や身近な人の死（21.5%）



【図表Ⅳ-3-10】将来不安なこと（自由記述）

・就職できるかどうか	307 人	・収入が得られるかどうか	18 人
・大学進学について	97 人	・自分がどうなるか分からない	16 人
・家族や周りの人の病気・死	48 人	・将来が想像できない	15 人
・進路について	47 人	・結婚出来るか	13 人
・地震について	44 人	・勉強	13 人
・お金	36 人	・夢が決まってないから	12 人
・どうしたいか分からなく不安	32 人	・色々と不安	11 人
・大学進学、就職できるか	29 人	・年金がもらえるか	11 人
・就きたい職業に就けるか	24 人	・進学や就職が出来るか	11 人
・生活していけるか	23 人	・仕事をしっかり続けていけるか	10 人
・自立して生きていけるか	22 人		等
・どこに就職しているか	21 人		
・働いているか	21 人		
・進路が決まっていない	20 人		

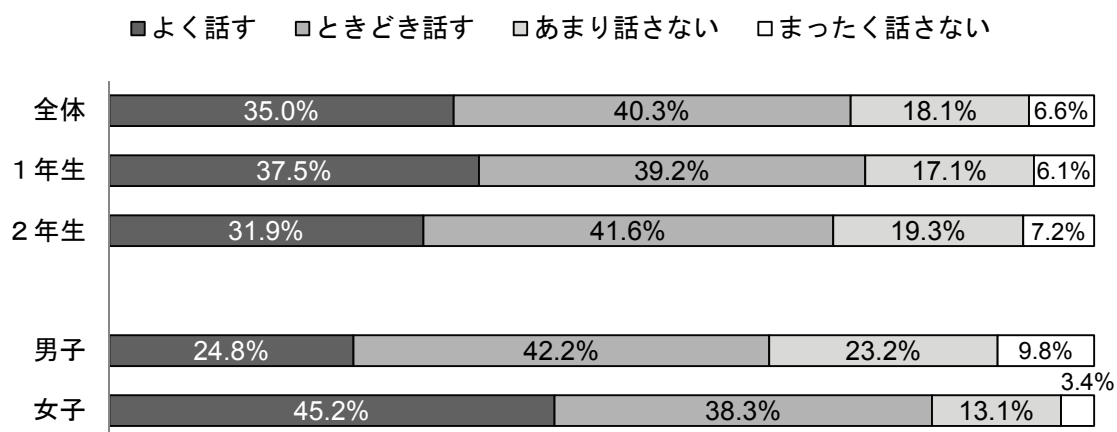
4. 保護者との会話について

(1) 学校での出来事について

全体の約7割の生徒が「話す」という結果となった。

学年別では2年生に比べ1年生が、性別では男子に比べ女子が「話す」傾向が強かった。特に、性別の差が顕著にみられた。

【図表Ⅳ-4-1】学校での出来事＜全体・学年別・性別＞

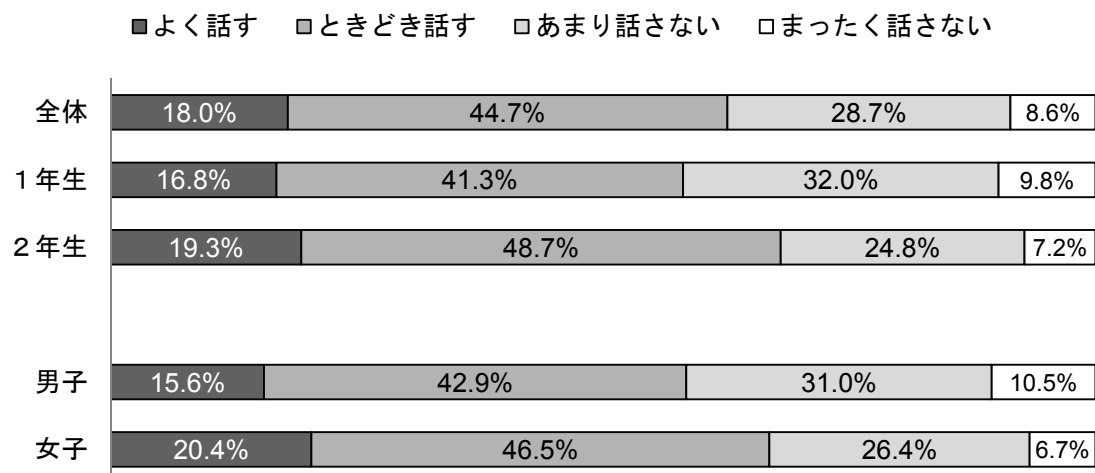


(2) 高校卒業後の進路について

全体の6割強が「話す」という結果となった。

学年別では1年生に比べ2年生が、性別では男子に比べ女子が「話す」傾向が強かった。

【図表Ⅳ-4-2】高校卒業後の進路＜全体・学年別・性別＞

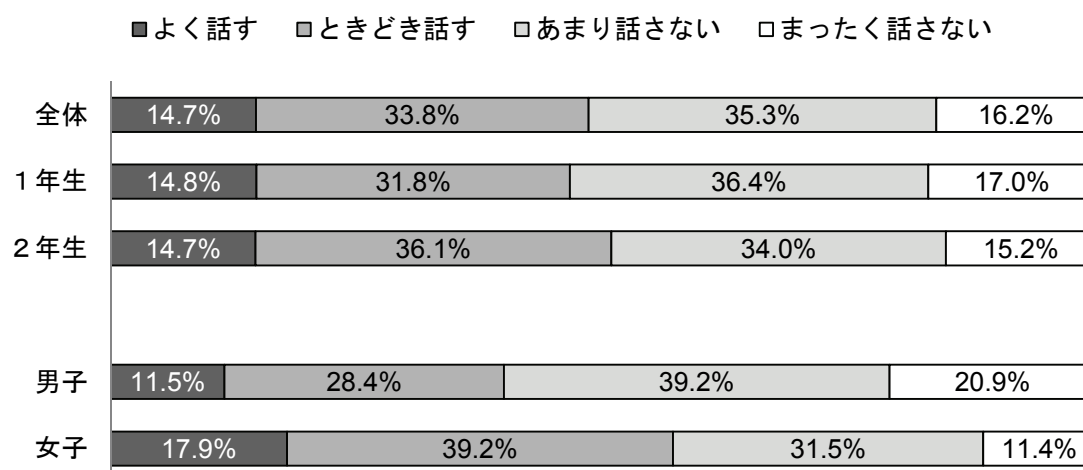


（３）将来の夢について

全体の約半数が「話す」という結果となった。

学年別では２年生が、性別では女子が「話す」傾向が強かった。特に、性別の差が顕著にみられた。

【図表Ⅳ-４-３】将来の夢＜全体・学年別・性別＞

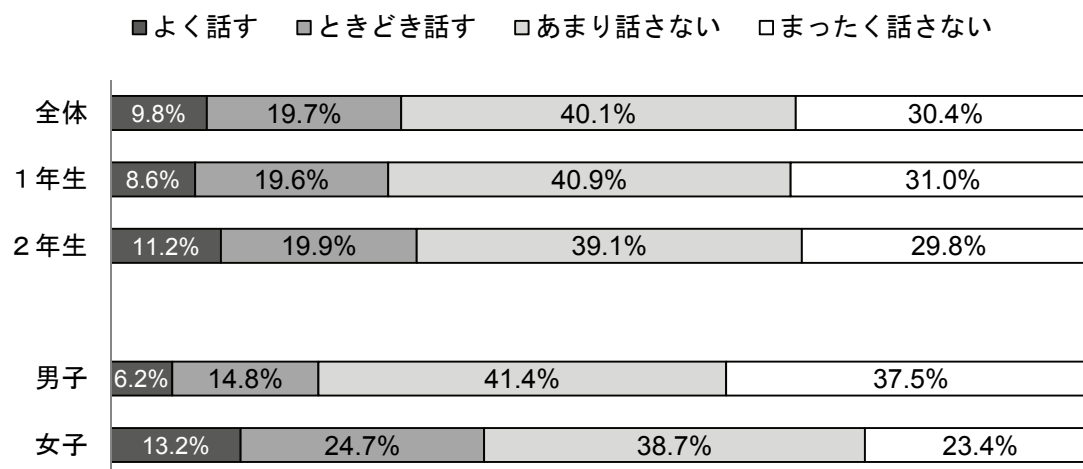


（４）悩み事（進路以外）について

全体の約３割が「話す」という結果となった。

性別では、女子の４割弱が「話す」傾向にあるが、男子は約２割弱となった。

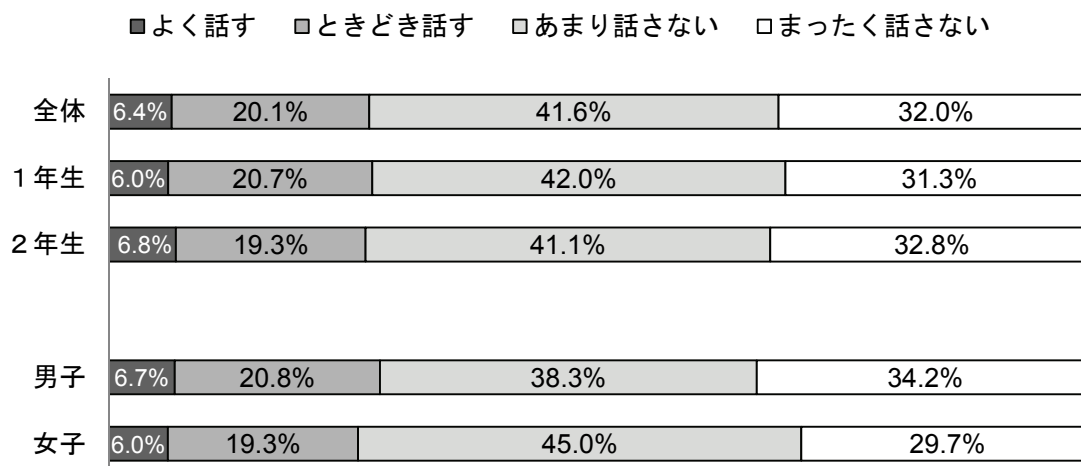
【図表Ⅳ-４-４】悩み事（進路以外）＜全体・学年別・性別＞



(5) お小遣いの使い方について

全体の約3割が「話す」という結果となった。

【図表Ⅳ-4-5】お小遣いの使い方＜全体・学年別・性別＞

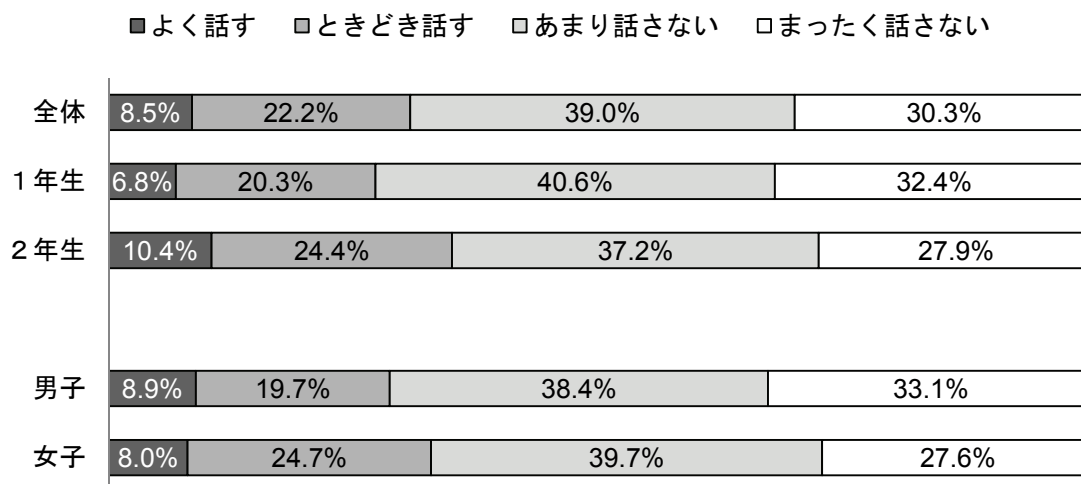


(6) 今の家計の状況

全体の約3割が「話す」という結果となった。

学年別では2年生、性別では女子の方が、「話す」傾向が強かった。

【図表Ⅳ-4-6】今の家計の状況＜全体・学年別・性別＞



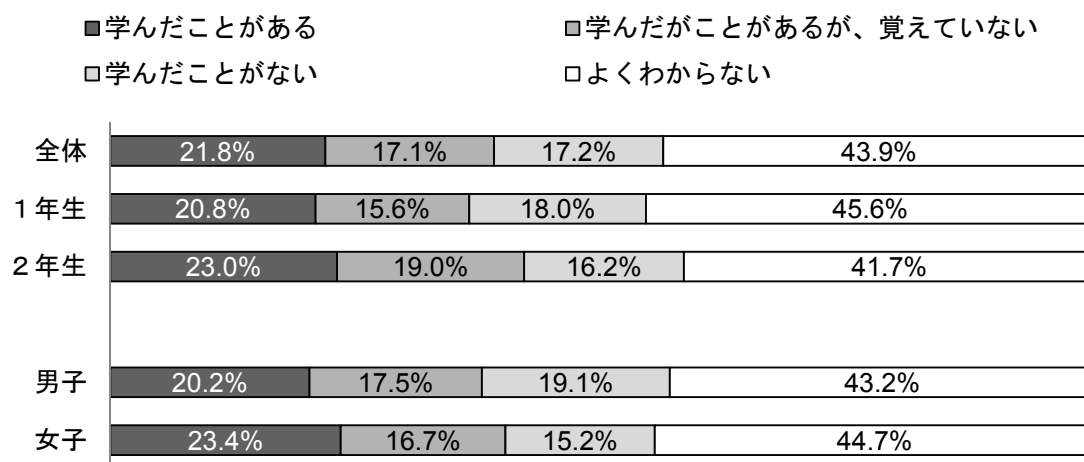
V 高等学校での学習状況について

1. 「お金や生活設計（ライフプラン）」の学習について

1-1 「お金や生活設計（ライフプラン）」の学習経験

「お金や生活設計（ライフプラン）」について、「学んだことがある」のは約2割であった。「学んだことがない」は約2割、「よくわからない」は約4割となった。

【図表V-1-1】「お金や生活設計（ライフプラン）」の学習経験＜全体・学年別・性別＞



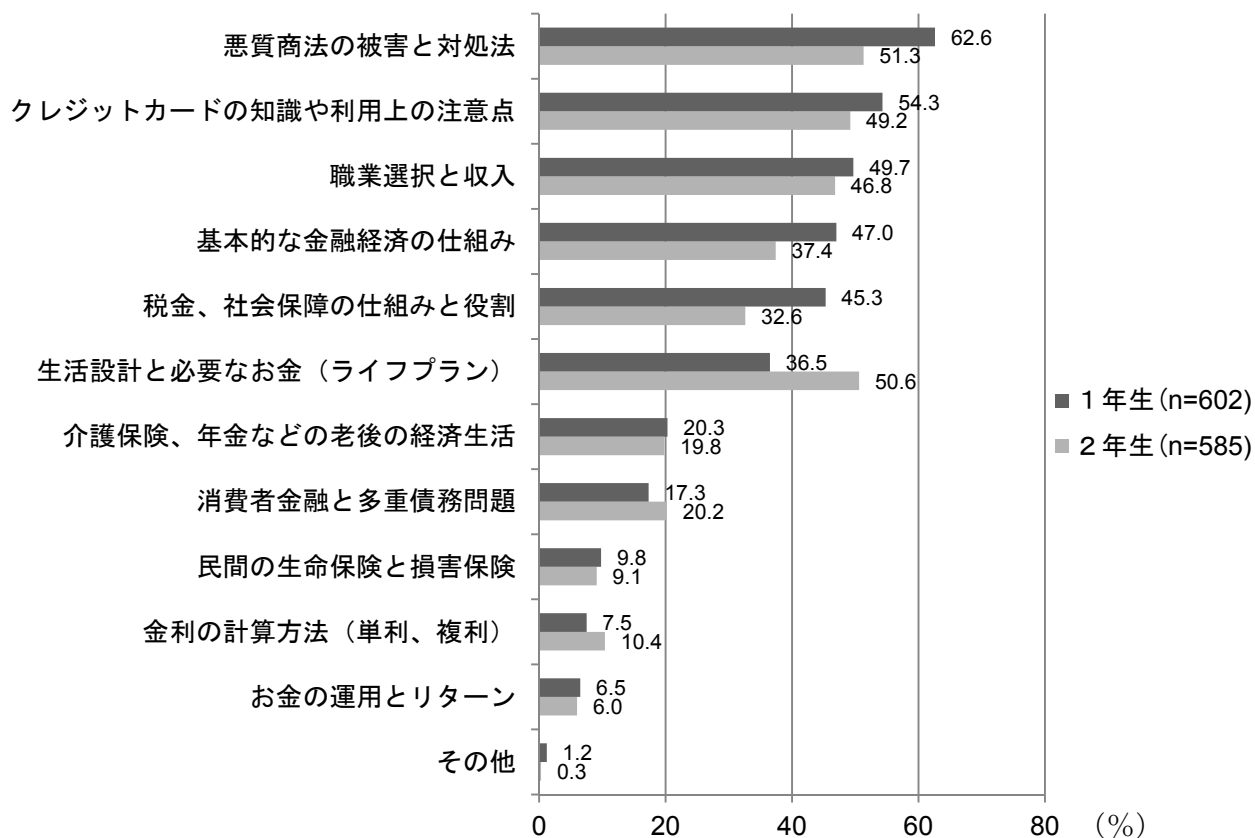
1-2 学習項目

実際に学んだことのある項目については、「悪質商法の被害と対処法」が最も多く過半数を超えた。次いで「クレジットカードの知識や利用上の注意点」、「職業選択と収入」が上位を占めた。

学年別では全体的に1年生の方が高い割合だったが、「生活設計と必要なお金（ライフプラン）」は2年生が顕著に高い傾向にあった。また、「基本的な金融経済の仕組み」や「税金、社会保障の仕組みと役割」も学年差が大きく、1年生の方が学習した割合が高かった。

【図表Ⅳ-1-2】学習項目（複数回答）＜学年別＞

	1 位	2 位	3 位
1 年生	悪質商法の被害と対処法 (62.6%)	クレジットカードの知識 や利用上の注意 (54.3%)	職業選択と収入 (49.7%)
2 年生	悪質商法の被害と対処法 (51.3%)	生活設計と必要なお金(ラ イフプラン) (50.6%)	クレジットカードの知識や 利用上の注意 (49.2%)

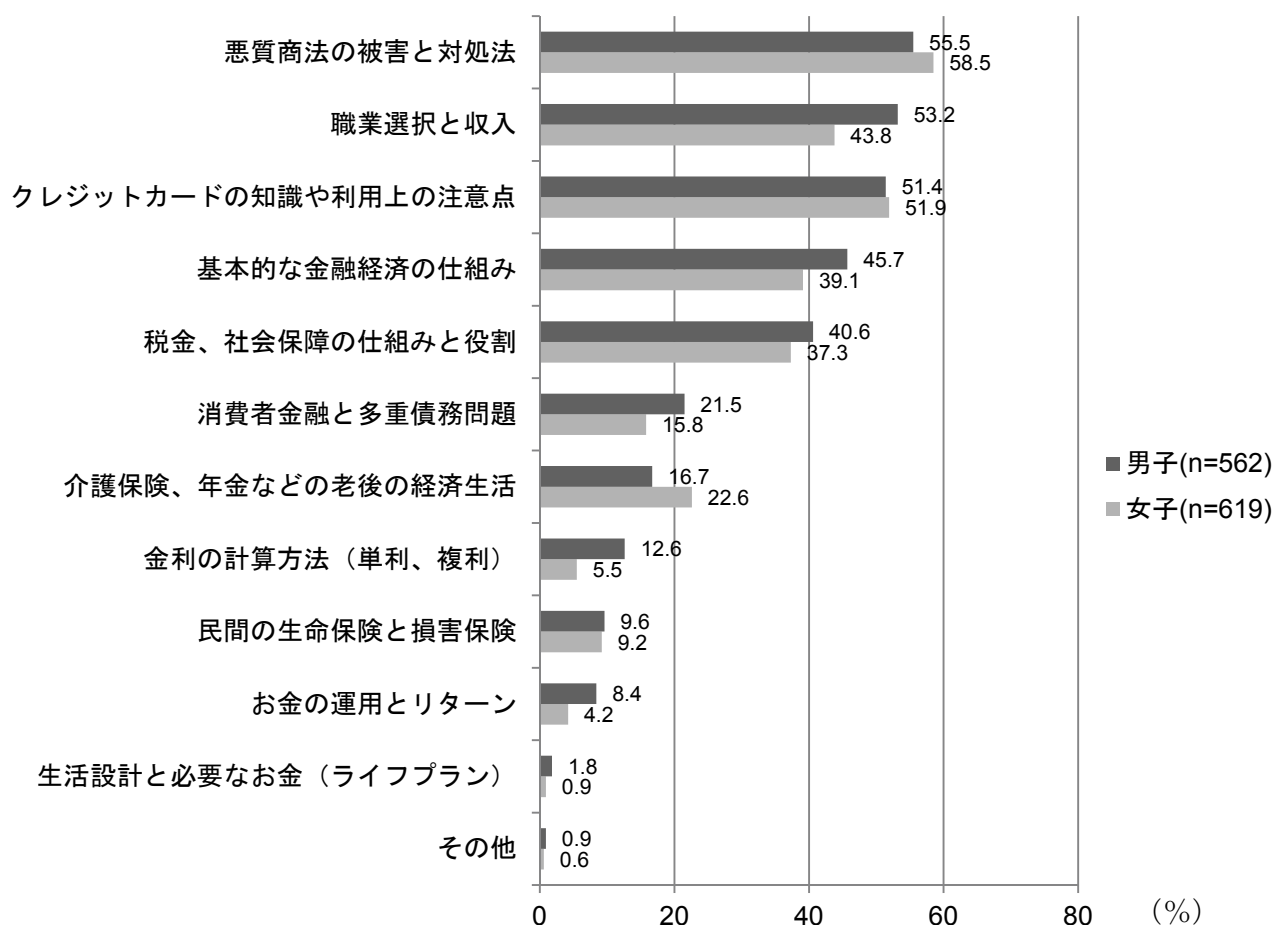


性別では、学年と同様に「悪質商法の被害と対処法」が最も多かった。「職業選択と収入」「クレジットカードの知識や利用上の注意点」が上位に入った。

男子では「職業選択と収入」、「基本的な金融経済の仕組み」、「消費者金融や多重債務問題」、「金利の計算方法」、女子では「介護保険、年金などの老後の経済生活」が他より比較的高い傾向がみられた。

【図表Ⅳ-1-3】学習項目（複数回答）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子	悪質商法の被害と対処法 (55.5%)	職業選択と収入 (53.2%)	クレジットカードの知識や 利用上の注意点 (51.4%)
女子	悪質商法の被害と対処法 (58.5%)	クレジットカードの知識 や利用上の注意 (51.9%)	職業選択と収入 (43.8%)



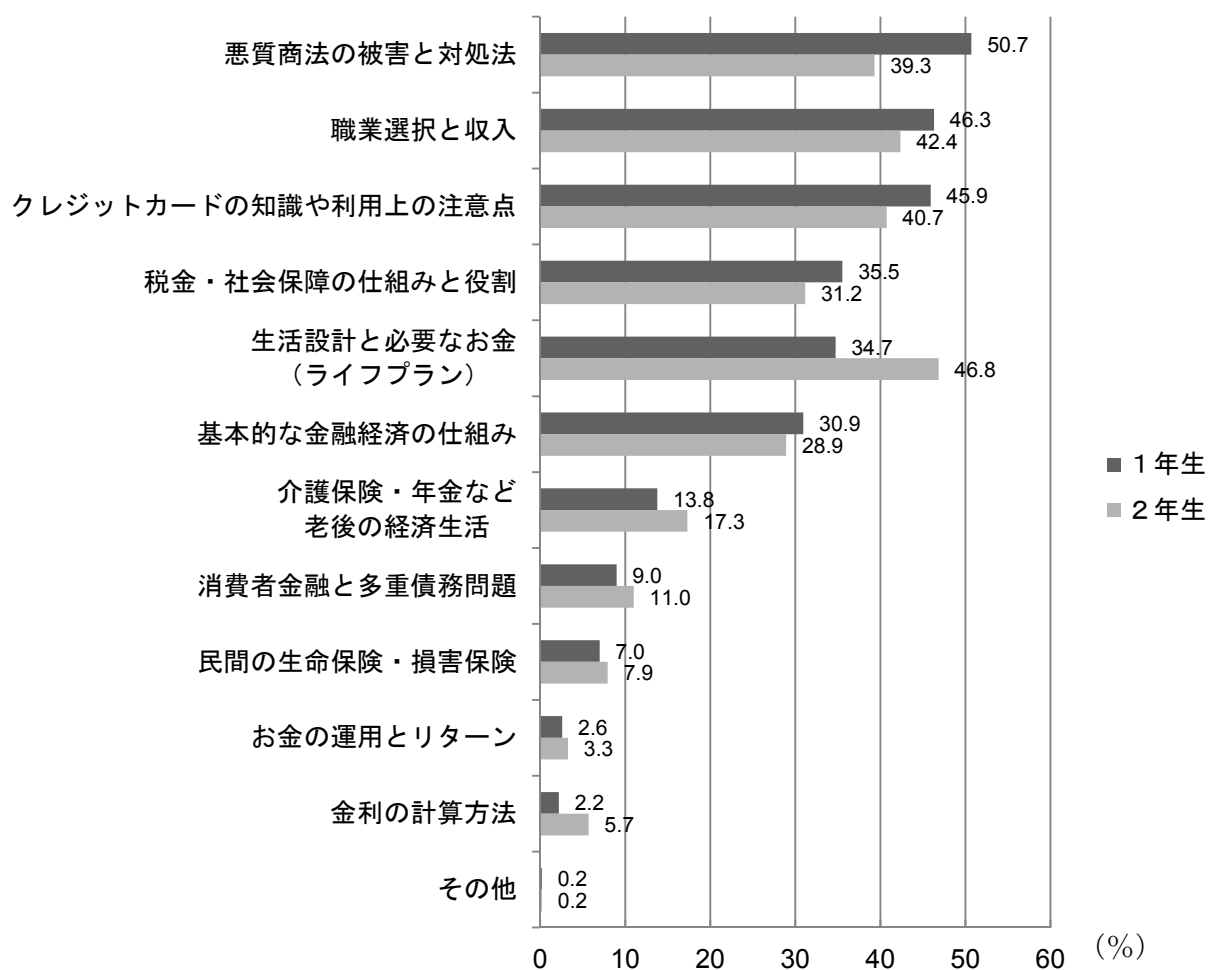
1-3 将来役立つと感じた学習項目

将来役立つと感じた学習項目は、学年別でみると1年生は「悪質商法の被害と対処法」が約5割で最も多く、2年生は「生活設計と必要なお金」という回答であった。次いで、1年生2年生共に、4割前後で「職業選択と収入」「クレジットカードの知識や利用上の注意」と続いた。

また、「社会保険の仕組みと役割」も各学年とも比較的高い結果となった。

【図表Ⅳ-1-4】将来役立つと感じた学習項目（複数回答）＜学年別＞

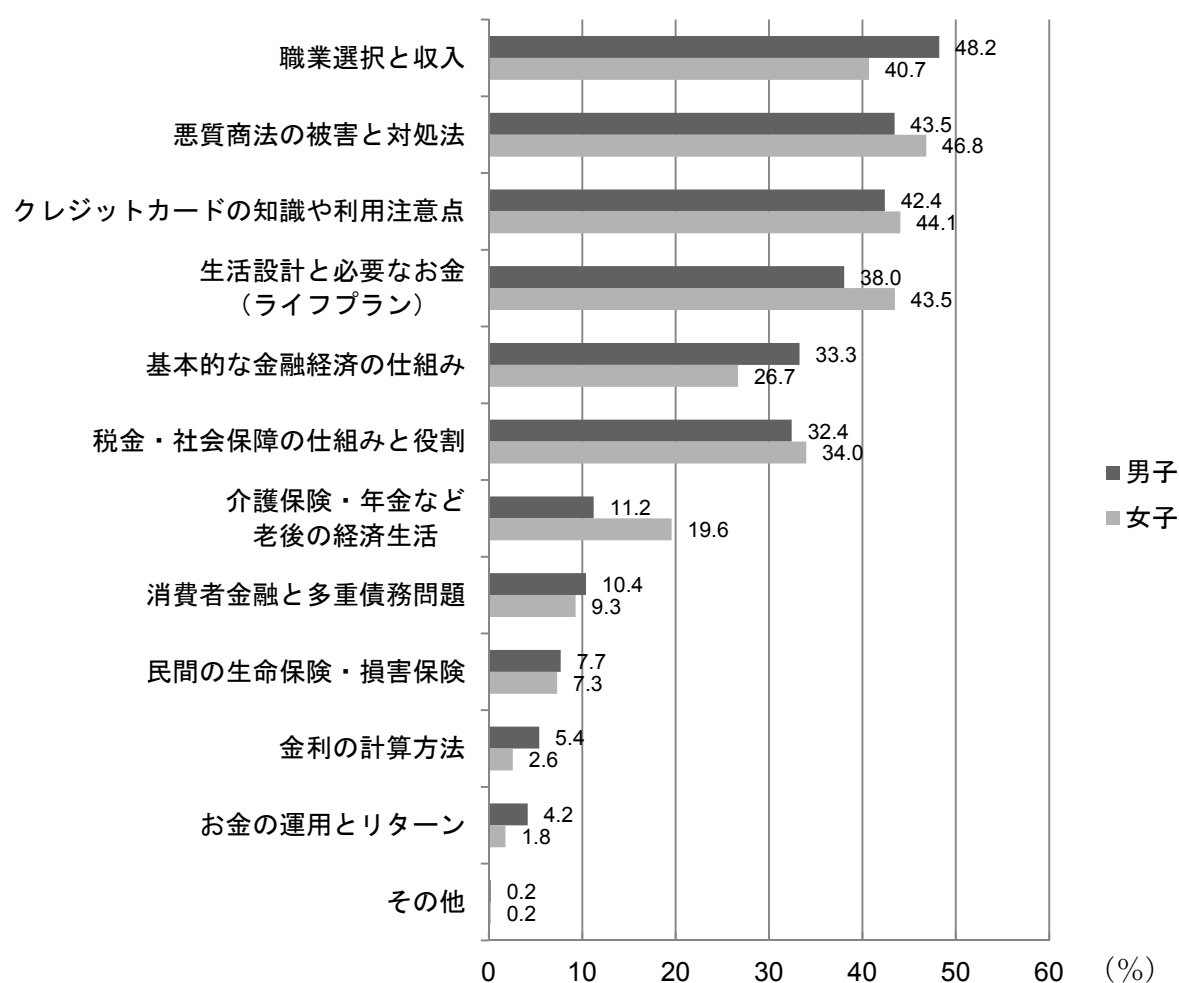
	1 位	2 位	3 位
1 年生	悪質商法の被害と対処法 (50.7%)	職業選択と収入 (46.3%)	クレジットカードの知識 や利用上の注意 (45.9%)
2 年生	生活設計と必要なお金 (46.8%)	職業選択と収入 (42.4%)	クレジットカードの知識 や利用上の注意 (40.7%)



性別でみると、男子は「職業選択と収入」が5割弱と最も多く、次いで「悪質商法の被害と対処法」「クレジットカードの知識や利用上の注意」という回答になった。一方女子は「悪質商法の被害と対処法」が最も多く、2位に「クレジットカードの知識や利用上の注意」、3位には「生活設計と必要なお金」となり、男女で異なる結果となった。

【図表Ⅳ-1-4】将来役立つと感じた学習項目（複数回答）＜性別＞

	1 位	2 位	3 位
男子	職業選択と収入 (48.2%)	悪質商法の被害と対処法 (43.5%)	クレジットカードの知識や利用上の注意 (42.4%)
女子	悪質商法の被害と対処法 (46.8%)	クレジットカードの知識や利用上の注意 (44.1%)	生活設計と必要なお金 (43.5%)



「高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート」

調査票・単純集計結果

「高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート調査」のお願い

単純集計

このアンケートは、全国の高校生を対象に、暮らしとお金、将来に対する考え方などについてお聞きするものです。お名前はいりませんので、日ごろの様子や、感じることをありのままにお答えください。

1 あなた自身のことについておたずねします。

問1 あなたの学年、性別についておたずねします。

1) 1年生	54.6	2年生	45.4
2) 男子	49.9	女子	50.1

問2 あなたは今、どのようなことに興味がありますか？（○は3つまで）

1	ファッション	35.1	7	恋愛	21.8
2	マンガ	31.5	8	SNS（ミクシィ、フェイスブック等）	13.8
3	ゲーム	28.6	9	アルバイト	12.7
4	好きな芸能人	20.2	10	友達付き合い	31.5
5	部活動	37.0	11	その他（回答：音楽、アニメ等）	10.3
6	勉強	10.0			

問3 学校の授業以外の時間を、あなたはどのように過ごすことが多いですか？

（○はいくつでも）

※ただし、睡眠時間は除いて考えてください。

1	テレビやビデオを見る	65.6	9	アルバイトをする	8.1
2	ゲームで遊ぶ	30.8	10	部活動をする	55.6
3	マンガや雑誌を読む	45.1	11	習い事（スポーツ・芸術等）をする	7.3
4	本を読む（マンガや雑誌を除く）	20.1	12	友人と話をする	49.5
5	パソコン（インターネット等）にむかう	34.8	13	家族と話をする	28.8
6	携帯電話でメールやSNS等をする	64.8	14	考え事をする	21.7
7	勉強をする	28.5	15	その他（回答：音楽を聴く等）	15.6
8	塾や予備校に行く	8.0			

問3-1 問3で選択した項目のうち、特に過ごす時間が長いものを3つ選んで、下の空欄に番号を記入してください。

1位 テレビ・ビデオ(65.6)

2位 携帯電話(64.8)

3位 部活動(55.6)

2 お小遣い、アルバイトなどお金に関することについておたずねします。

問4 あなたは現在、お小遣いをもらっていますか？（○はひとつ）

1	定期的にもらっている	52.9
2	その都度もらっている	22.3
3	もらっていない	24.7

→ 問4-2へ

→ 問4で「1」「2」と答えた人におたずねします。

問4-1 1カ月にもらっている金額はいくらですか？（ 4,585 ）円くらい

※問4で「3」と答えた人におたずねします。

問4-2 欲しいものがあつた場合、どうしますか？（○はいくつでも）

1	アルバイトでお金を稼ぐ	23.8	4	我慢する	27.0
2	お年玉や貯金を使う	40.5	5	欲しい物は特にない	11.9
3	保護者に買ってもらう	38.9	6	その他（回答：お金を貯める等）	11.4

問5 あなたは、アルバイトをしていますか（したことがありますか）？（○はひとつ）

1	家計を助けるためにアルバイトをしている（したことがある）	2.8
2	自分で使うお金のためにアルバイトをしている（したことがある）	10.6
3	アルバイトをしてみたいが、したことはない	65.0
4	アルバイトをしたことはないし、まだ当分やりたくない	21.5

→ 問5で「1」「2」と答えた人におたずねします。

問5-1 平均して、1カ月にどのくらい収入を得ましたか？

平均（ 36,485 ）円くらい

問6 あなたは現在、目標をもってお金を貯めていますか？（○はひとつ）

1	目標をもってお金を貯めている	21.0	4	貯めようと思わない	10.1
2	目標はないが、お金を貯めている	39.3	5	その他（回答：親が貯めている等）	0.9
3	貯めたいが、貯められない	28.8			

→ 問6で「1」と答えた人におたずねします。

問6-1 どのような目標でお金を貯めているか教えてください。

回答：買いたいものがあるため、進学のため、将来のため 等

問 7 あなたが 1 カ月に自由に使える金額はどのくらいですか？

平均（ 5,545 ） 円くらい

問 8 あなたは 1 カ月に自由に使えるお金を、どのようなものに使います（〇はいくつでも）

1	マンガや雑誌	53.4	13	貯金	35.7
2	書籍（小説等）	21.3	14	洋服や靴	31.8
3	CD	23.1	15	アクセサリー等の小物	23.4
4	DVD や CD 等のレンタル	14.3	16	化粧品、整髪剤	16.4
5	学校の教材費や部活動費	5.0	17	テーマパーク（ディズニーランド等）	4.5
6	携帯電話の利用料金	6.2	18	アミューズメントパーク（ゲームセンター等）	17.7
7	携帯電話の利用コンテンツ（利用料金以外）	2.5	19	映画・コンサートのチケット	21.5
8	友達との外食・軽食代	56.8	20	カラオケ	37.4
9	おやつなどの飲食費	61.1	21	プリクラ	37.5
10	交通費	16.6	22	ゲームソフト	18.1
11	友人や家族へのプレゼント	23.9	23	キャラクターグッズ	12.9
12	募金や寄付	2.7	24	その他（回答：カードなど）	5.0

問 8 - 1 問 8 で選択した項目のうち、よく使う順に 3 つ選んで、下の空欄に番号を記入してください。

1 位 飲食費（61.1）

2 位 外食・軽食費（56.8）

3 位 マンガ・雑誌（53.4）

問 9 あなたは小遣い帳等の記録をつけていますか？（〇はひとつ）

1	つけている	5.3
2	ときどきつけている	5.2
3	以前つけたことがあるが、今はつけていない	28.5
4	つけたことがない	61.1

問 10 あなたがお菓子や飲み物を買う時、重視することは何ですか（〇は 3 つまで）

1	テレビ CM	12.0	7	味（おいしさ）	85.0
2	価格	73.1	8	カロリー	18.2
3	外見、見た目	25.8	9	安全性	10.1
4	口コミ・評判	16.0	10	特定保健用食品などのマーク	0.5
5	生産国・生産地	3.6	11	容器・包装	2.3
6	製造年月日・製造日	5.0	12	その他（回答：内容量、気分）	3.0

問 11 買い物に関するあなたの考え方や傾向についてお聞きします。(○はひとつ)

	とても あてはまる	やや あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
(記入例) 衝動買いをする方だ	1	2	3	4
1 衝動買いをする方だ	16.7	38.4	33.9	11.1
2 買ったものはできるだけ長く使う方だ	32.8	48.7	17.0	1.5
3 品質よりも見た目で買う方だ	12.6	37.2	43.0	7.2
4 お金が足りない時は、貯めて買う方だ	28.2	37.4	26.4	8.0
5 テレビCMに影響されやすい方だ	9.1	24.0	41.8	25.1
6 買い物のために情報収集をする方だ	17.6	26.1	35.1	21.2
7 偽ブランド品であっても本物そっくりであれば買う方だ	5.0	14.2	31.3	49.5
8 商品に問題があった場合、企業などに連絡をする方だ	11.5	20.2	39.3	29.0
9 フェアトレード(注※)商品があれば積極的に選ぶ方だ	4.7	18.2	52.2	25.0
10 レジ袋はもらう方だ	19.0	36.6	30.1	14.3

※フェアトレード(公正な貿易)とは、発展途上国で生産された作物や製品を、適正な価格で継続的に取引し、生産者の持続的な生活向上を支える仕組み。チョコレートやコーヒー、バナナなどがあります。

3. 携帯電話(スマートフォンを含む)・パソコンの利用についておたずねします

問 12 あなたは携帯電話を持っていますか？(○はひとつ)

1	小学生の頃から持っている	20.0	4	持ったことはない → 問 15 へ	2.6
2	中学生の頃から持っている	33.9	5	その他(回答: あったが今はない)	0.7
3	高校生になってから持っている	42.8			

問 12-1 あなたはスマートフォンを使っていますか？(○はひとつ)

1	現在、使っている	47.9
2	使ってみたいが、現在は使っていない	22.9
3	使っていない	29.2

問 13 携帯電話の月額利用料金についておたずねします。(○はひとつ)

1	2500 円未満	6.1	5	1 万円以上 1 万 5000 円未満	7.4
2	2500 円以上 5000 円未満	14.8	6	1 万 5000 円以上 2 万円未満	2.1
3	5000 円以上 7500 円未満	26.6	7	2 万円以上(月平均 13,750 円)	0.6
4	7500 円以上 1 万円未満	19.6	8	分からない	22.9

問 14 携帯電話の利用目的についておたずねします。(〇はいくつでも)

1	メールをするため	96.9	6	有料のアプリを使うため	5.1
2	通話をするため	86.1	7	ネットショッピングをするため	8.1
3	情報検索のため	53.7	8	防犯のため	11.5
4	SNS（ミクシィ、フェイスブック等）のため	37.6	9	災害のため	11.5
5	無料のアプリを使うため	40.8	10	その他（回答：音楽を聴く、カメラ等）	2.8

問 15 パソコンや携帯電話を利用して、インターネットで商品やサービスをお金をだして買ったことはありますか？(〇はひとつ)

1	よく買う	9.6	3	買ったことはあるが、ほとんど買わない	23.9
2	ときどき買う	23.5	4	買ったことがない →問 16 へ	42.9

▶ 問 15 で「1」「2」と答えた人におたずねします。

問 15-1 どのような商品やサービスを買いましたか？(〇はいくつでも)

1	本を買う	26.9	6	ゲームソフトを買う	21.5
2	DVD や CD を買う	38.1	7	ゲームをダウンロードする（課金含む）	14.2
3	音楽をダウンロードする	30.4	8	映画やコンサートのチケットを買う	15.6
4	洋服や靴を買う	38.5	9	雑貨を買う	24.0
5	化粧品や整髪剤を買う	7.9	10	その他（回答：部活で使用するもの等）	11.3

問 15 で「1」「2」と答えた人におたずねします。

問 15-2 その時、どのような方法で支払いましたか？(〇はいくつでも)

1	保護者のクレジットカード	31.3	4	銀行等の ATM で振込	13.0
2	代引き（商品が届いた時に代金を支払う）	57.1	5	その他（回答：web マネー等）	5.3
3	コンビニエンスストアで現金払い	42.5			

4. あなたの将来のことについておたずねします。

問 16 あなたは将来の夢をもっていますか？(〇はひとつ)

1	将来の夢があり、実現のためのプランがある	20.5	3	将来の夢はない	19.3
2	将来の夢はあるが、実現のためのプランはない	30.1	4	よく分からない	30.1

▶ 問 16 で「1」「2」と答えた人におたずねします。

問 16-1 あなたの将来の夢について、具体的に書いてください。

回答＜職業＞教師、保育士、看護師 等

＜理想像＞人の役に立つ仕事に就きたい、安定した職業に就きたい 等

問 17 あなたは、将来つきたい職業を決めていますか？（○はひとつ）

1	はっきりと決めている	21.5
2	なんとなく決めている	43.1
3	考えてはいるが、まだ決めていない	31.6
4	考えたことがない	3.8

→ 問 17 で「1」「2」と答えた人におたずねします。

問 17-1 具体的にどのような職業につきたいかお答えください。

（○は、問 17 で「1」と回答した人は1つ、「2」と回答した人は3つまで）

1	公務員（警察官・消防士・教師を除く）	11.0	13	美容関連（美容師・エステティシャン等）	7.7
2	警察官・消防士	4.6	14	動物関連（獣医・トリマー等）	4.8
3	教師	11.3	15	報道マスコミ関連（記者・カメラマン等）	2.7
4	保育士・幼稚園教諭	11.2	16	芸能関連（俳優・声優・タレント等）	8.4
5	研究者・大学教員	3.2	17	食・調理関連（栄養士・調理師等）	11.6
6	医師	4.6	18	製造関連（製造・加工・組み立て）	7.1
7	看護師	9.7	19	コンピュータ関連（プログラマー等）	6.5
8	整備士（自動車整備士等）	6.1	20	販売員	3.9
9	技術者（エンジニア等）	8.7	21	事務	5.2
10	法律家（弁護士・裁判官・検察官等）	2.2	22	会社員	3.8
11	介護・福祉関連（ヘルパー等）	6.1	23	その他（回答：薬剤師、音楽関係等）	19.5
12	アパレル関連（デザイナー等）	5.2			

問 18 あなたは高校卒業後、どのような進路を考えていますか？（○はひとつ）

1	大学に進学する	43.1	6	家業を継ぐ	0.5
2	短期大学に進学する	3.4	7	考えてはいるが、まだ決まっていない	14.0
3	専門学校に進学する	14.1	8	考えたことがない	1.5
4	海外留学する	0.2	9	その他（回答：とりあえず進学等）	1.1
5	就職する	22.2			

問 19 あなたは将来、結婚したいと思いますか？（○はひとつ）

1	結婚したい	68.7	3	よく分からない	25.0
2	結婚したくない	5.6	4	その他（ ）	0.7

→ 問 19 で「1」と答えた人におたずねします。

問 19-1 何歳くらいに結婚したいですか？ （ 24.8 ） 歳

問 20 あなたは将来、子どもを持ちたいと思いますか？（〇はひとつ）

1	子どもを持ちたい	69.0	3	よく分からない	25.7
2	子どもを持ちたくない	5.2	4		

問 20 で「1」と答えた人におたずねします。

問 20-1 子どもは何人くらい持ちたいですか？ （ 2.7 ） 人

問 21 あなたは将来、どのような働き方を選択すると思いますか？（〇はひとつ）

1	就職後、結婚、出産、育児に関係なく一生働きつづける	56.5
2	就職後、結婚、出産、育児で一旦仕事を辞め、再就職する	29.3
3	就職後、結婚、出産、育児で仕事を辞め、専業主婦（主夫）になる	9.4
4	就職するつもりはない	0.8
5	その他（回答：分からない等）	4.0

問 22 あなたは今からどのくらい先の生活まで思い描くことができますか？（〇はひとつ）

1	高校卒業後まで	22.4	6	60 歳まで	3.9
2	20 歳まで	25.2	7	70 歳まで	1.8
3	30 歳まで	17.7	8	それ以上	4.4
4	40 歳まで	5.5	9	全く想像できない →問 23 へ	15.9
5	50 歳まで	3.2			

問 22-1 問 22 で選択した時、あなたは何をしていると思いますか？（〇はいくつでも）

1	勉強している	36.8	6	住宅を購入している	13.4
2	働いている	55.9	7	介護している（されている）	2.8
3	結婚している	27.0	8	趣味やボランティア活動をしている	17.1
4	子どもがいる	23.6	9	その他（回答：遊んでいる等）	3.6

問 23 将来の生活を考えた時、特に不安を感じることは何ですか？（〇は3つまで）

1	高校卒業後の進路	55.1	8	交通事故	7.7
2	就職	61.9	9	年金などの公的な保障制度	9.3
3	結婚	19.1	10	地球温暖化等の環境問題	7.0
4	子育て	8.0	11	悪質商法や詐欺の被害	3.9
5	自分や身近な人の病気	10.0	12	特にない	7.9
6	自分や身近な人の死	19.9	13	その他（回答：お金、政治等）	2.4
7	地震などの自然災害	17.5			

問 23-1 問 23 で回答した将来の生活に関する不安について、具体的に書いてください。

回答

就職出来るかどうか、大学進学について、身近な人の病気や死、地震 等

問 24 あなたは保護者の方と、次のことについて話し合いますか？（○はひとつ）

	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	まったく話さない
（記入例）お小遣いの金額	1	2	3	4
1 学校での出来事	35.0	40.3	18.1	6.6
2 高校卒業後の進路	18.0	44.7	28.7	8.6
3 将来の夢	14.7	33.8	35.3	16.2
4 悩みごと（進路以外）	9.8	19.7	40.1	30.4
5 お小遣いの使い方	6.4	20.1	41.6	32.0
6 今の家計状況	8.5	22.2	39.0	30.3

5 高等学校での学習状況についておたずねします。

問 25 あなたはこれまで、学校で「お金や生活設計（ライフプラン）」に関することを学んだことはありますか？（○はひとつ）

1	学んだことがある	21.8	3	学んだことがない	17.2
2	学んだことがあるが、覚えていない	17.1	4	よくわからない	43.9

問 25 で「1」「2」と答えた方にうかがいます。

問 25-1 どのような内容を学びましたか？（○はいくつでも）

1	基本的な金融経済の仕組み	42.3	7	介護保険、年金などの老後の経済生活	20.1
2	生活設計と必要なお金（ライフプラン）	43.5	8	金利の計算方法（単利、複利）	8.9
3	職業選択と収入	48.3	9	クレジットカードの知識や利用上の注意点	51.8
4	税金、社会保障の仕組みと役割	39.1	10	消費者金融と多重債務問題	18.7
5	民間の生命保険と損害保険	9.4	11	悪質商法の被害と対処法	57.0
6	お金の運用とリターン	6.2	12	その他（ ）	0.8

問 25-2 問 25 - 1 で選んだ内容のうち、将来役に立ちそうな項目を3つ選んで、下の空欄に番号を記入してください。

12：悪質商法 (45.1)	3：職業選択と収入 (44.4)	9：クレジットカード (43.3)
-------------------	---------------------	----------------------

◆公益財団法人 消費者教育支援センター

消費者教育の総合的かつ効果的な推進を図ることを目的に、1990 年に経済企画庁(現消費者庁および内閣府)と文部省(現文部科学省)の共管法人として設立。平成 24 年 4 月 1 日より公益財団法人に移行。主な活動としては、消費者教育に関する調査や教材開発、シンポジウムやセミナーの開催、企業・行政を対象とする教材表彰、講座運営および講師派遣、機関誌『消費者教育研究』の発行等を行っている。

◆公益財団法人 生命保険文化センター

公正・中立な立場で生活設計や生命保険に関する情報提供等を行うことを目的に、1976 年(昭和 51 年)に設立。「消費者啓発・情報提供活動」「学術振興事業」「調査活動」の 3 つを柱に事業活動を行っている。主な活動としては、高校・大学等への講師派遣、消費者や消費生活相談員等対象の学習会の実施、学校教育用副教材や消費者向け小冊子の作成等。生活保障に関する意識や生命保険の加入実態等を探る調査活動も行っている。

「高校生の消費生活と生活設計に関する調査報告書」(平成 24 年度)

発行日 2013 年 2 月

発行 公益財団法人消費者教育支援センター

〒160-0004

東京都新宿区四谷 4-1 小島ビル 5 階

TEL : 03-5919-4541 FAX : 03-5919-4575

公益財団法人生命保険文化センター

〒100-0005

東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 8 階

TEL : 03-5220-8510 (代表) FAX : 03-5220-9090

